第 1 章 調 査 結 果 の 概 要

1 秋田市の全体的な評価(問1)

問1 (秋田市の全体的な評価)

あなたは、秋田市の住みごこちをどのように感じていますか。次の中から1つ選んで番号を記入して下さい。

1 住みやすい 2 どちらかといえば住みやすい 3 どちらともいえない

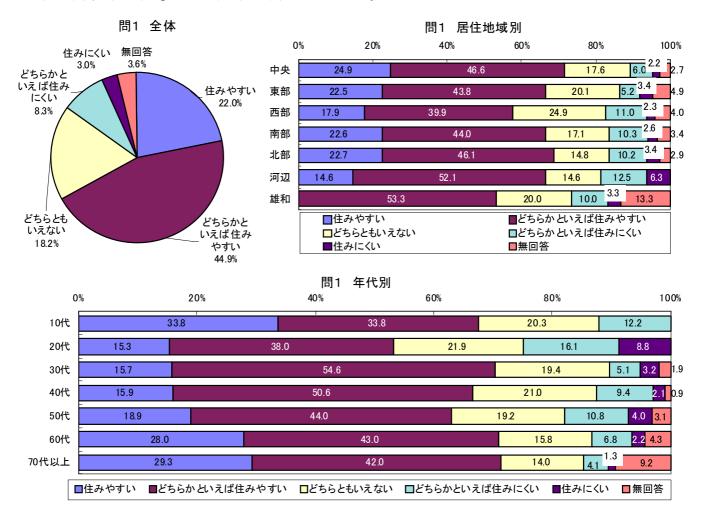
4 どちらかといえば住みにくい 5 住みにくい

この設問では、「住みごこち」という表現で、秋田市の全体的な評価を聞いている。(集計表 P155 参照) 全体集計では、「住みやすい」22.0% (20.8%)、「どちらかといえば住みやすい」44.9% (47.5%)、「どちらともいえない」18.2% (18.0%)、「どちらかといえば住みにくい」8.3% (8.1%)、「住みにくい」3.0% (2.3%) となった。「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の良い評価の合計が66.9% (68.3%) に対し、「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」の悪い評価の合計が11.3% (10.4%) であり、良い評価が悪い評価を大きく上回った。

男女別集計では、「男性」の良い評価の合計が65.7%(66.8%)、「女性」の良い評価の合計が67.8%(69.5%)であった。

年代別集計では、20代を除いた階層では、「住みやすさ」の評価にはほとんど大差のない値となっている。 居住地域別集計では、良い評価が、「西部」57.8%(70.3%)、「雄和」53.3%(58.6%)と他地域に比べ低くなっている。

出身地別集計では、「秋田市以外の秋田県内」が 72.0% (71.8%) で最も高く、次いで「秋田市内」が 66.3% (67.9%)、「秋田県外」が 55.0% (60.8%) となっている。



問2 (秋田市の分野別の評価)

あなたは、秋田市に住んでいて次のことをどのように感じていますか。各項目について、あてはまるものに○をつけてください。

【選択肢】

- 1 よい 2 どちらかといえばよい 3 ふつう
- 4 どちらかといえば悪い 5 悪い

【項目】

- 1 道路の整備状況は 2 まちのにぎわいは 3 公園や緑地、街路樹など緑の豊かさは
- 4 まちなみなどの景観は 5 観光地としての魅力は 6 産業や雇用の状況は
- 7 経済・学術交流などの国際化の進みぐあいは 8 大雨、地震など自然災害への安全性は
- 9 防犯への取り組みは 10 バス、電車などの利用しやすさは
- 11 冬期の除雪については 12 買い物のしやすさは 13 食の安全・安心は
- 14 高齢者・障害者の生活のしやすさは 15 子どもの育てやすさは
- 16 病院などの医療機関の利用しやすさは 17 健康診断や予防接種などの受けやすさは
- 18 ごみの収集・処理やリサイクルへの取り組みは 19 環境保全への取り組みは
- 20 町内会など自治活動の状況は 21 NPO・ボランティア活動など市民活動のしやすさは
- 22 レジャー・娯楽などレクリエーションのしやすさは
- 23 各種講座やサークルなど生涯学習のしやすさは 24 スポーツ活動のしやすさは
- 25 文化・芸術活動のしやすさは 26 女性の社会参加のしやすさは
- 27 市民の市政参加のしやすさは 28 市役所の窓口サービスは
- 29 広報あきたなど市政情報の得やすさは 30 ホームページを使った市民サービスは

この設問では、秋田市の分野別の評価を把握するため、30 の項目を挙げ、それぞれの評価を聞いている。 (集計表 P155~170 参照)

全体集計において、「よい」「どちらかといえばよい」の合計、「ふつう」および「悪い」「どちらかといえば悪い」の合計に分けて検討を行った。

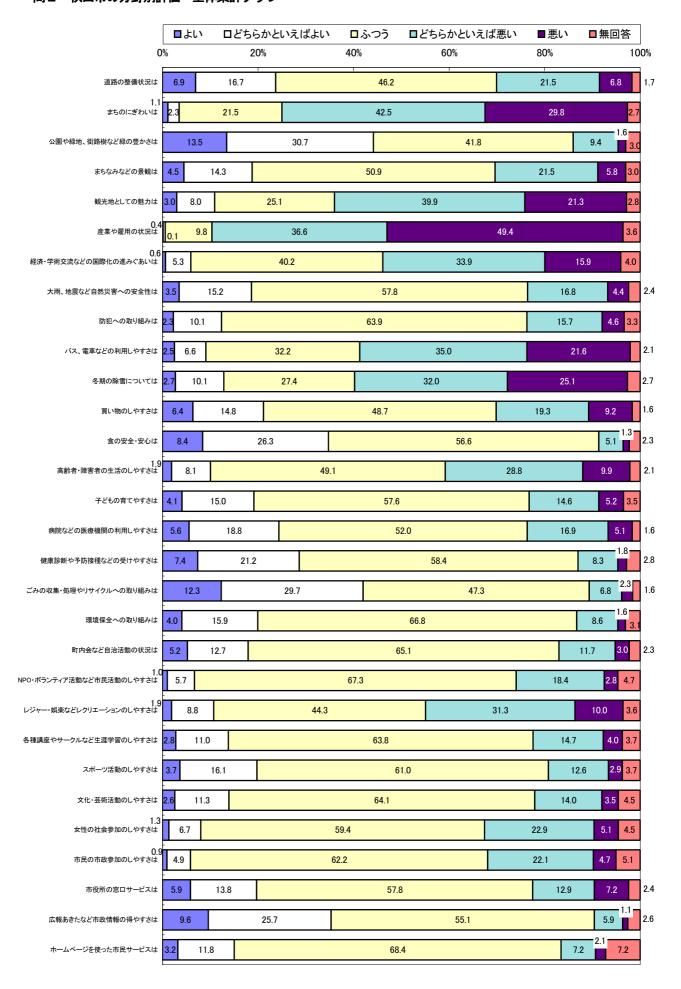
最も評価が高かった「公園や緑地、街路樹など緑の豊かさは」の44.2%(42.6%)から、最も評価が低かった「産業や雇用の状況は」の0.5%(1.3%)の間には、43.7%の差があり、分野ごとに市民の評価が大きく異なっている。

また、「産業や雇用」「まちのにぎわい」が極めて厳しい評価である反面、「緑の豊かさ」「ごみの収集・処理」「市政情報の得やすさ」「食の安全・安心」「健康診断」「医療機関」など、日常生活に身近な項目の評価が高かった。

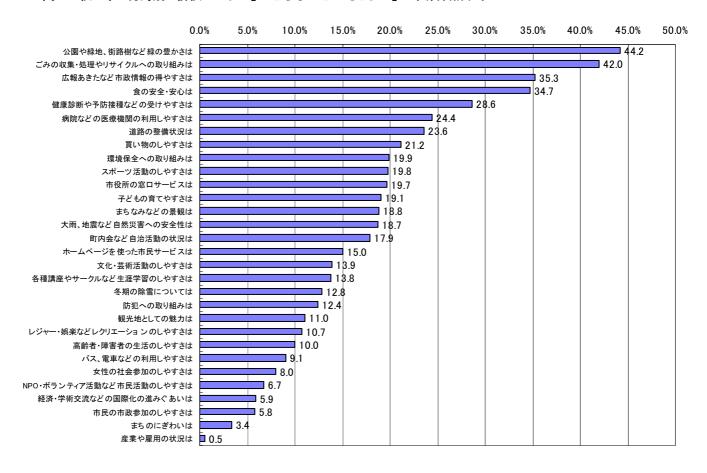
良い評価が 10%に満たなかったものは、「産業や雇用」「まちのにぎわい」「市政参加」「国際化」「市民活動」「女性の社会参加」「バス・電車の利用」の 7 項目である。

一方、「防犯」「環境保全」「自治活動」「市民活動」「生涯学習」「スポーツ活動」「文化・芸術活動」「市政参加」「ホームページを使った市民サービス」など、「ふつう」の回答が 60%を超えている項目については、積極的に評価してはいないが、大きな不満もない、もしくは評価が定まっていないといったことが考えられる。

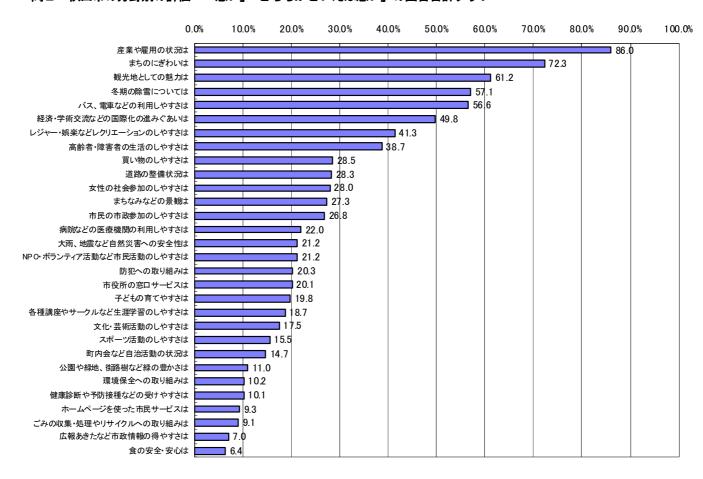
問2 秋田市の分野別評価 全体集計グラフ



問2 秋田市の分野別の評価 「よい」「どちらかといえばよい」の回答合計グラフ



問2 秋田市の分野別の評価 「悪い」「どちらかといえば悪い」の回答合計グラフ



問2-1 (道路の整備状況は)

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと(道路の整備状況は)をどのように感じていますか。

1 よい 2 どちらかといえばよい 3 ふつう

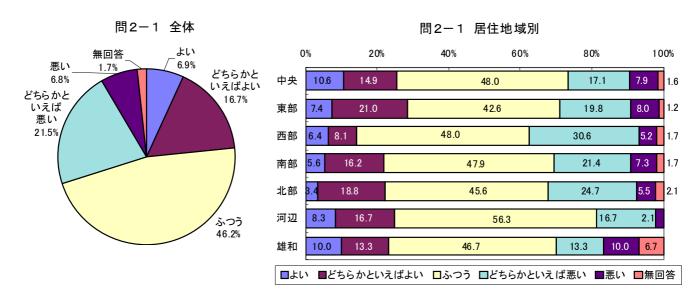
4 どちらかといえば悪い 5 悪い

この設問では、道路の整備状況に対する評価を聞いている。(集計表 P155 参照)

全体集計では、「よい」6.9% (5.8%)、「どちらかといえばよい」16.7% (14.5%)、「ふつう」46.2% (43.8%)、「どちらかといえば悪い」21.5% (25.7%)、「悪い」6.8% (9.0%) となった。「よい」「どちらかといえばよい」という回答の合計(以降、良い評価という)23.6% (20.3%)に対し、「悪い」「どちらかといえば悪い」という回答の合計(以降、悪い評価という)28.3% (34.7%)であり、道路の整備状況については、悪い評価が若干上回っている。

年代別集計では、悪い評価が「20代」35.0% (43.6%)、「30代」37.1% (41.5%)、「40代」33.1% (44.1%)、「50代」35.6% (39.4%) と高くなっている。一方で、「10代」23.0% (38.2%)「60代」24.8% (29.0%)と「70代以上」13.7% (20.3%) の悪い評価が低くなっている。

居住地域別集計では、良い評価が「東部」28.4% (22.8%) と高くなっており、「西部」が14.5% (17.8%) と低くなっている。



問2-1 年代別 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% 10代 17.6 5.4 23.0 50.0 20代 2.9 16.1 46.0 25.5 9.5 42.6 27.8 30代 5.6 14.4 0.5 4.3 40代 25.8 7.3 0.9 44.2 50代 4.6 14.6 44.3 29.1 6.5 0.9 10.0 19.4 5.4 2.5 60代 45.2 70代以上 11.5 8.0 5.7 ■よい ■どちらかといえばよい □ふつう ■どちらかといえば悪い ■悪い ■無回答

問2-2 (まちのにぎわいは)

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと(まちのにぎわいは)をどのように感じていますか。

1 よい

- 2 どちらかといえばよい
- 3 ふつう

4 どちらかといえば悪い

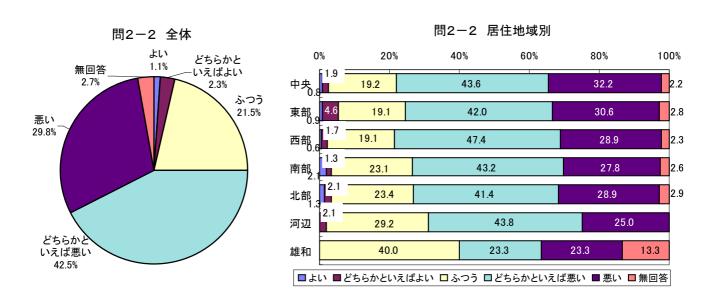
5 悪い

この設問では、まちのにぎわいに対する評価を聞いている。(集計表 P156参照)

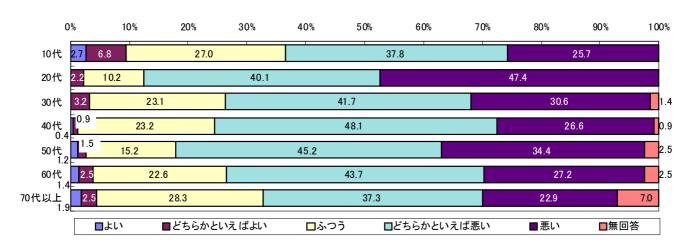
全体集計では、「よい」1.1% (1.1%)、「どちらかといえばよい」2.3% (3.2%)、「ふつう」21.5% (29.1%)、「どちらかといえば悪い」42.5% (40.5%)、「悪い」29.8% (24.7%) となった。良い評価 3.4% (4.3%) に対し、悪い評価 72.3% (65.2%) であり、全体の 7割以上がまちのにぎわいについて不満をもっているといえる。

年代別集計では、悪い評価がすべての年代で 60%を超えており、特に「20 代」87.5% (71.9%)、「30 代」72.3% (68.0%)、「40 代」74.7% (70.2%)、「50 代」79.6% (70.7%) と高くなっている。一方で、良い評価は、すべての年代で 10%に達しておらず、年代を問わずまちづくりのにぎわいに不満を感じている。

居住地域別集計では、悪い評価が「中央」75.8% (69.9%)、「西部」76.3% (68.9%) と高い。



問2-2 年代別



問2-3 (公園や緑地、街路樹など緑の豊かさは)

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと(公園や緑地、街路樹など緑の豊かさは)をどのように感じていますか。

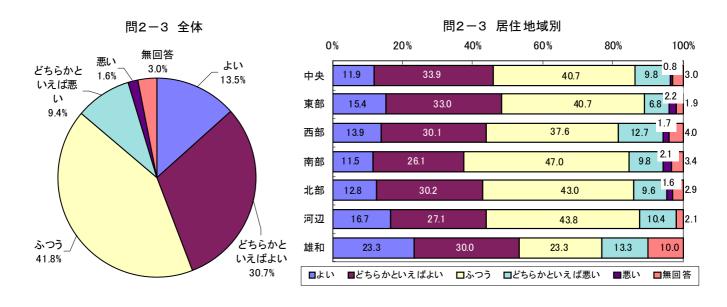
1 よい 2 どちらかといえばよい 3 ふつう

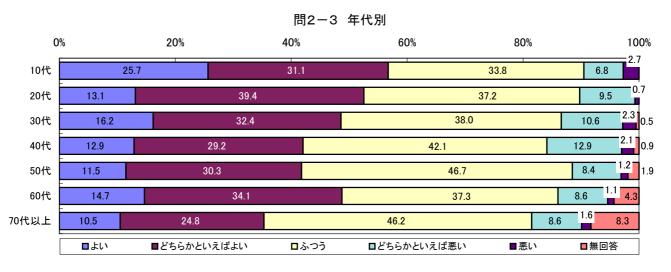
4 どちらかといえば悪い 5 悪い

この設問では、公園や緑地、街路樹など緑の豊かさに対する評価を聞いている。(集計表 P156 参照) 全体集計では、「よい」13.5% (14.4%)、「どちらかといえばよい」30.7% (28.2%)、「ふつう」41.8% (43.8%)、「どちらかといえば悪い」9.4% (9.6%)、「悪い」1.6% (2.5%) となった。良い評価 44.2% (42.6%) に対し、悪い評価 11.0% (12.1%) であり、緑の豊かさについては良い評価が高いといえる。 男女別集計では、良い評価の割合が「男性」47.1% (43.1%)、「女性」42.4% (42.3%) となっており、男性の評価が若干高い。

年代別集計では、良い評価が「10代」56.8% (53.0%)、「20代」52.5% (49.3%) と若年世代で高いのに対し、「70代以上」35.3% (39.4%)、「50代」41.8% (39.2%) と低くなっている。

居住地域別集計では、南部を除いた6地域が概ね 40%以上の良い評価をしているのに比べ、「南部」 37.6% (44.9%) と評価が低くなっている。





問2-4 (まちなみなどの景観は)

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと(まちなみなどの景観は)をどのように感じていますか。

1 よい

2 どちらかといえばよい

3 ふつう

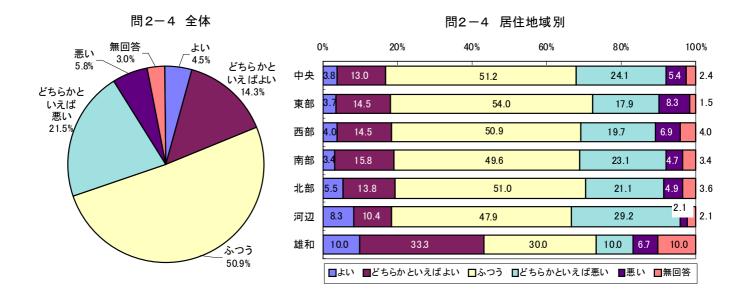
4 どちらかといえば悪い

5 悪い

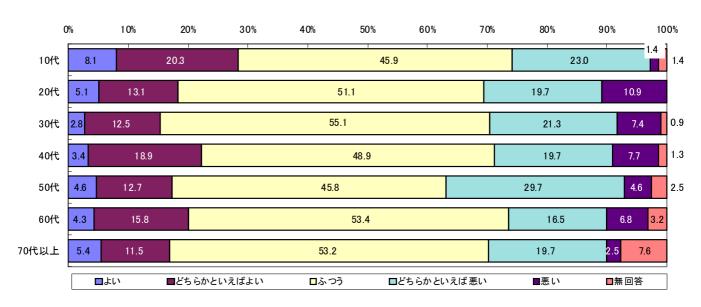
この設問では、まちなみなどの景観に対する評価を聞いている。(集計表 P157参照)

全体集計では、「よい」4.5%(4.7%)、「どちらかといえばよい」14.3%(13.2%)、「ふつう」50.9%(52.8%)、「どちらかといえば悪い」21.5%(21.3%)、「悪い」5.8%(6.3%)となった。良い評価 18.8%(17.9%)に対し、悪い評価 27.3%(27.6%)であり、まちなみなどの景観については悪い評価が若干上回っている。年代別集計では、良い評価が「10代」28.4%(26.1%)と高くなっており、また、悪い評価は「50代」34.3%(29.5%)と高くなっている。

居住地域別集計では、良い評価が「雄和」43.3%(10.2%)と高くなっている。



問2-4 年代別



問2-5(観光地としての魅力は)

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと (観光地としての魅力は) をどのように感じていますか。

1 よい

どちらかといえばよい 2

3 ふつう

4 どちらかといえば悪い

5 悪い

この設問では、観光地としての魅力に対する評価を聞いている。(集計表 P157 参照)

全体集計では、「よい」3.0%(2.6%)、「どちらかといえばよい」8.0%(8.0%)、「ふつう」25.1%(28.0%)、 「どちらかといえば悪い」39.9% (38.2%)、「悪い」21.3% (22.0%) となった。良い評価 11.0% (10.6%) に対し、悪い評価61.2%(60.2%)であり、観光地としての魅力については非常に評価が低くなっている。 年代別集計では、悪い評価が「10代」64.9%(61.1%)、「20代」66.4%(65.0%)、「30代」69.9%(67.4%)、 「50代」67.8% (63.1%) と高くなっている。なかでも「悪い」と回答した割合が、「20代」34.3% (27.5%)、 「30代」26.4% (29.5%) で高くなっている。

居住地域別集計では、悪い評価が概ね 60%前後と高くなっている中で、「河辺」47.9% (49.6%)、「雄 和」53.3% (54.5%) が若干低くなっている。

問2-5 全体

問2-5 居住地域別

100%

3.0

2.8

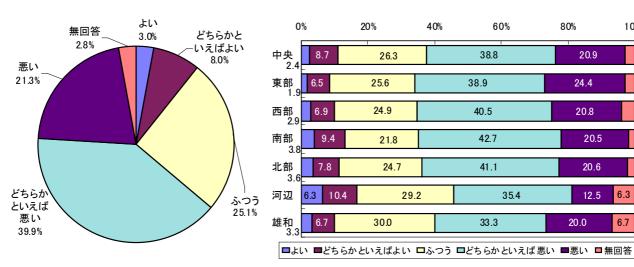
4.0

1.7

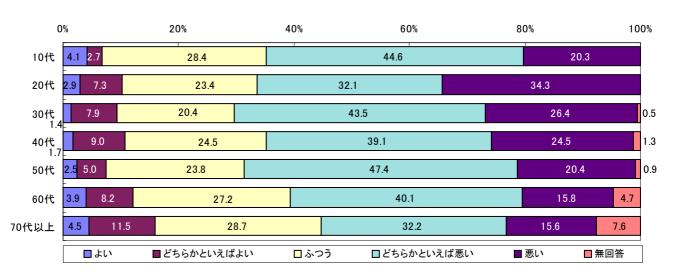
2.1

6.3

6.7



問2-5 年代別



問2-6 (産業や雇用の状況は)

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと(産業や雇用の状況は)をどのように感じていますか。

1 よい 2 どちらかといえばよい

4 どちらかといえば悪い 5 悪い

この設問では、産業や雇用の状況に対する評価を聞いている。(集計表 P158 参照)

全体集計では、「よい」0.1% (0.2%)、「どちらかといえばよい」0.4% (1.1%)、「ふつう」9.8% (15.8%)、「どちらかといえば悪い」36.6% (41.1%)、「悪い」49.4% (40.0%) となった。良い評価 0.5% (1.3%) に対し、悪い評価 86.0% (81.1%) であり、産業や雇用状況については非常に評価が低くなっている。

男女別集計では、悪い評価の割合が「男性」88.3% (80.9%)、「女性」84.7% (81.3%) となっており、 男性の評価が若干低くなっている。

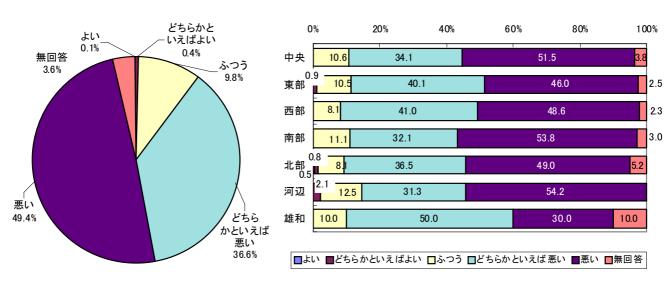
年代別集計では、悪い評価は「20代」89.1% (78.8%)、「30代」90.3% (82.8%)、「40代」88.0% (89.9%)、「50代」92.3% (86.3%)、「60代」87.5% (82.7%) と高くなっている。

居住地域別集計では、全ての地域で80%以上が悪い評価をしている。

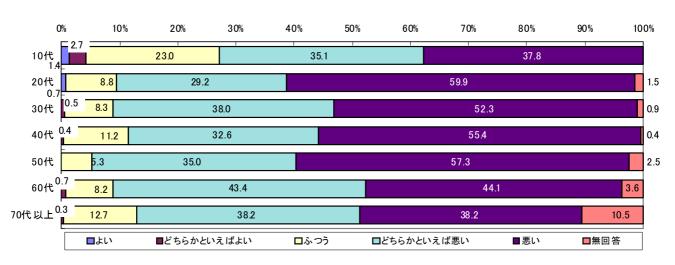
問2-6 全体

問2-6 居住地域別

3 ふつう



問2-6 年代別



問2-7 (経済・学術交流などの国際化の進みぐあいは)

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと(経済・学術交流などの国際化の進みぐあいは)をどのように 感じていますか。

1 よい 2 どちらかといえばよい 3 ふつう

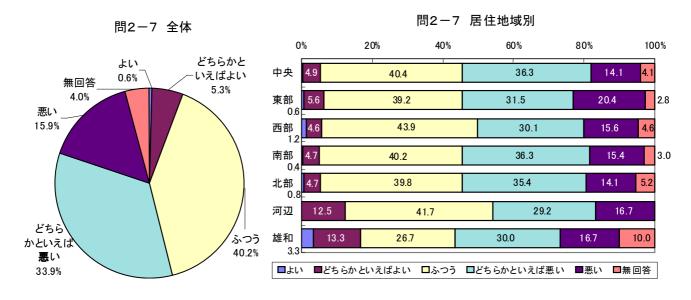
4 どちらかといえば悪い 5 悪い

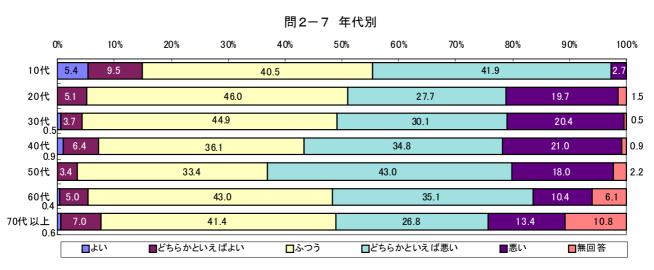
この設問では、経済・学術交流などの国際化の進みぐあいに対する評価を聞いている。(集計表 P158 参照)

全体集計では、「よい」0.6% (1.0%)、「どちらかといえばよい」5.3% (7.2%)、「ふつう」40.2% (44.7%)、「どちらかといえば悪い」33.9% (31.6%)、「悪い」15.9% (12.9%) となった。良い評価 5.9% (8.2%) に対し、悪い評価 49.8% (44.5%) であり、経済・学術交流などの国際化の進みぐあいについては評価が低くなっている。

年代別集計では、悪い評価が「20代」47.4% (46.1%)、「30代」50.5% (49.6%)、「40代」55.8% (53.9%)、「50代」61.0% (48.7%) と高くなっている。一方、良い評価が「10代」14.9% (19.5%) で高くなっている。

居住地域別集計では、他の地域では概ね良い評価が 10%以下となっているのに対し、「河辺」12.5% (8.3%)、「雄和」16.6% (20.3%) と高くなっている。





問2-8 (大雨、地震など自然災害への安全性は)

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと(大雨、地震など自然災害への安全性は)をどのように感じていますか。

1 よい 2 どちらかといえばよい 3 ふつう

4 どちらかといえば悪い 5 悪い

この設問では、大雨、地震など自然災害への安全性に対する評価を聞いている。(集計表 P159 参照) 全体集計では、「よい」3.5%(3.0%)、「どちらかといえばよい」15.2%(13.1%)、「ふつう」57.8%(56.9%)、「どちらかといえば悪い」16.8%(19.8%)、「悪い」4.4%(6.0%)となった。良い評価18.7%(16.1%)に対し、悪い評価21.2%(25.8%)であり、自然災害への安全性については評価が拮抗している。

男女別集計では、良い評価の割合が「男性」22.3% (19.1%)、「女性」15.8% (13.8%) となっており、 女性の評価が低くなっている。

年代別集計では、概ね良い評価が 15%以上となっているなかで、「20 代」は 13.1% (10.3%) と少なくなっている。

居住地域別集計では、悪い評価では「雄和」30.0% (32.3%) と評価が低くなっている。

問2-8 全体 問2-8 居住地域別 0% 20% 40% 60% 80% 100% 無回答 よい 2.4% 3.5% 悪い 3.5 16.3 3.0 中央 59.6 4.4% どちらかと いえばよい どちらかと 15.1 15.1 5.9 1.9 15.2% 東部 59.3 いえば 悪い 55.5 15.0 5.8 1.7 西部 5.2 16.8 16.8% 1.7 南部 16.7 1.7 13.7 60.7 北部 56.8 18.8 4.4 2.3 143 河辺 16.7 22.9 4.2 2.1 50.0 ふつう 33.3 雄和 26.7 10.0 10.0 57.8% ■よい ■どちらかといえばよい □ふつう □どちらかといえば悪い ■悪い ■無回答 問2-8 年代別 100% 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 10代 17.6 12.2 6.8 59.5 20代 10.9 60.6 19.7 5.8 0.7 2.2 57.9 16.7 5.1 30代 15.7 40代 14.2 21.5 3.9 1.7 56.7 2.1 3.4 17.3 4.6 1.5 50代 11.8 61.3 2.5 60代 60.6 13.6 3.9

□ふつう

50.6

■どちらかといえば悪い

15.9

■悪い

3.2 5.7

■無回答

70代以上

18.2

■よい

■どちらかといえばよい

問2-9(防犯への取り組みは)

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと(防犯への取り組みは)をどのように感じていますか。

1 よい

2 どちらかといえばよい 3 ふつう

4 どちらかといえば悪い

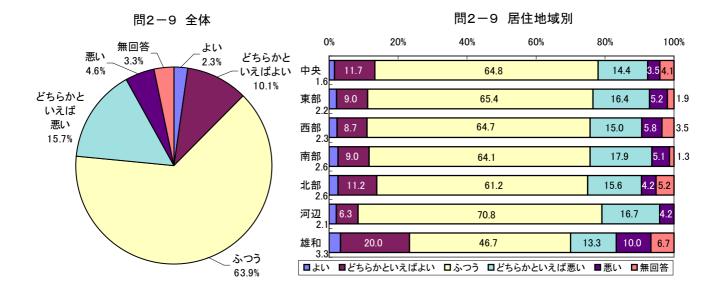
5 悪い

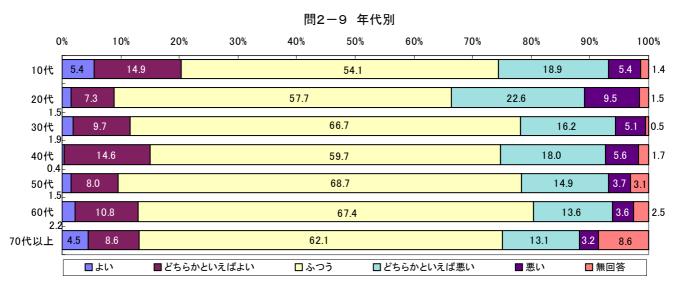
この設問では、防犯への取り組みに対する評価を聞いている。(集計表 P159 参照)

全体集計では、「よい」2.3%(1.9%)、「どちらかといえばよい」10.1%(9.8%)、「ふつう」63.9%(61.4%)、 「どちらかといえば悪い」15.7% (19.7%)、「悪い」4.6% (5.6%) となった。良い評価12.4% (11.7%) に対し、悪い評価20.3%(25.3%)であり、防犯への取り組みについては評価が若干低くなっている。

男女別集計では、良い評価の割合が「男性」15.1% (14.5%)、「女性」10.5% (9.8%) となっている。 また、悪い評価も女性で高くなっている。

年代別集計では、良い評価の割合が、「10代」20.3%(15.4%)、「40代」15.0%(12.0%)と高くなっ ている。また、悪い評価については「20代」32.1% (31.8%) と他の年代に比べ高くなっている。 居住地域別集計では、「雄和」23.3% (18.2%) と高くなっている。





問2-10 (バス、電車などの利用しやすさは)

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと(バス、電車などの利用しやすさは)をどのように感じていますか。

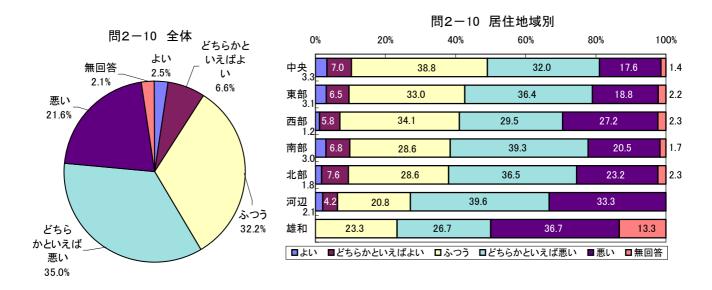
1 よい 2 どちらかといえばよい 3 ふつう

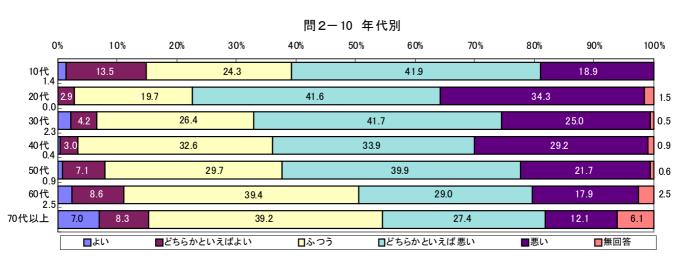
4 どちらかといえば悪い 5 悪い

この設問では、バス、電車などの利用のしやすさに対する評価を聞いている。(集計表 P160 参照) 全体集計では、「よい」2.5% (3.9%)、「どちらかといえばよい」6.6% (9.7%)、「ふつう」32.2% (36.4%)、「どちらかといえば悪い」35.0% (31.0%)、「悪い」21.6% (17.9%) となった。良い評価 9.1% (13.6%) に対し、悪い評価 56.6% (48.9%) であり、バス、電車の利用のしやすさについては非常に評価が低くなっている。

年代別集計では、良い評価が「20代」2.9% (8.3%)、「30代」6.5% (7.8%)、「40代」3.4% (5.6%) と低くなっている。また、悪い評価については「20代」75.9% (63.9%) が他の年代に比べ高くなっている。

居住地域別集計では、悪い評価が「河辺」72.9% (55.9%)、「雄和」63.4% (65.6%) と高くなっている。





問2-11 (冬期の除雪については)

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと(冬期の除雪については)をどのように感じていますか。

1 よい

2 どちらかといえばよい

3 ふつう

4 どちらかといえば悪い

5 悪い

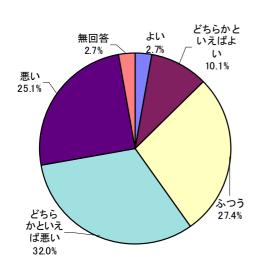
この設問では、冬期の除雪に対する評価を聞いている。(集計表 P160参照)

全体集計では、「よい」2.7%(2.2%)、「どちらかといえばよい」10.1%(9.1%)、「ふつう」27.4%(25.7%)、「どちらかといえば悪い」32.0%(33.4%)、「悪い」25.1%(28.5%)となった。良い評価12.8%(11.3%)に対し、悪い評価57.1%(61.9%)であり、冬期の除雪については非常に評価が低くなっている。

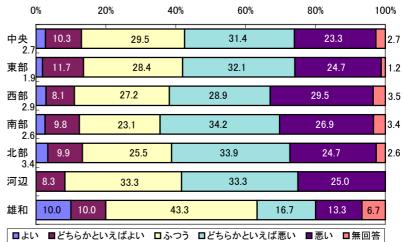
年代別集計では、悪い評価が「20代」66.4% (64.4%)、「30代」61.2% (65.3%)、「40代」67.4% (70.6%)、「50代」62.2% (67.0%) と他の年代に比べ高くなっている。

居住地域別集計では、悪い評価が「雄和」30.0%(49.5%)と少なくなっている。

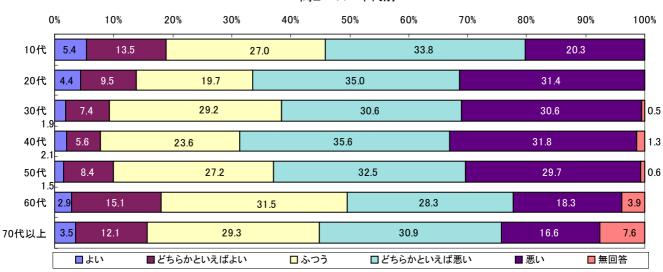
問2-11 全体



問2-11 居住地域別



問2-11 年代別



問2-12 (買い物のしやすさは)

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと(買い物のしやすさは)をどのように感じていますか

1 よい

- 2 どちらかといえばよい 3 ふつう

4 どちらかといえば悪い

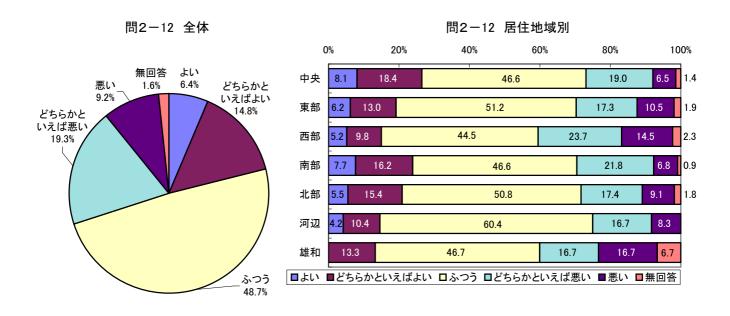
5 悪い

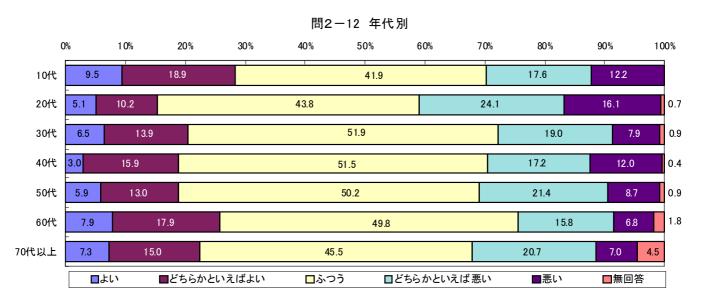
この設問では、買い物のしやすさに対する評価を聞いている。(集計表 P161 参照)

全体集計では、「よい16.4%(7.0%)、「どちらかといえばよい14.8%(17.9%)、「ふつう148.7%(48.7%)、 「どちらかといえば悪い」19.3% (17.6%)、「悪い」9.2% (7.9%) となった。良い評価21.2% (24.9%) に対し、悪い評価28.5% (25.5%) であり、買い物のしやすさについては評価が若干低くなっている。

年代別集計では、悪い評価は「20代」40.2% (38.1%) で高くなっている。

居住地域別集計では、良い評価が「中央」26.5% (24.1%)、「南部」23.9% (31.1%) で高くなってい る。





問2-13(食の安全・安心は)

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと(食の安全・安心は)をどのように感じていますか。

1 よい

- 2 どちらかといえばよい
- 3 ふつう

4 どちらかといえば悪い

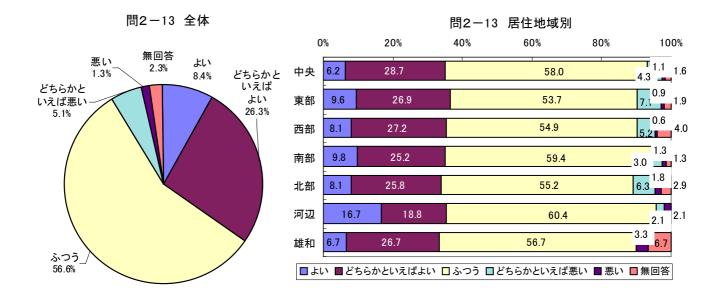
5 悪い

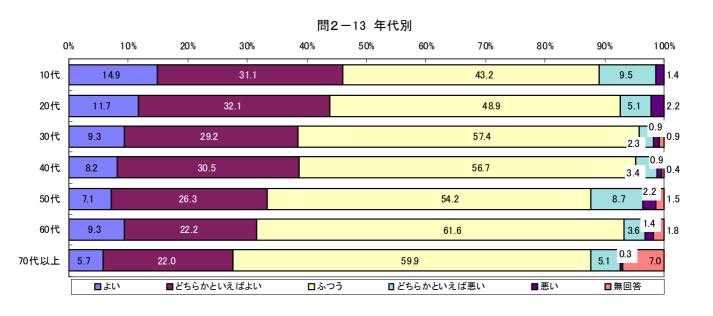
この設問では、食の安全・安心に対する評価を聞いている。(集計表 P161参照)

全体集計では、「よい」8.4% (9.9%)、「どちらかといえばよい」26.3% (27.9%)、「ふつう」56.6% (55.3%)、「どちらかといえば悪い」5.1% (4.1%)、「悪い」1.3% (1.4%) となった。良い評価34.7% (37.8%) に対し、悪い評価6.4% (5.5%) であり、食の安全・安心については評価が高くなっている。

年代別集計では、良い評価は「10代」46.0%(49.6%)、「20代」43.8%(50.4%)と高くなっており、 年代が高くなるにつれて、その評価は下がる傾向にある。

居住地域別集計では、「よい」が「河辺」16.7% (10.1%) で高くなっている。





問2-14(高齢者・障害者の生活のしやすさは)

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと(高齢者・障害者の生活のしやすさは)をどのように感じていますか。

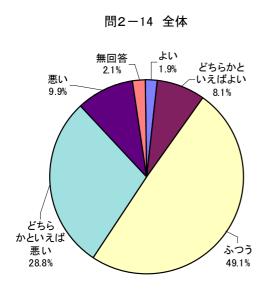
1 よい 2 どちらかといえばよい 3 ふつう

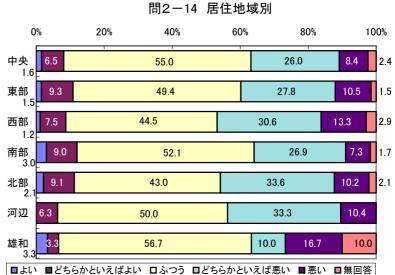
4 どちらかといえば悪い 5 悪い

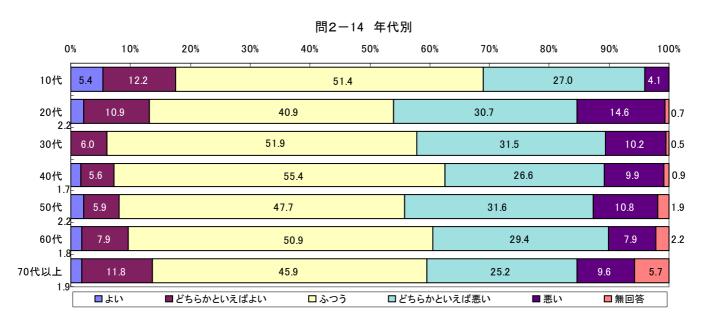
この設問では、高齢者・障害者の生活のしやすさに対する評価を聞いている。(集計表 P162 参照) 全体集計では、「よい」1.9%(2.2%)、「どちらかといえばよい」8.1%(10.1%)、「ふつう」49.1%(49.7%)、「どちらかといえば悪い」28.8%(28.0%)、「悪い」9.9%(8.5%)となった。良い評価10.0%(12.3%)に対し、悪い評価38.7%(36.5%)であり、高齢者・障害者の生活のしやすさに対する評価は低い。

年代別集計では、良い評価が「10代」17.6% (21.5%) と高くなっている。

居住地域別集計では、悪い評価が「西部」43.9% (38.6%)、「北部」43.8% (36.0%)、「河辺」43.7% (31.2%) で高くなっている。







問2-15 (子どもの育てやすさは)

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと(子どもの育てやすさは)をどのように感じていますか。

1 よい

- 2 どちらかといえばよい 3 ふつう

4 どちらかといえば悪い

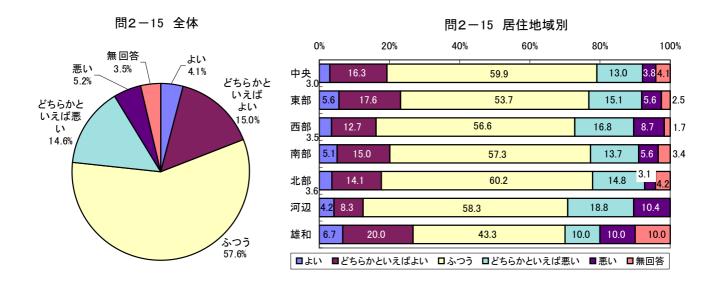
5 悪い

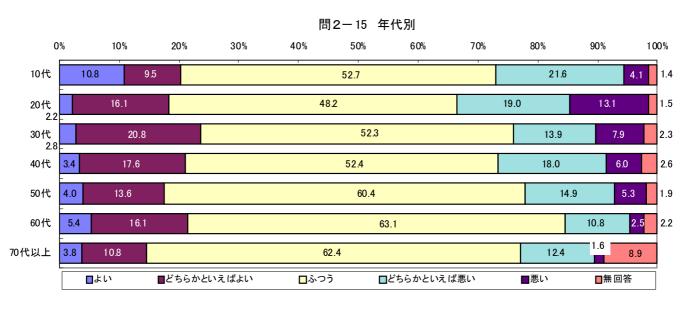
この設問では、子どもの育てやすさに対する評価を聞いている。(集計表 P162 参照)

全体集計では、「よい」4.1%(3.6%)、「どちらかといえばよい」15.0%(15.8%)、「ふつう」57.6%(56.4%)、 「どちらかといえば悪い」14.6% (16.5%)、「悪い」5.2% (5.2%) となった。良い評価 19.1% (19.4%) に対し、悪い評価19.8% (21.7%) であり、子どもの育てやすさについては評価が拮抗している。

年代別集計では、悪い評価が「10代」25.7%(20.8%)、「20代」32.1%(30.6%)、「30代」21.8%(32.4%) 「40代」24.0% (25.9%) で高くなっている。

居住地域別集計では、悪い評価が「西部」25.5% (27.4%)、「河辺」29.2% (22.0%) で高くなってい る。





問2-16 (病院などの医療機関の利用しやすさは)

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと(病院などの医療機関の利用しやすさは)をどのように感じていますか。

1 よい 2 どちらかといえばよい 3 ふつう

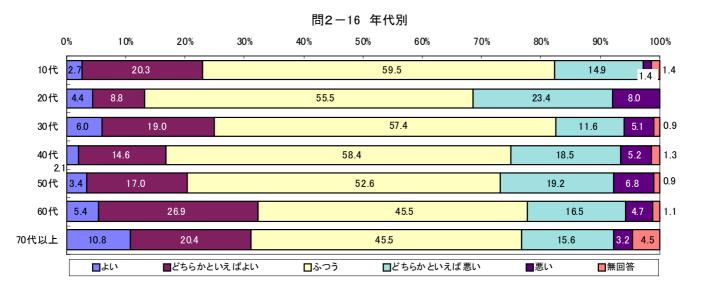
4 どちらかといえば悪い 5 悪い

この設問では、病院など医療機関の利用しやすさに対する評価を聞いている。(集計表 P163 参照) 全体集計では、「よい」5.6%(6.6%)、「どちらかといえばよい」18.8%(20.0%)、「ふつう」52.0%(51.9%)、 「どちらかといえば悪い」16.9%(16.0%)、「悪い」5.1%(4.4%)となった。良い評価24.4%(26.6%) に対し、悪い評価22.0%(20.4%)であり、病院など医療機関の利用しやすさについては評価が拮抗している。

年代別集計では、良い評価が「60代」32.3% (30.5%)、「70代以上」31.2% (33.3%) と高くなっている。 悪い評価では「20代」31.4% (27.8%) が他の年代に比べ高くなっている。

居住地域別集計では、良い評価が「中央」27.4% (27.0%)、「東部」27.5% (29.4%) と高くなっており、悪い評価では「西部」33.5% (23.9%)、「河辺」31.3% (20.2%)、「雄和」40.0% (27.5%) と高くなっている。

問2-16 全体 問2-16 居住地域別 Ο% 20% 40% 60% 80% 100% 無回答 悪い よい どちらかと 4.3 1.6 1.6% √5.6% 中央 5.7 21.7 11.7 55.0 いえば どちらかと よい いえば悪 東部 7.1 20.4 50.0 14.8 6.8 0.9 18.8% い 16.9% 45.7 4.0 13.9 26.0 7.5 2.9 西部 南部 6.4 17.9 15.4 4.3 0.4 55.6 18.8 3.4 北部 5.2 18.0 52.6 2.1 14.6 27.1 4.2 河辺 20.0 33.3 30.0 雄和 6.7 ふつう 52.0% □よい ■どちらかといえばよい □ふつう □どちらかといえば悪い ■悪い ■無回答



問2-17 (健康診断や予防接種などの受けやすさは)

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと(健康診断や予防接種などの受けやすさは)をどのように感じていますか。

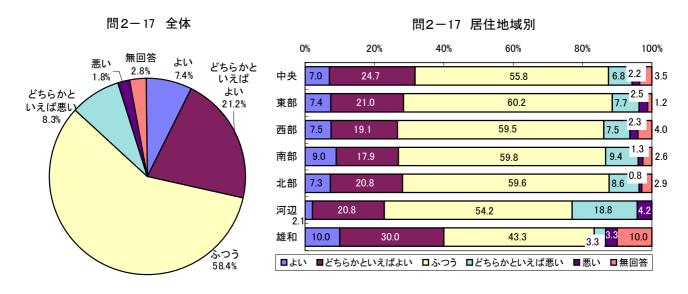
1 よい 2 どちらかといえばよい 3 ふつう

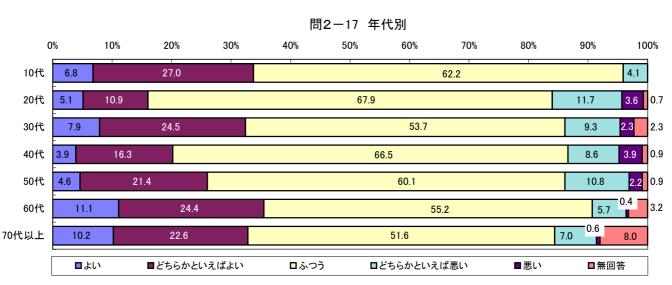
4 どちらかといえば悪い 5 悪い

この設問では、健康診断や予防接種などの受けやすさに対する評価を聞いている。(集計表 P163 参照) 全体集計では、「よい」7.4%(7.6%)、「どちらかといえばよい」21.2%(20.5%)、「ふつう」58.4%(59.6%)、「どちらかといえば悪い」8.3%(8.9%)、「悪い」1.8%(2.2%)となった。良い評価 28.6%(28.1%)に対し、悪い評価 10.1%(11.1)%であり、健康診断や予防接種などの受けやすさについては、良い評価 が高くなっている。

年代別集計では、良い評価が「10代」33.8% (28.2%)、「30代」32.4% (21.3%)、「60代」35.5% (33.0%)、「70代以上」32.8% (37.2%) と高くなっている。

居住地域別集計では、良い評価が「雄和」40.0% (28.2%) と高く、悪い評価では「河辺」23.0% (13.7%) と高くなっている。





問2-18(ごみの収集・処理やリサイクルへの取り組みは)

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと(ごみの収集・処理やリサイクルへの取り組みは)をどのように感じていますか。

1 よい 2 どちらかといえばよい 3 ふつう

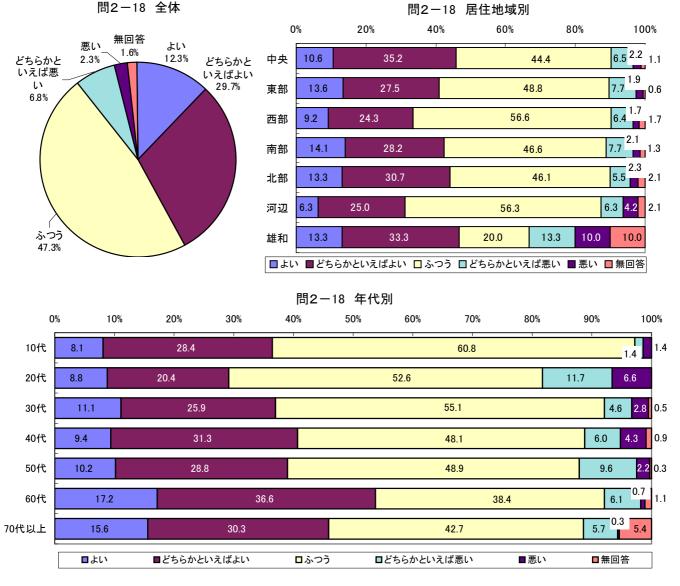
4 どちらかといえば悪い 5 悪い

この設問では、ごみの収集・処理やリサイクルの取り組みに対する評価を聞いている。(集計表 P164 参照)

全体集計では、「よい」12.3% (14.2%)、「どちらかといえばよい」29.7% (32.4%)、「ふつう」47.3% (43.8%)、「どちらかといえば悪い」6.8% (6.8%)、「悪い」2.3% (1.9%) となった。良い評価42.0% (46.6%) に対し、悪い評価9.1% (8.7%) であり、ごみの収集・処理やリサイクルの取り組みについては、良い評価が非常に高くなっている。

年代別集計では、年代が上がるにつれて評価が高くなる傾向にあり、「60代」では、53.8% (51.3%) が良い評価をしている。

居住地域別集計では、良い評価が「西部」33.5% (45.0%)、「河辺」31.3% (43.2%) と、他地域に比べ低くなっている。



問2-19 (環境保全への取り組みは)

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと(環境保全への取り組みは)をどのように感じていますか。

1 よい

2 どちらかといえばよい

3 ふつう

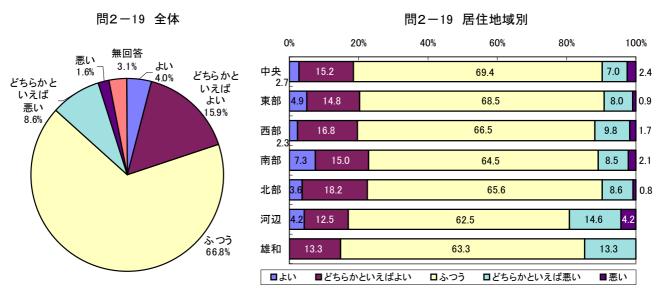
4 どちらかといえば悪い

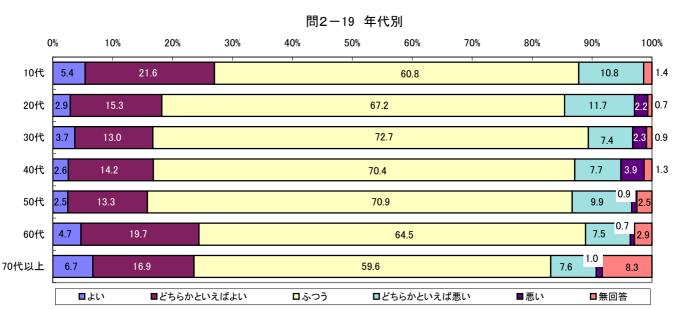
5 悪い

この設問では、環境保全への取り組みに対する評価を聞いている。(集計表 P164 参照)

全体集計では、「よい」4.0%(4.4%)、「どちらかといえばよい」15.9%(16.9%)、「ふつう」66.8%(64.8%)、「どちらかといえば悪い」8.6%(10.0%)、「悪い」1.6%(1.9%)となった。良い評価19.9%(21.3%)に対し、悪い評価10.2%(11.9%)であり、環境保全への取り組みについては良い評価が高くなっている。年代別集計では、良い評価が「10代」27.0%(24.9%)、「60代」24.4%(25.0%)、「70代」23.6%(22.7%)と高くなっている。

居住地域別集計では、悪い評価が「河辺」18.8% (12.8%) と他地域に比べ高くなっている。





問2-20 (町内会など自治活動の状況は)

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと(町内会など自治活動の状況は)をどのように感じていますか。

1 よい

- 2 どちらかといえばよい 3 ふつう

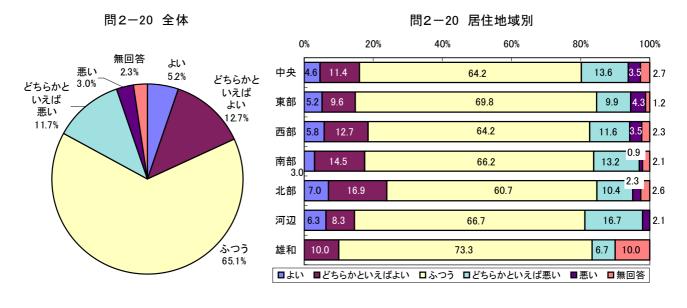
- 4 どちらかといえば悪い
- 5 悪い

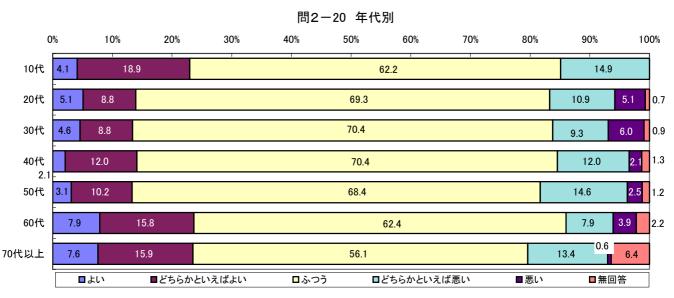
この設問では、町内会など自治活動の状況に対する評価を聞いている。(集計表 P165 参照)

全体集計では、「よい」5.2%(4.4%)、「どちらかといえばよい」12.7%(14.6%)、「ふつう」65.1%(62.4%)、 「どちらかといえば悪い」11.7% (13.7%)、「悪い」3.0% (3.5%) となった。良い評価 17.9% (19.0%) に対し、悪い評価14.7%(17.2%)であり、町内会など自治活動の状況については良い評価が高くなって いる。

男女別集計では、悪い評価が「男性」17.5% (17.4%)、「女性」12.6% (17.2%) となっている。 年代別集計では、良い評価について「10代|23.0%(26.9%)、「60代|23.7%(20.7%)、「70代以上|23.5% (26.4%) と高くなっている。

居住地域別集計では、「中央」「河辺」を除いた5地域は良い評価が悪い評価を上回っているのに対し、 「中央」17.1% (19.5%) と「河辺」18.8% (15.6%) と悪い評価が良い評価を上回っている。





問2-21 (NPO・ボランティア活動など市民活動のしやすさは)

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと(NPO・ボランティア活動など市民活動のしやすさは)をどのように感じていますか。

1 よい 2 どちらかといえばよい 3 ふつう

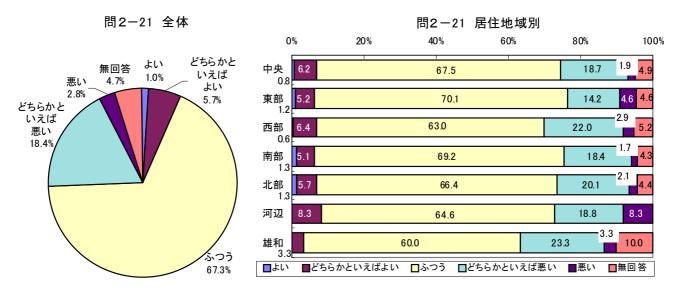
4 どちらかといえば悪い 5 悪い

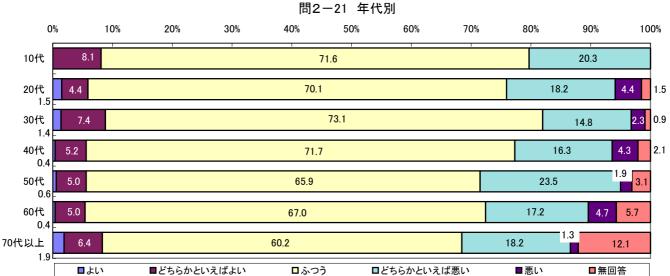
この設問では、NPO・ボランティア活動など市民活動のしやすさに対する評価を聞いている。(集計表 P165 参照)

全体集計では、「よい」1.0% (1.1%)、「どちらかといえばよい」5.7% (6.0%)、「ふつう」67.3% (66.7%)、「どちらかといえば悪い」18.4% (19.4%)、「悪い」2.8% (3.4%) となった。良い評価 6.7% (7.1%) に対し、悪い評価 21.2% (22.8%) であり、NPO・ボランティア活動など市民活動のしやすさについては、悪い評価が上回っている。

年代別集計では、悪い評価が「20代」22.6% (24.1%)、「50代」25.4% (25.1%)、「60代」21.9% (20.4%) と高くなっている。

居住地域別集計では、悪い評価が「河辺」27.1% (34.9%)、「雄和」26.6% (27.3%) と高くなっている。





問2-22(レジャー・娯楽などレクリエーションのしやすさは)

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと(レジャー・娯楽などレクリエーションのしやすさは)をどのように感じていますか。

1 よい 2 どちらかといえばよい 3 ふつう

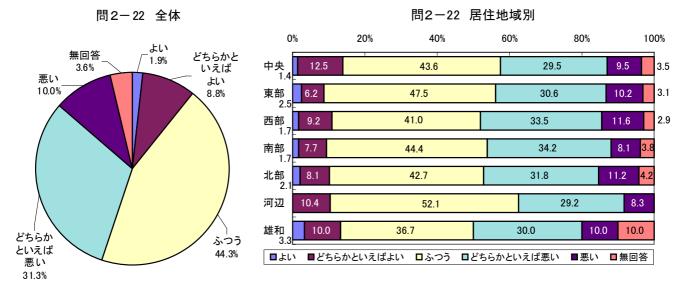
4 どちらかといえば悪い 5 悪い

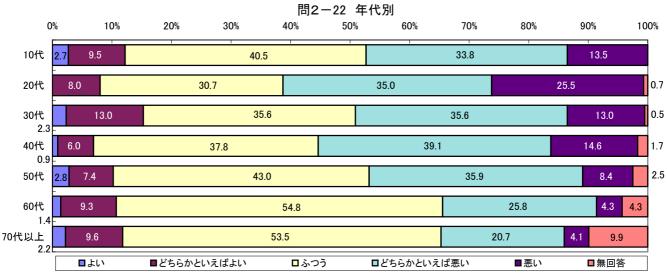
この設問では、レジャー・娯楽などレクリエーションのしやすさに対する評価を聞いている。(集計表 P166 参照)

全体集計では、「よい」1.9% (1.6%)、「どちらかといえばよい」8.8% (9.2%)、「ふつう」44.3% (47.3%)、「どちらかといえば悪い」31.3% (29.1%)、「悪い」10.0% (11.1%) となった。良い評価 10.7% (10.8%) に対し、悪い評価 41.3% (40.2%) であり、レジャー・娯楽などレクリエーションのしやすさについては、非常に評価が低くなっている。

男女別集計では、良い評価が「男性」14.7% (10.9%)、「女性」7.8% (10.8%) と女性の評価が低くなっている。

年代別集計では、悪い評価が「20代」60.5% (56.7%)、「40代」53.7% (55.2%) と高くなっている。 居住地域別集計では、悪い評価が「西部」45.1% (42.3%) と他の地域より若干高くなっている。





問2-23(各種講座やサークルなど生涯学習のしやすさは)

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと(各種講座やサークルなど生涯学習のしやすさは)をどのよう に感じていますか。

1 よい 2 どちらかといえばよい 3 ふつう

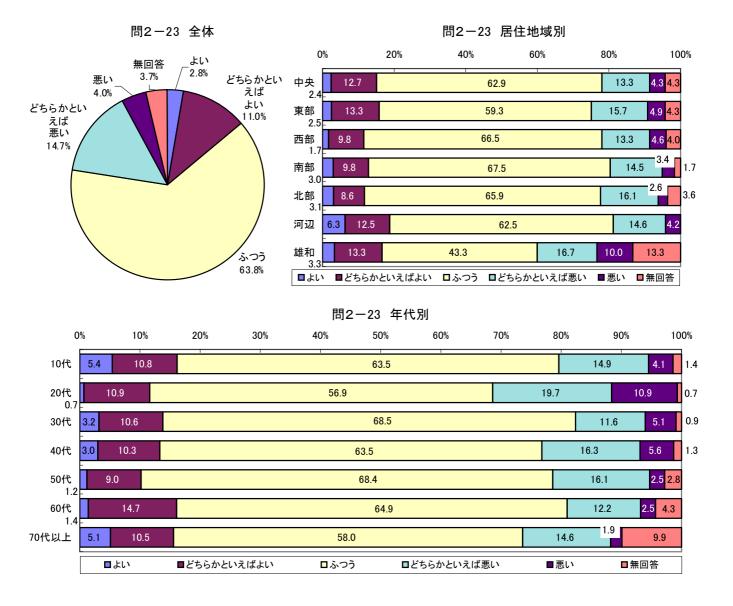
4 どちらかといえば悪い 5 悪い

この設問では、各種講座やサークルなど生涯学習のしやすさに対する評価を聞いている。(集計表 P 166 参照)

全体集計では、「よい」2.8% (3.2%)、「どちらかといえばよい」11.0% (15.0%)、「ふつう」63.8% (60.6%)、「どちらかといえば悪い」14.7% (15.5%)、「悪い」4.0% (3.5%) となった。良い評価 13.8% (18.2%) に対し、悪い評価 18.7% (19.0%) であり、各種講座やサークルなど生涯学習のしやすさについては、悪い評価が上回っている。

年代別集計では、良い評価が「10代」16.2%(14.1%)、「60代」16.1%(22.3%)、「70代以上」15.6%(20.4%)で高くなっている。一方、悪い評価では「20代」30.6%(27.3%)と高くなっている。

居住地域別集計では、顕著な差がなかった。



問2-24(スポーツ活動のしやすさは)

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと(スポーツ活動のしやすさは)をどのように感じていますか。

1 よい

- 2 どちらかといえばよい 3 ふつう

4 どちらかといえば悪い

5 悪い

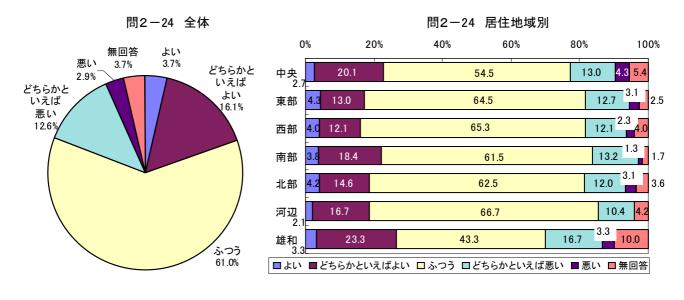
この設問では、スポーツ活動のしやすさに対する評価を聞いている。(集計表 P167参照)

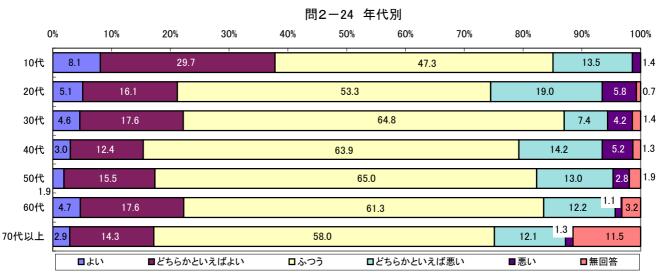
全体集計では、「よい」3.7%(4.6%)、「どちらかといえばよい」16.1%(18.4%)、「ふつう」61.0%(59.0%)、 「どちらかといえば悪い」12.6% (12.5%)、「悪い」2.9% (3.1%) となった。良い評価 19.8% (23.0%) に対し、悪い評価15.5% (15.6%) であり、スポーツ活動のしやすさについては、良い評価が若干上回っ ている。

男女別集計では、良い評価が「男性」25.6% (25.5%)、「女性」15.7% (21.1%) と男性の評価が高く なっている。

年代別集計では、良い評価が「10代」37.8% (28.2%) と非常に高くなっている。また、悪い評価が「20 代」24.8% (19.5%) と他の年代よりも若干高くなっている。

居住地域別集計では、良い評価が「雄和」26.6% (27.3%) と他の地域に比べ高くなっている。





問2-25(文化・芸術活動のしやすさは)

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと(文化・芸術活動のしやすさは)をどのように感じていますか。

1 よい

- 2 どちらかといえばよい 3 ふつう

4 どちらかといえば悪い

5 悪い

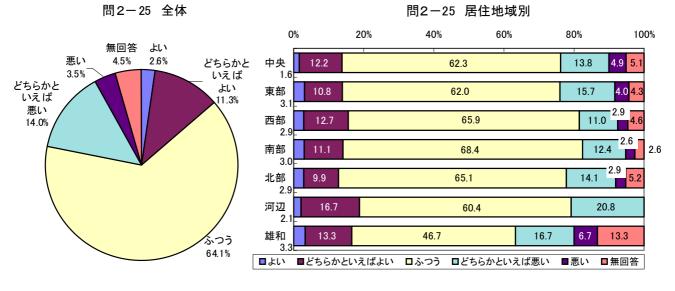
この設問では、文化・芸術活動のしやすさに対する評価を聞いている。(集計表 P167参照)

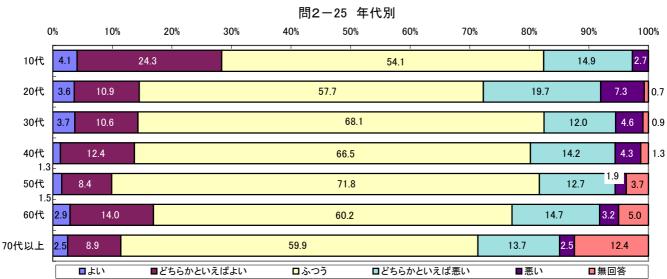
全体集計では、「よい」2.6%(2.6%)、「どちらかといえばよい」11.3%(12.3%)、「ふつう」64.1%(63.6%)、 「どちらかといえば悪い」14.0% (15.1%)、「悪い」3.5% (3.5%) となった。良い評価13.9% (14.9%) に対し、悪い評価17.5% (18.6%) であり、文化・芸術活動のしやすさについては、悪い評価が若干上回 っている。

男女別集計では、悪い評価が「男性」14.7%(17.4%)、「女性」19.6%(19.5%)と、女性の評価が低 くなっている。

年代別集計では、良い評価が、「10代」28.4% (24.2%) と高くなっている。また、悪い評価は、「20代」 27.0% (18.9%) と高くなっている。

居住地域別集計では、悪い評価が「東部」19.7% (17.0%)、「河辺」20.8% (21.1%)、「雄和」23.4% (18.2%) と他の地域に比べ高くなっている。





問2-26(女性の社会参加のしやすさは)

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと(女性の社会参加のしやすさは)をどのように感じていますか。

1 よい

- 2 どちらかといえばよい 3 ふつう

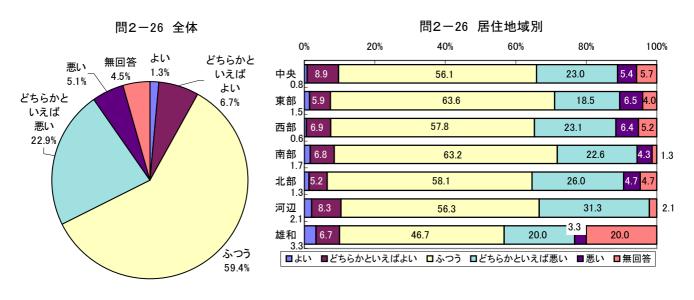
4 どちらかといえば悪い

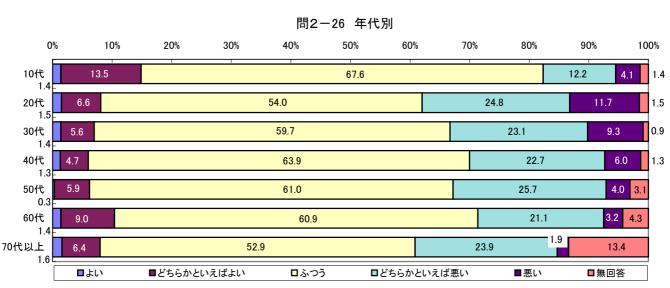
5 悪い

この設問では、女性の社会参加のしやすさに対する評価を聞いている。(集計表 P168参照) 全体集計では、「よい | 1.3% (1.8%)、「どちらかといえばよい | 6.7% (7.5%)、「ふつう | 59.4% (60.5%)、 「どちらかといえば悪い」22.9% (22.2%)、「悪い」5.1% (5.2%) となった。良い評価8.0% (9.3%) に対し、悪い評価28.0% (27.4%) であり、女性の社会参加のしやすさについては、悪い評価が大きく上 回っている。

男女別集計では、悪い評価が「男性」24.0% (22.4%)、「女性」31.2% (31.1%) と、女性の評価が低 くなっている。

年代別集計では、悪い評価が「20代」36.5% (31.5%)、「30代」32.4% (34.9%) と高くなっている。 居住地域別集計では、顕著な差がなかった。





問2-27(市民の市政参加のしやすさは)

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと(市民の市政参加のしやすさは)をどのように感じていますか。

1 よい

- 2 どちらかといえばよい
- 3 ふつう

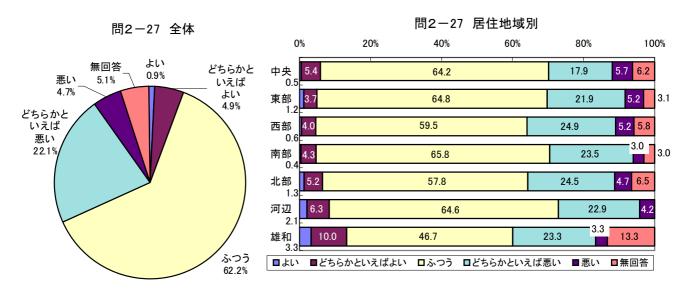
4 どちらかといえば悪い

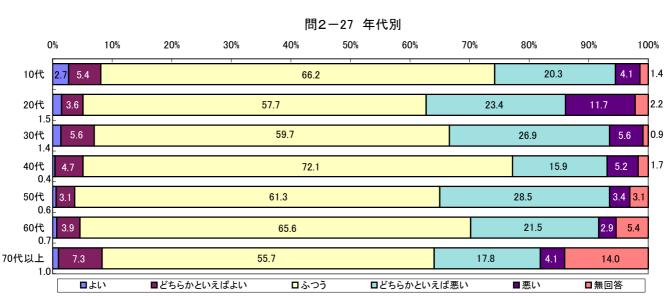
5 悪い

この設問では、市民の市政参加のしやすさに対する評価を聞いている。(集計表 P168 参照) 全体集計では、「よい」0.9%(1.3%)、「どちらかといえばよい」4.9%(6.6%)、「ふつう」62.2%(62.1%)、「どちらかといえば悪い」22.1%(22.0%)、「悪い」4.7%(5.3%)となった。良い評価5.8%(7.9%)に対し、悪い評価26.8%(27.3%)であり、市民の市政参加のしやすさについては、悪い評価が大きく上回っている。

年代別集計では、悪い評価が「20代」35.1% (28.1%)、「30代」32.5% (29.9%)、「50代」31.9% (29.7%) で高くなっている。

居住地域別集計では、悪い評価が「西部」30.1% (26.2%)、「北部」29.2% (28.4%) で高くなっている。





問2-28(市役所の窓口サービスは)

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと(市役所の窓口サービスは)をどのように感じていますか。

1 よい

- 2 どちらかといえばよい
- 3 ふつう

4 どちらかといえば悪い

5 悪い

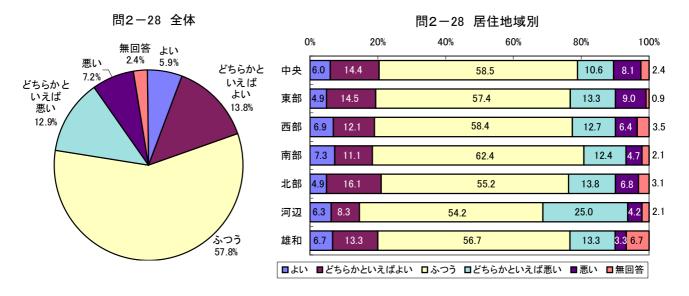
この設問では、市役所の窓口サービスに対する評価を聞いている。(集計表 P169参照)

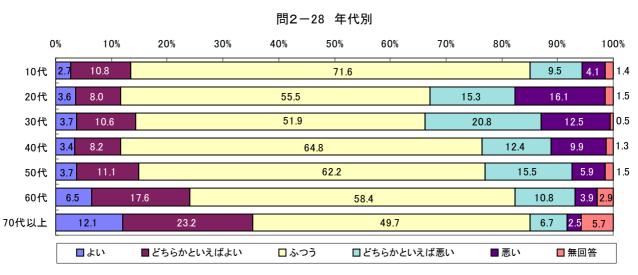
全体集計では、「よい」5.9%(6.1%)、「どちらかといえばよい」13.8%(16.7%)、「ふつう」57.8%(55.2%)、「どちらかといえば悪い」12.9%(13.7%)、「悪い」7.2%(6.9%)となった。良い評価19.7%(22.8%)に対し、悪い評価20.1%(20.6%)であり、市役所の窓口サービスについては、評価が拮抗している。

男女別集計では、良い評価が「男性」25.0% (25.3%)、「女性」15.8% (21.0%) と女性の評価が低くなっている。

年代別集計では、良い評価が「60代」24.1% (28.2%)、「70代以上」35.3% (36.6%) と高くなっている。また、悪い評価では「20代」31.4% (31.0%)、「30代」33.3% (30.7%)、「40代」22.3% (29.2%) と高くなっている。

居住地域別集計では、悪い評価で「河辺」29.2% (18.3%) と高くなっている。





問2-29(広報あきたなど市政情報の得やすさは)

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと(広報あきたなど市政情報の得やすさは)をどのように感じていますか。

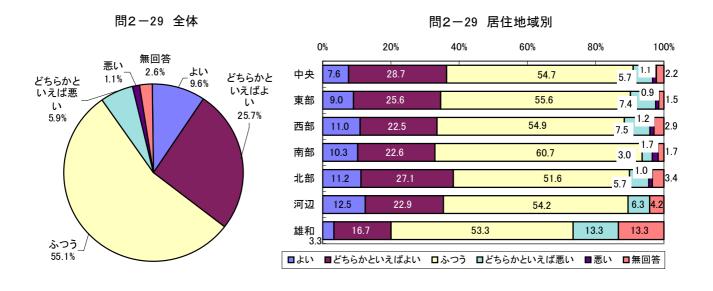
1 よい 2 どちらかといえばよい 3 ふつう

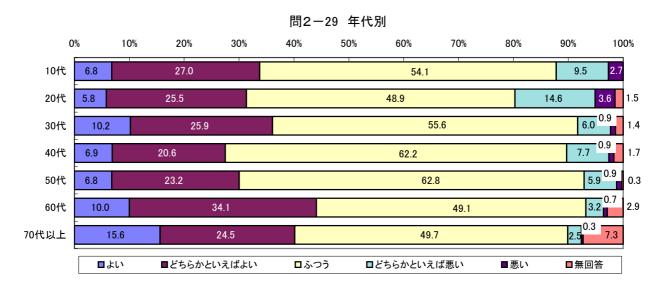
4 どちらかといえば悪い 5 悪い

この設問では、広報あきたなど市政情報の得やすさに対する評価を聞いている。(集計表 P169 参照) 全体集計では、「よい」9.6% (12.0%)、「どちらかといえばよい」25.7% (28.8%)、「ふつう」55.1% (50.9%)、「どちらかといえば悪い」5.9% (5.4%)、「悪い」1.1% (1.5%) となった。良い評価35.3% (40.8%) に対し、悪い評価7.0% (6.9%) であり、広報あきたなど市政情報の得やすさについては、良い評価が非常に高くなっている。

年代別集計では、良い評価が「30代」36.1% (42.9%)、「60代」44.1% (44.2%)、「70代以上」40.1% (49.1%) と高くなっている。

居住地域別集計では、悪い評価が「雄和」13.3% (14.1%) と高くなっている。





問2-30 (ホームページを使った市民サービスは)

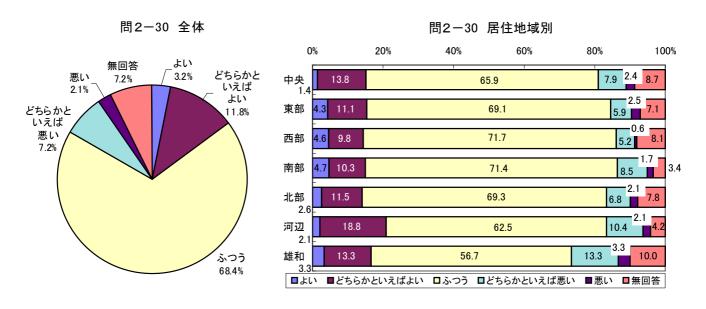
あなたは、秋田市に住んでいて次のこと(ホームページを使った市民サービスは)をどのように感じていますか。

1 よい 2 どちらかといえばよい 3 ふつう

4 どちらかといえば悪い 5 悪い

この設問では、ホームページを使った市民サービスに対する評価を聞いている。(集計表 P170参照) 全体集計では、「よい」3.2%(3.8%)、「どちらかといえばよい」11.8%(12.1%)、「ふつう」68.4%(69.1%)、 「どちらかといえば悪い」7.2%(7.0%)、「悪い」2.1%(2.0%)となった。良い評価15.0%(15.9%) に対し、悪い評価9.3%(9.0%)であり、ホームページを使った市民サービスについては、良い評価が若 干高くなっている。

年代別集計では、無回答が「60代」9.3% (9.6%)、「70代以上」18.2% (11.7%) と高くなっている。 居住地域別集計では、悪い評価が「雄和」16.6% (11.1%) と高くなっている。





第2節 秋田市の施策について 1 力を入れて欲しい施策(問3①)

問3① (力を入れてほしい施策)

秋田市が行っていることの中で、あなたはどのような分野に力を入れて欲しいと思いますか。次の中か ら5つまで選んで下さい。

1 道路交通網の整備 2 バス路線の維持 3 冬期の除雪

4 中心市街地のにぎわい創出 5 公営住宅の供給 6 上水道、下水道の整備

8 公園整備や緑化の推進 9 環境保全対策 7 美しい景観づくり

10 ごみ処理やリサイクル対策 11 I T基盤整備 12 商工業の振興や地元経済の活性化

13 雇用対策 14 観光振興 15 農林水産業の振興

16 高齢者福祉 17 障害者福祉 18 子育て支援

19 乳幼児医療・児童福祉 20 健康づくり・医療・保健衛生 21 防犯・防災対策

22 消費者問題対策 23 小・中学校の教育環境整備 24 大学など高等教育環境の整備

25 生涯学習環境の整備 26 青少年の健全育成 27 スポーツ振興

28 芸術・文化振興 29 住民自治やコミュニティの振興

31 男女共生の推進 30 NPO・ボランティア活動などの市民活動促進

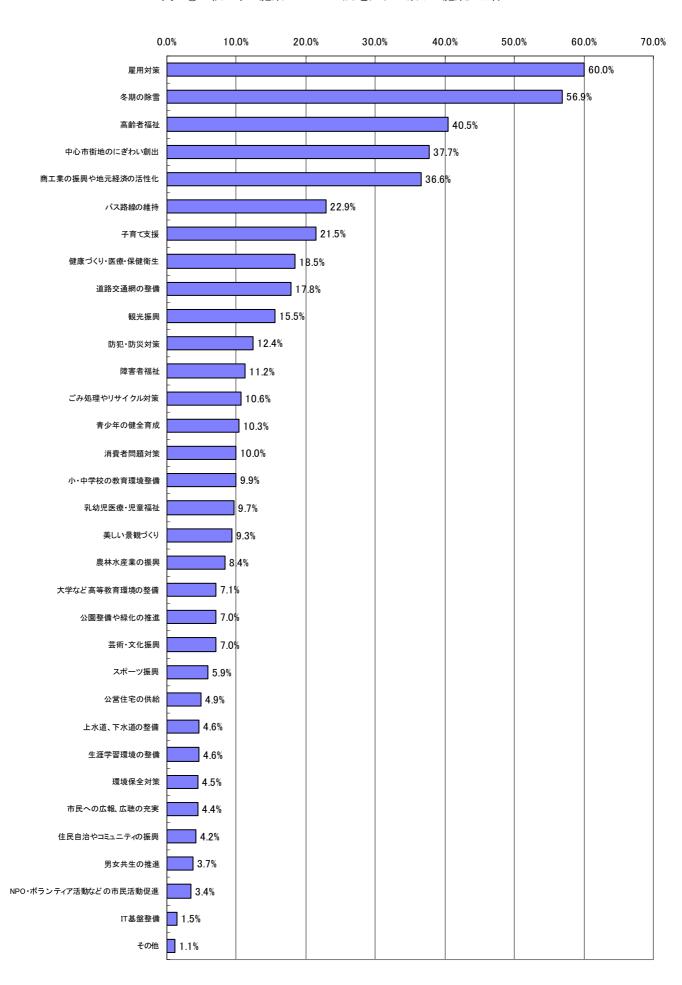
32 市民への広報、広聴の充実 33 その他

この設問では、力を入れて欲しい施策を5つ聞いている。(集計表 P171~172参照)

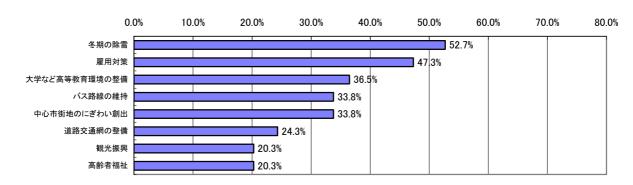
全体集計では、最も多かったのは「雇用対策」60.0%(47.4%)であった。以下、「冬期の除雪」56.9% (60.4%)、「高齢者福祉」40.5% (39.4%)、「中心市街地のにぎわい創出」37.7% (38.4%)、「商工業の 振興や地元経済の活性化」36.6% (30.2%)、「バス路線の維持」22.9% (20.2%) と続いている。(P44 グラフ参照)

なお、年代別、居住地域別の集計結果については、P45 からP48 のグラフで示している。(表記の条件 として、20%以上の回答があったものを記している)

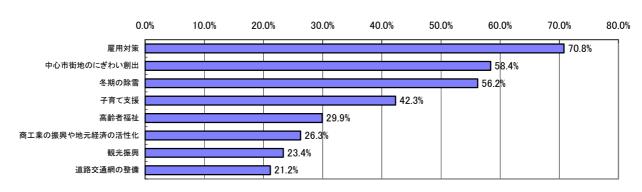
問3① 秋田市の施策について(力を入れて欲しい施策)全体



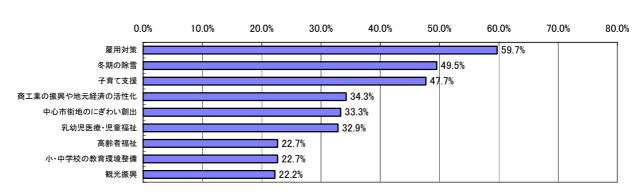
問3① 秋田市の施策について (力を入れて欲しい施策)「10代」



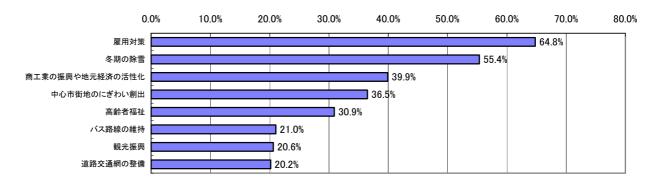
問3① 秋田市の施策について (力を入れて欲しい施策)「20代」



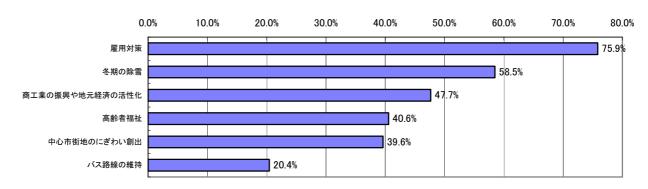
問3① 秋田市の施策について (力を入れて欲しい施策)「30代」



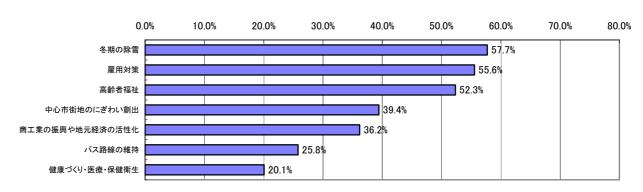
問3① 秋田市の施策について (力を入れて欲しい施策)「40代」



問3① 秋田市の施策について (力を入れて欲しい施策)「50代」



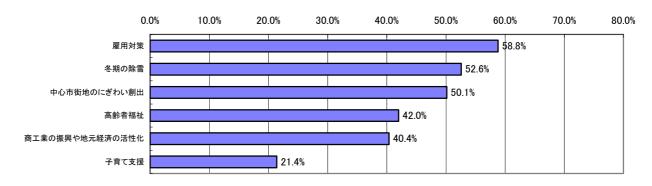
問3① 秋田市の施策について (力を入れて欲しい施策)「60代」



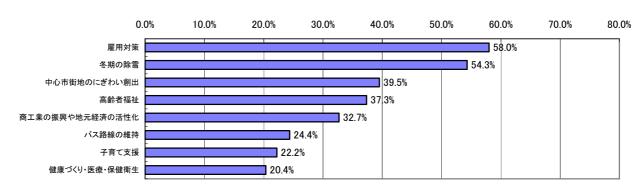
問3① 秋田市の施策について (力を入れて欲しい施策) 「70代以上」



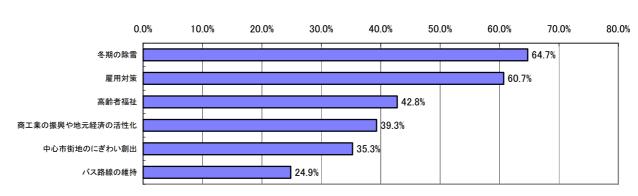
問3① 秋田市の施策について (力を入れて欲しい施策)「中央」



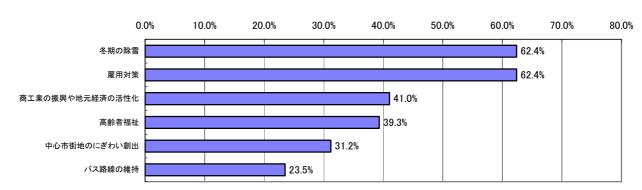
問3① 秋田市の施策について (力を入れて欲しい施策)「東部」



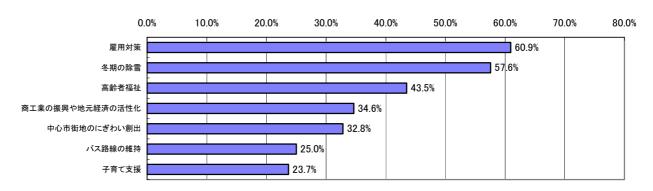
問3① 秋田市の施策について (力を入れて欲しい施策) 「西部」



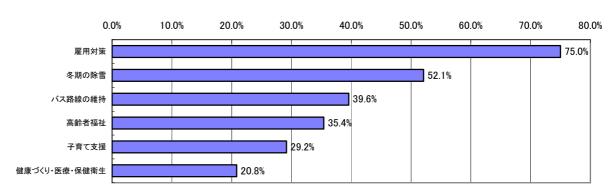
問3① 秋田市の施策について (力を入れて欲しい施策)「南部」



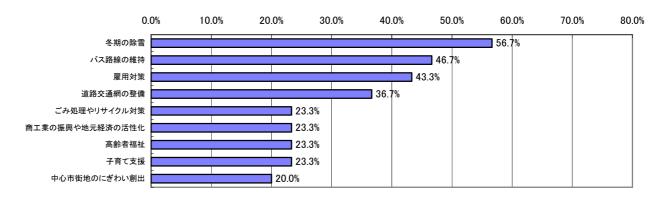
問3① 秋田市の施策について(力を入れて欲しい施策)「北部」



問3① 秋田市の施策について (力を入れて欲しい施策)「河辺」



問3① 秋田市の施策について (力を入れて欲しい施策)「雄和」



2 最も力を入れて欲しい施策(問32)

問3②(最も力を入れて欲しい施策)

(問3①の質問を受け)①中で選んだ中で、あなたが、一番、力を入れて欲しいと思うものはどれですか。 1つ選んでください。

1 道路交通網の整備 2 バス路線の維持 3 冬期の除雪

4 中心市街地のにぎわい創出 5 公営住宅の供給 6 上水道、下水道の整備

7 美しい景観づくり 8 公園整備や緑化の推進 9 環境保全対策

10 ごみ処理やリサイクル対策 11 I T基盤整備 12 商工業の振興や地元経済の活性化

13 雇用対策 14 観光振興 15 農林水産業の振興

16 高齢者福祉 17 障害者福祉 18 子育て支援

19 乳幼児医療・児童福祉 20 健康づくり・医療・保健衛生 21 防犯・防災対策

22 消費者問題対策 23 小・中学校の教育環境整備 24 大学など高等教育環境の整備

25 生涯学習環境の整備 26 青少年の健全育成 27 スポーツ振興

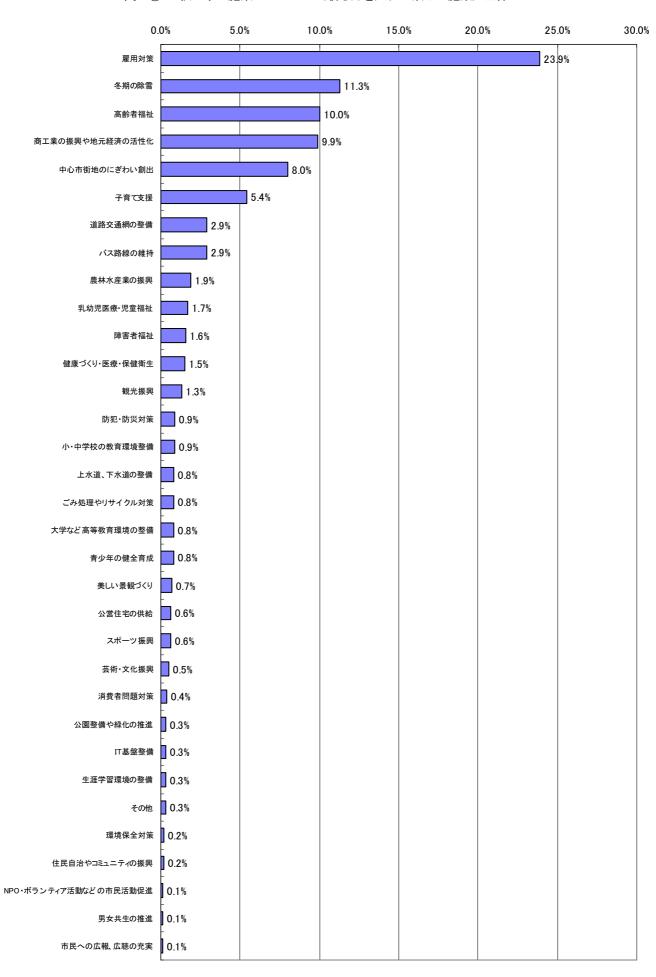
28 芸術・文化振興 29 住民自治やコミュニティの振興

30 NPO・ボランティア活動などの市民活動促進 31 男女共生の推進

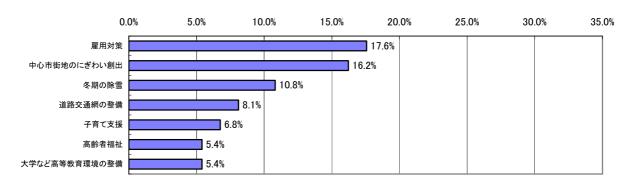
32 市民への広報、広聴の充実 33 その他

この設問では、最も力を入れてほしい施策を1つ聞いている。(集計表 P173~174参照) 全体集計では、「雇用対策」23.9% (15.0%)、「冬期の除雪」11.3% (13.7%)、「高齢者福祉」10.0% (11.7%)、「商工業の振興や地元経済の活性化」9.9% (8.2%) という結果となった。 問3①と比べると、ほぼ同じ順になっているが、子育て支援が5.4%と高くなっている。 なお、年代別、居住地域別の集計結果については、P51 からP54 のグラフで示している。 (※表記の条件として、5.0%以上の回答があったものを記している。)

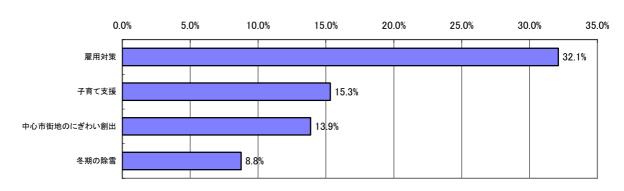
問3② 秋田市の施策について (最も力を入れて欲しい施策)全体



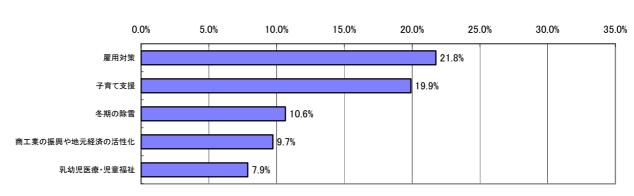
問3② 秋田市の施策について (最も力を入れて欲しい施策)「10代」



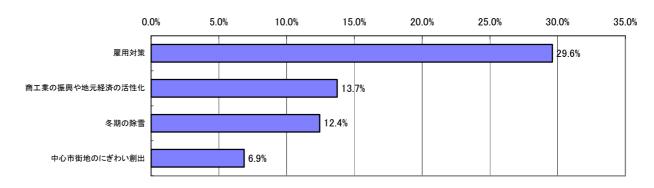
問3② 秋田市の施策について (最も力を入れて欲しい施策)「20代」



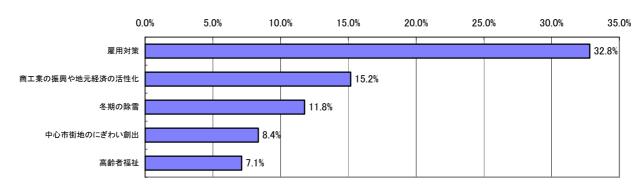
問3② 秋田市の施策について (最も力を入れて欲しい施策)「30代」



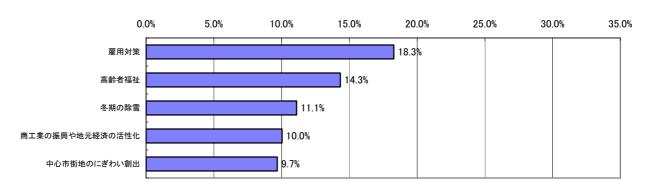
問3② 秋田市の施策について (最も力を入れて欲しい施策)「40代」



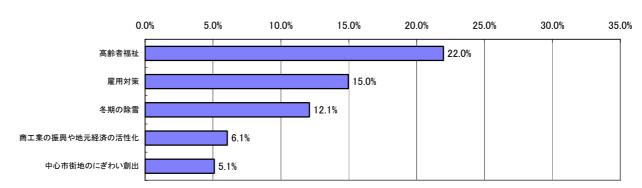
問3② 秋田市の施策について (最も力を入れて欲しい施策) 「50代」



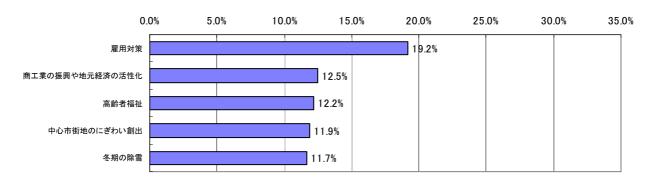
問3② 秋田市の施策について (最も力を入れて欲しい施策)「60代」



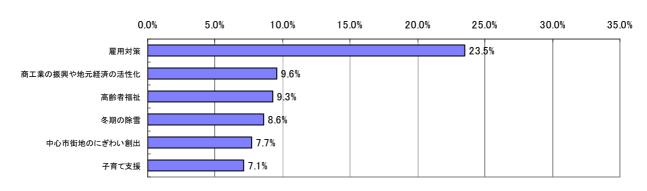
問3② 秋田市の施策について (最も力を入れて欲しい施策)「70代以上」



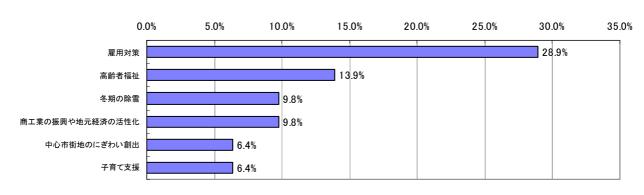
問3② 秋田市の施策について (最も力を入れて欲しい施策)「中央」



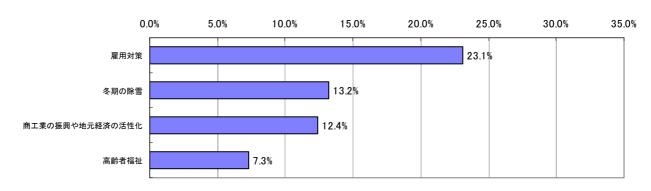
問3② 秋田市の施策について (最も力を入れて欲しい施策)「東部」



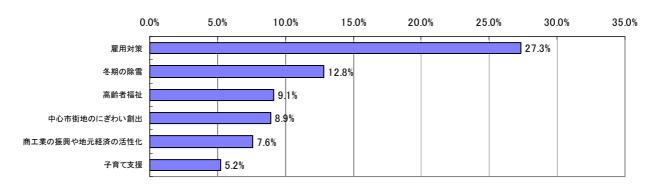
問3② 秋田市の施策について (最も力を入れて欲しい施策)「西部」



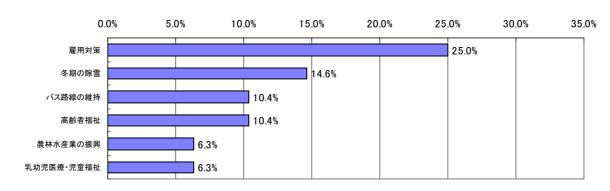
問3② 秋田市の施策について (最も力を入れて欲しい施策)「南部」



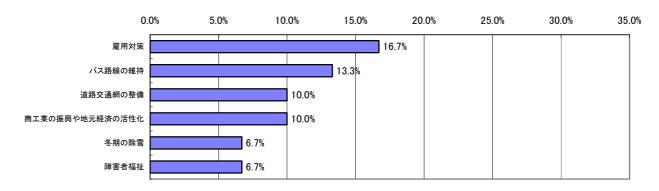
問3② 秋田市の施策について (最も力を入れて欲しい施策)「北部」



問3② 秋田市の施策について (最も力を入れて欲しい施策)「河辺」



問3② 秋田市の施策について (最も力を入れて欲しい施策)「雄和」



第3節 市民協働について

1 市と市民の役割分担(問4)

問4(市と市民の役割分担)

秋田市では、市民協働による様々な取り組みを進めていますが、次のような市と市民の役割分担についてどう思いますか。次の中から1つ選んでください。

【選択肢】

1 役割分担として適切である 2 市の役割が重すぎる 3 市の役割が軽すぎる 4 わからない

取組事例	役割の事例	
地域内道路の整備と	【市】	【市民】
維持管理	・舗装や側溝などの道路施設の補修・改良	・生活道路の側溝清掃や草刈りなどの軽易な維
	・幹線道路の定期的なパトロールによる安全	持管理
	確保	・地域道路の危険箇所などの情報提供
ごみ減量活動の促進	【市】	【市民】
	・ごみの減量に関する情報を提供	・ごみをできるだけ出さない生活を意識・実践
	・効果的な仕組みづくりや減量施策の実施	
高齢者の健康維持の	【市】	【市民】
促進(介護予防サー	・総合的な介護予防体制(システム)の確立	・利用者の状態にあった良質なサービスの提供
ビスの充実)		(サービス提供事業者)
		・介護予防の必要性への理解と地域や家族ぐる
		みでの介護予防の実践
子育て支援のネット	【市】	【市民】
ワークづくり	・地域の子育て支援者への研修などの実施	・地域全体での子育て支援への理解と子育て支
	・子育て支援者の組織づくりや連携の支援	援活動への参加
災害ボランティアの	【市】	【市民】
受入体制の確保	・ボランティア関係団体との相互理解	・災害ボランティア活動への理解
	・災害時のボランティア活動の体制づくり	・災害発生時の救護活動への参加

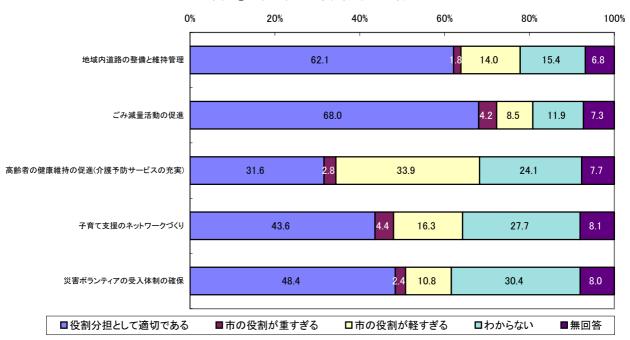
この設問では、市民協働による様々な取り組みについて市民の意識を把握するため、5の取組事例について、市と市民の役割分担への意見を聞いている。(集計表 P175~177 参照)

全体集計では、「地域内道路の整備と維持管理」と、「ごみ減量活動の促進」の2項目で「役割分担として適切である」が、50%以上と高い割合を占めた。

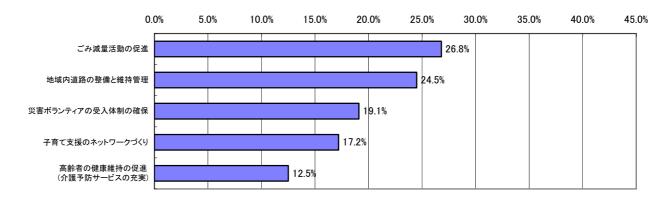
「高齢者の健康維持の促進(介護予防サービスの充実)」に関しては、「市の役割が軽すぎる」が 33.9% と他の項目に比べ高い割合を占めた。

「子育て支援のネットワークづくり」と「災害ボランティアの受入体制の確保」の2項目では、「役割分担として適切である」が4割以上となったものの、「わからない」という回答が他の項目に比べ高い割合を占めた。

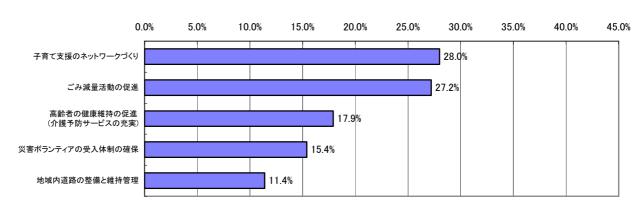
問4① 市と市民の役割分担 全体



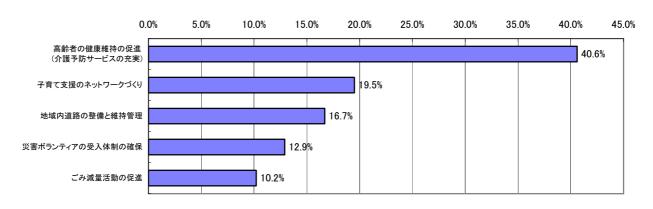
問4① 市民協働について 市と市民の役割分担「役割分担として適切である」のグラフ



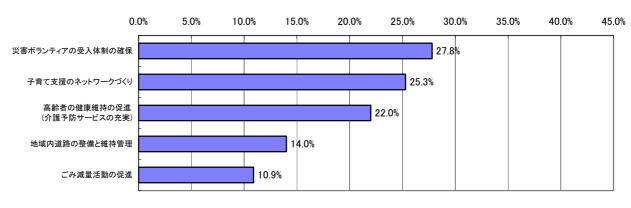
問4① 市民協働について 市と市民の役割分担「市の役割が重すぎる」のグラフ



問4① 市民協働について 市と市民の役割分担 「市の役割が軽すぎる」のグラフ



問4① 市民協働について 市と市民の役割分担「わからない」のグラフ



問4①-1 (地域内道路の整備と維持管理)

秋田市では、市民協働による様々な取り組みを進めていますが、次のような市と市民の役割分担についてどう思いますか。次の中から1つ選んでください。

【選択肢】

1 役割分担として適切である 2 市の役割が重すぎる 3 市の役割が軽すぎる 4 わからない

【取組事例】 地域内道路の整備と維持管理

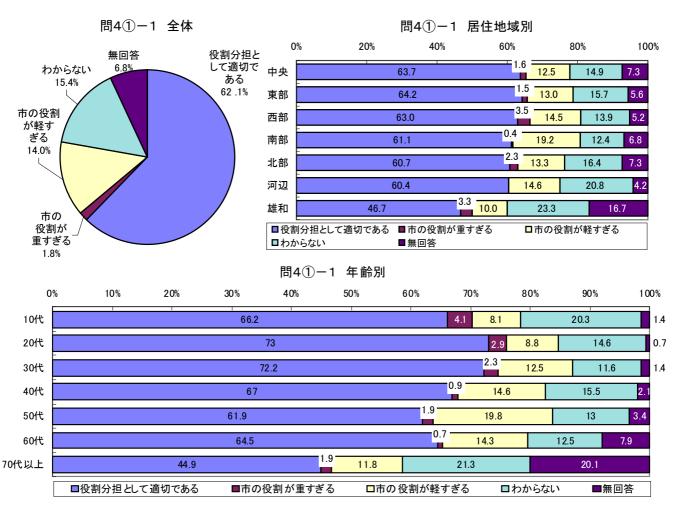
【市】

- ・舗装や側溝などの道路施設の補修・改良
- ・生活道路の側溝清掃や草刈りなどの軽易な維持 管理
- ・幹線道路の定期的なパトロールによる安全確保・・
 - ・地域道路の危険箇所などの情報提供

この設問では、地域内道路の整備と維持管理に対する役割分担への意見を聞いている。(集計表 P175 参照)

全体集計では、「役割分担として適切である」62.1%、「市の役割が重すぎる」1.8%、「市の役割が軽すぎる」14.0%、「わからない」15.4%、となり、6割以上が「役割分担として適切である」と答えている。 男女別集計では、「市の役割が軽すぎる」が「男性」18.9%、「女性」10.3%と男性の方が市の役割が軽いと答えている割合が高い。

年代別集計では、「10代」から「60代」で「役割分担として適切である」が60%を超えている。 居住地域別集計では、他の地域が概ね60%以上が「役割分担として適切である」と評価をしているのに 比べ、「雄和」46.7%と低くなっている。



問4①-2 (ごみ減量活動の促進)

秋田市では、市民協働による様々な取り組みを進めていますが、次のような市と市民の役割分担についてどう思いますか。次の中から1つ選んでください。

【選択肢】

1 役割分担として適切である 2 市の役割が重すぎる 3 市の役割が軽すぎる 4 わからない

【取組事例】 ごみ減量活動の促進

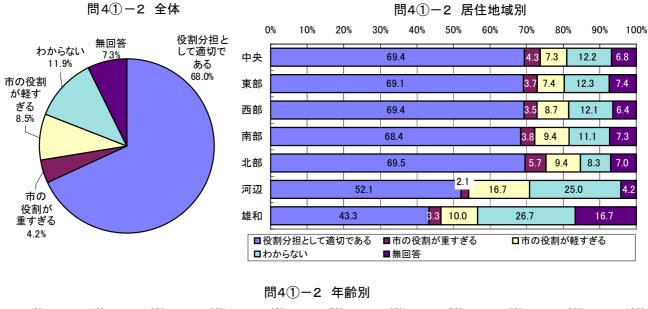
【市】

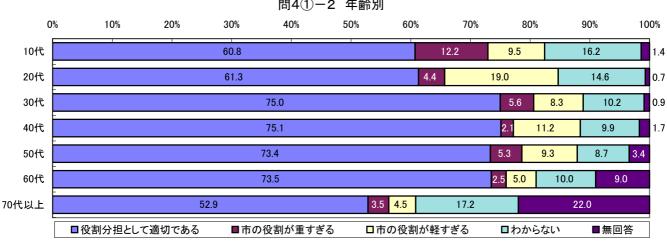
【市民】

- ・ごみの減量に関する情報を提供
- ・ごみをできるだけ出さない生活を意識・実践
- ・効果的な仕組みづくりや減量施策の実施

この設問では、ごみ減量活動の促進に対する役割分担への意見を聞いている。(集計表 P175 参照) 全体集計では、「役割分担として適切である」68.0%、「市の役割が重すぎる」4.2%、「市の役割が軽すぎる」8.5%、「わからない」11.9%、となり、6割以上が「役割分担として適切である」と答えている。 年代別集計では、どの年代も概ね「役割分担として適切である」が60%を超えているが、「70 代以上」52.9%と他の年代より低くなっている。

居住地域別集計では、他の地域が概ね70%弱が「役割分担として適切である」と評価をしているのに比べ、「河辺」52.1%、「雄和」43.3%と低くなっている。





問41-3 (高齢者の健康維持の促進)

秋田市では、市民協働による様々な取り組みを進めていますが、次のような市と市民の役割分担につい てどう思いますか。次の中から1つ選んでください。

【選択肢】

1 役割分担として適切である 2 市の役割が重すぎる 3 市の役割が軽すぎる 4 わからない

【取組事例】 高齢者の健康維持の促進(介護予防サービスの充実)

【市】

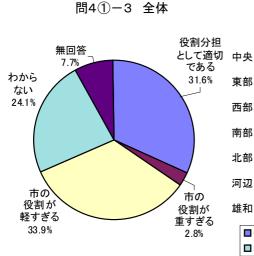
【市民】

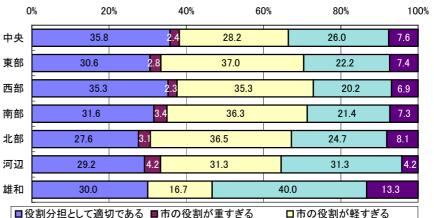
- ・総合的な介護予防体制(システム)の確立
- ・利用者の状態にあった良質なサービスの提供(サ ービス提供事業者)
- ・介護予防の必要性への理解と地域や家族ぐるみ での介護予防の実践

この設問では、高齢者の健康維持の促進に対する役割分担への意見を聞いている。(集計表 P176参照) 全体集計では、「役割分担として適切である」31.6%、「市の役割が重すぎる」2.8%、「市の役割が軽す ぎる」33.9%、「わからない」24.1%、となり、「市の役割が軽すぎる」と「役割分担として適切である」 が3割を超えている。

男女別集計では、「市の役割が軽すぎる」が「男性」37.9%、「女性」31.0%と男性の方が市の役割が軽 いと答えている割合が高い。

年代別集計では、「20代」から「50代」までが40%前後が「市の役割が軽すぎる」と答えている。 居住地域別集計では、顕著な差はない。

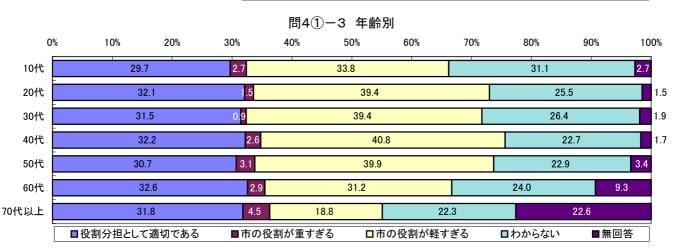




■無回答

□市の役割が軽すぎる

問4①-3 居住地域別



□わからない

問4①-4(子育て支援のネットワークづくり)

秋田市では、市民協働による様々な取り組みを進めていますが、次のような市と市民の役割分担についてどう思いますか。次の中から1つ選んでください。

【選択肢】

1 役割分担として適切である 2 市の役割が重すぎる 3 市の役割が軽すぎる 4 わからない

【取組事例】 子育て支援のネットワークづくり

【市】

・地域の子育て支援者への研修などの実施

・子育て支援者の組織づくりや連携の支援

【市民】

・地域全体での子育て支援への理解と子育て支援 活動への参加

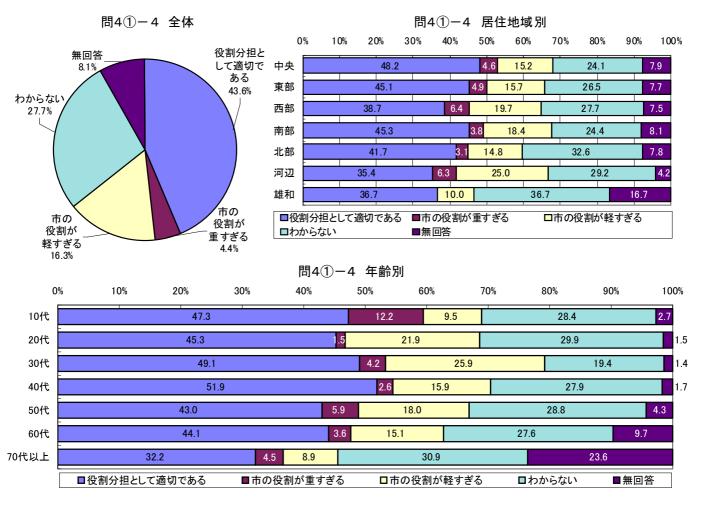
この設問では、子育て支援のネットワークづくりに対する役割分担への意見を聞いている。(集計表 P 176 参照)

全体集計では、「役割分担として適切である」43.6%、「市の役割が重すぎる」4.4%、「市の役割が軽すぎる」16.3%、「わからない」27.7%、となり、「役割分担として適切である」が全体の40%以上を占めるものの、「わからない」が他の質問項目よりも若干高くなっている。

男女別集計では「市の役割が重すぎる」が「男性」7.8%、「女性」1.8%と女性の方が市が担う役割が重いと答えている割合が低い。

年代別集計では、「市の役割が軽すぎる」が「20代」21.9%、「30代」25.9%と他の年代より若干高くなっている。

居住地域別集計では、「役割分担として適切である」が、「中央」48.2%、「東部」45.1%、「南部」45.3%で45%以上となっている。



問4①-5(災害ボランティアの受入体制の確保)

秋田市では、市民協働による様々な取り組みを進めていますが、次のような市と市民の役割分担についてどう思いますか。次の中から1つ選んでください。

【選択肢】

1 役割分担として適切である 2 市の役割が重すぎる 3 市の役割が軽すぎる 4 わからない

【取組事例】 災害ボランティアの受入体制の確保

【市】

【市民】

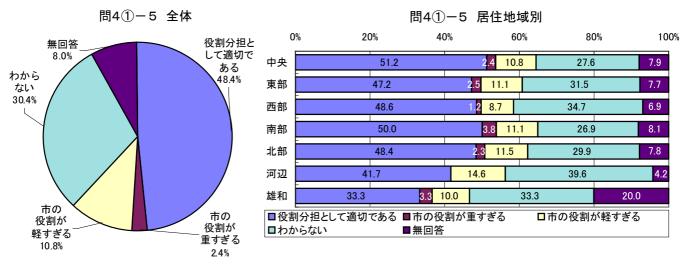
- ・ボランティア関係団体との相互理解
- ・災害ボランティア活動への理解
- ・災害時のボランティア活動の体制づくり
- ・災害発生時の救護活動への参加

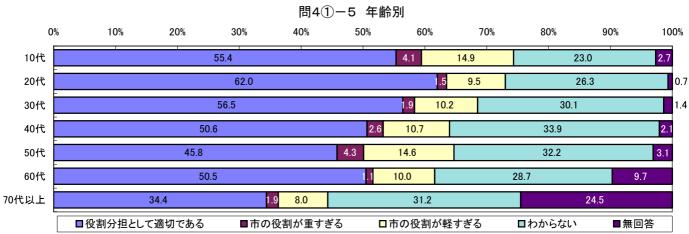
この設問では、災害ボランティアの受入体制の確保に対する役割分担への意見を聞いている。(集計表 P177 参照)

全体集計では、「役割分担として適切である」48.4%、「市の役割が重すぎる」2.4%、「市の役割が軽すぎる」10.8%、「わからない」30.4%、となり、「役割分担として適切である」が全体の約半数を占めるものの、「わからない」が他の質問項目よりも若干高くなっている。

年代別集計では、どの年代も概ね50%以上が「役割分担として適切である」と答えているが、「50代」 45.8%、「70代以上」34.4%と他の年代より低くなっている。

居住地域別集計では、「役割分担として適切である」の割合が「雄和」33.3%で他地域に比べて低くなっている。





2 NPO・ボランティア活動の話題や情報を耳にする機会(問5①)

問5(1) (NPO・ボランティア活動の話題や情報を耳にする機会)

NPO・ボランティア活動の話題や情報を耳にする機会について、次の中から1つ選んでください。

- 1 話題や情報を耳にする機会が多い 2 話題や情報を時折耳にする機会がある
- 3 話題や情報をあまり耳にしない 4 話題や情報を耳にすることはない

この設問では、NPO・ボランティア活動の話題や情報を耳にする機会について聞いている。(集計表 P178 参照)

全体集計では、「話題や情報を耳にする機会が多い」が10.5%、「話題や情報を時折耳にする機会がある」が35.6%であり、「時折」も含めて耳にする機会があるという回答の合計が、46.1%となった。一方、「話題や情報をあまり耳にしない」が38.4%、「話題や情報を耳にすることはない」が11.9%であり、「あまり」も含めて耳にしないという回答の合計が50.3%であり、耳にしないという回答の方が若干上回った。

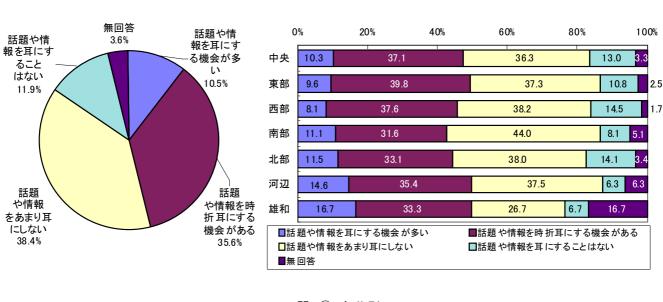
年代別集計では、「あまり耳にしない」「耳にすることはない」の合計が、「20代」74.4%と高くなっている。

居住地域別集計では、顕著な差がなかった。

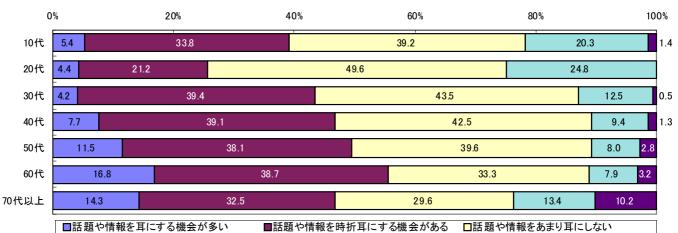


■話題や情報を耳にすることはない

問5① 居住地域別







■無回答

3 どのようにしてNPO・ボランティア活動の話題を知ることが多いか(問5②)

問5②(どのようにしてNPO・ボランティア活動の話題を知ることが多いか)

①で1または2を選んだ方にお聞きします。どのようにしてNPO・ボランティア活動の話題を知ることが多いですか。次の中から3つまで選んでください。

1 テレビ、新聞などマスメディア 2広報あきた 3行政のパンフレット等

4 NPO・ボランティア団体等のパンフレット等 5 職場、学校

6 町内会など地域 7 友人 8 家族

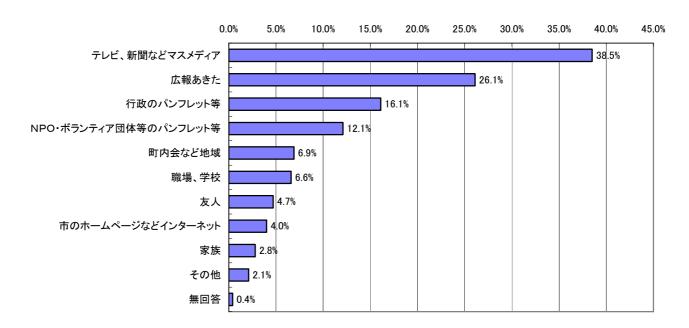
9 市のホームページなどインターネット 10 その他

この設問では、どのようにしてNPO・ボランティア活動の話題を知ることが多いか聞いている。(集計表 P178 参照)

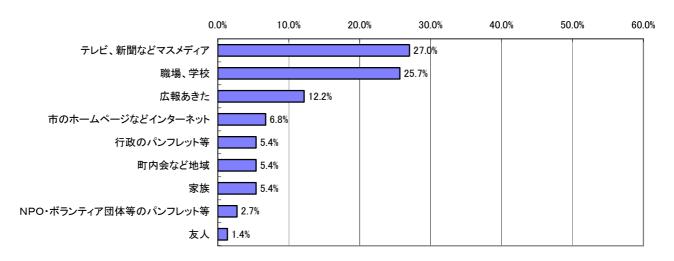
全体集計では、「テレビ、新聞などマスメディア」が38.5%、「広報あきた」が26.1%、「行政のパンフレット等」が16.1%、「NPO・ボランティア団体等のパンフレット等」が12.1%となった。

年代別集計では、「10代」だけで「職場、学校」が25.7%と高くなっている。 居住地域別集計では、顕著な差がなかった。

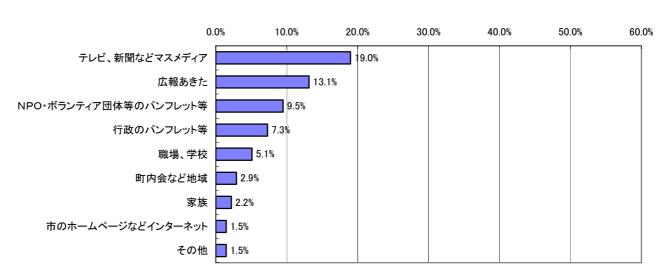
問5② どのようにしてNPO・ボランティア活動の情報を知るか 全体



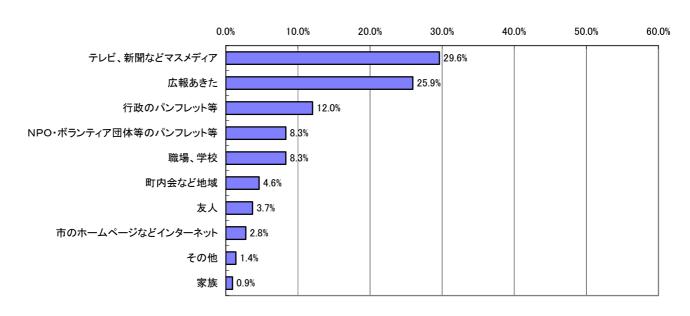
問5② どのようにしてNPO・ボランティア活動の情報を知るか「10代」



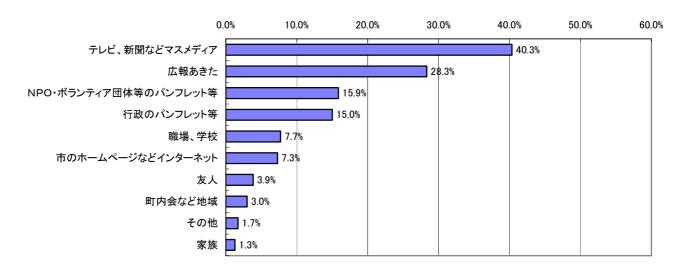
問5② どのようにしてNPO・ボランティア活動の情報を知るか「20代」



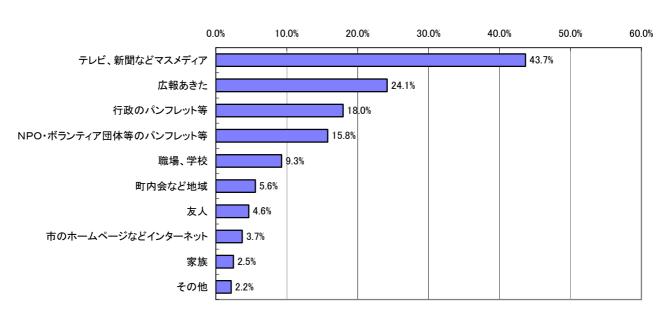
問5② どのようにしてNPO・ボランティア活動の情報を知るか「30代」



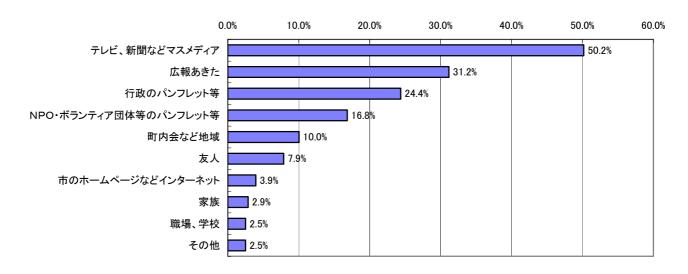
問5② どのようにしてNPO・ボランティア活動の情報を知るか「40代」



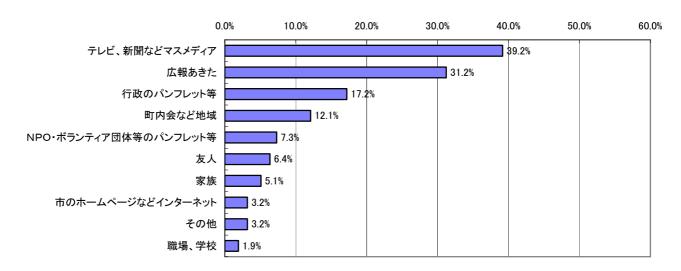
問5② どのようにしてNPO・ボランティア活動の情報を知るか「50代」



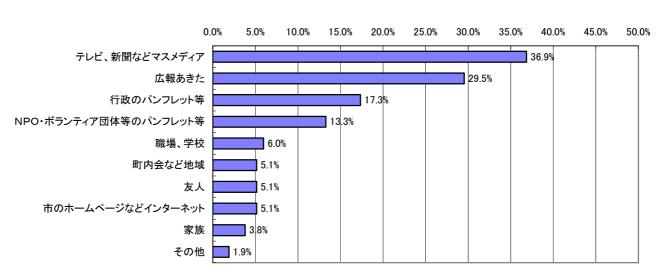
問5② どのようにしてNPO・ボランティア活動の情報を知るか「60代」



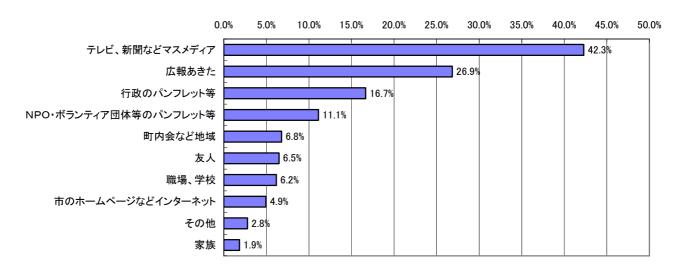
問5② どのようにしてNPO・ボランティア活動の情報を知るか「70代以上」



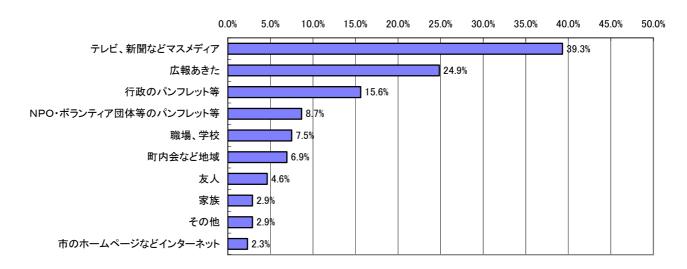
問5② どのようにしてNPO・ボランティア活動の情報を知るか「中央」



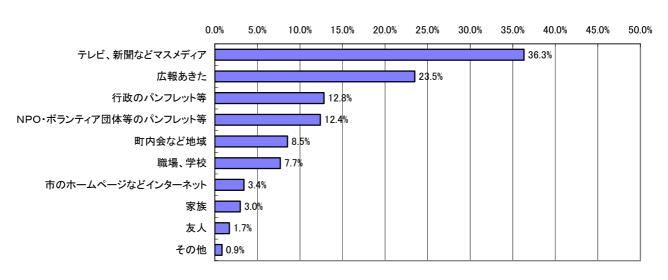
問5② どのようにしてNPO・ボランティア活動の情報を知るか「東部」



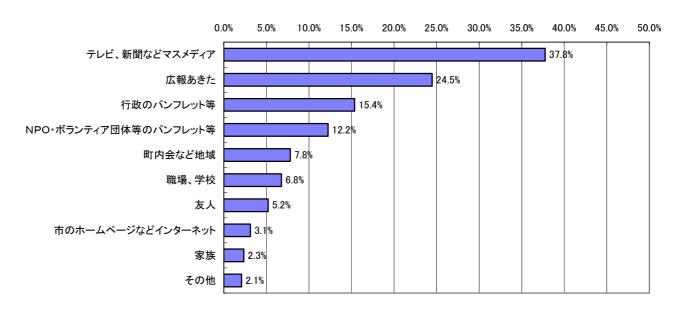
問5② どのようにしてNPO・ボランティア活動の情報を知るか「西部」



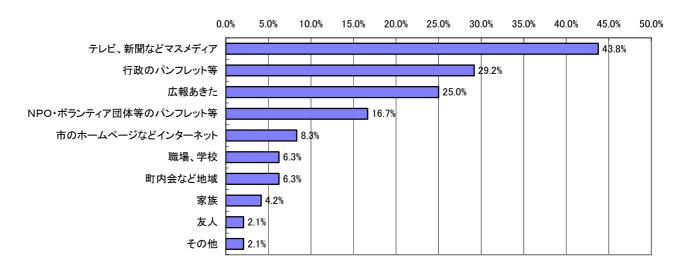
問5② どのようにしてNPO・ボランティア活動の情報を知るか「南部」



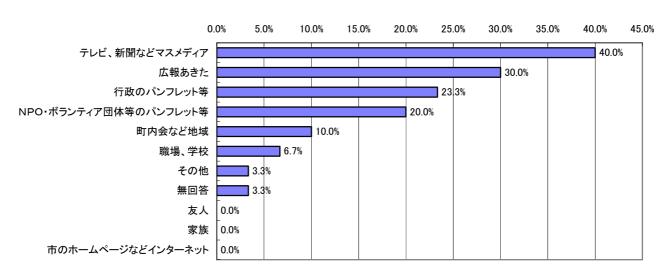
問5② どのようにしてNPO・ボランティア活動の情報を知るか「北部」



問5② どのようにしてNPO・ボランティア活動の情報を知るか「河辺」



問5② どのようにしてNPO・ボランティア活動の情報を知るか「雄和」



4 市民活動への関心(問5③)

問5③(NPO・ボランティア活動などの市民活動への関心)

あなたは、NPO・ボランティア活動などの市民活動に関心がありますか。次の中から1つ選んでください。

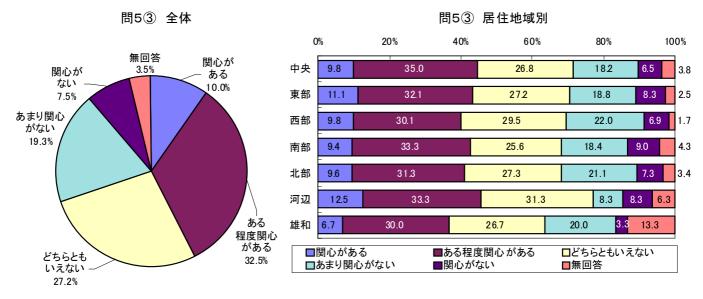
1 関心がある 2 ある程度関心がある 3 どちらともいえない

4 あまり関心がない 5 関心がない

この設問では、ボランティア活動などの市民活動への関心を聞いている。(集計表 P179 参照) 全体集計では、「関心がある」が 10.0% (12.1%)、「ある程度関心がある」が 32.5% (36.6%) であり、「関心がある」「ある程度関心がある」という回答の合計が、42.5% (48.7%) と約4割を占めた。一方、「関心がない」が 7.5% (19.4%)、「あまり関心がない」が 19.3% (16.5%) であり、「関心がない」「あまり関心がない」という回答の合計が、26.8% (25.9%) であった。「どちらともいえない」は 27.2% (23.2%) であった。

年代別集計では、「関心がない」「あまり関心がない」の合計が、「20代」から「40代」で30%以上となる傾向が認められた。

居住地域別集計では、顕著な差がなかった。



問5③ 年代別 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% 10代 12.2 33.8 29.7 14.9 8.1 1.4 26.3 34.3 21.2 20代 7.3 3.7 24.5 0.9 30代 29.6 30.1 11.1 40代 6.4 24.0 32.6 27.0 1.7 8.2 50代 10.8 36.8 22.3 21.1 6.5 2.5 12.5 60代 13.3 37.6 28.0 5.0 3.6 70代以上 13.7 34.1 22.3 14.3 6.4 9.2 ■ある程度関心がある ■関心がある □どちらともいえない ■あまり関心がない ■関心 がない ■無回答

5 市民活動への参加(問5④)

問5個(NPO・ボランティア活動などの市民活動への参加)

あなたは、NPO・ボランティア活動などの市民活動に参加していますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 積極的に参加している 2 ときどき参加している 3 参加したことがある
- 4 参加したことがない

この設問では、ボランティア活動などの市民活動への参加経験を聞いている。(集計表 P179参照) 全体集計では、「積極的に参加している」が3.3%(2.4%)、「ときどき参加している」が6.0%(7.8%)、「参加したことがある」が17.1%(18.5%)であり、一度でも参加経験があるという回答の合計が、26.4%(28.7%)となった。一方、「参加したことがない」が69.4%(68.8%)であり、約7割が参加経験が無いという回答となった。

年代別集計では、参加経験があるという回答の合計が、「10 代」40.6% (40.9%) で他の年代に比べる と高くなっている。

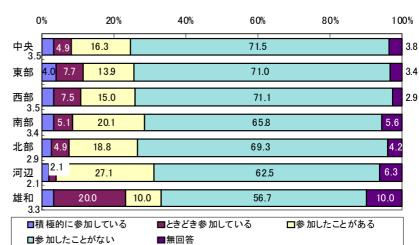
居住地域別集計では、顕著な差がなかった。

問54 全体

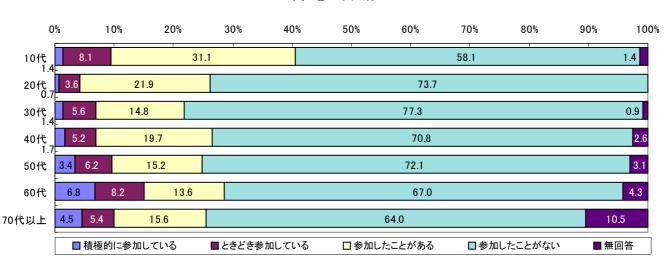
積極的に 参加して いる 無回答 ときどき 3.3% 4.2% 参加して いる 6.0% 参加 したこと がある 17.1% 参加 したこと がない

69.4%

問5④ 居住地域別



問5④ 年代別



6 実際に行っている、または、関心があるNPO・ボランティア活動の分野(問5⑤)

※()内は前回の数値

問5⑤ (実際に行っている、または、関心があるNPO・ボランティア活動の分野)

③で1から4を選んだ方におたずねします。あなたが実際に行っている、または、関心があるNPO・ ボランティア活動の分野はどれですか。次の中から3つまで選んでください。

1 保健・医療・福祉の増進 2 社会教育の推進 3 まちづくりの推進

4 学術・文化・芸術・スポーツの振興

5 環境の保全 6 災害救援

7 地域安全

8 人権擁護、平和の推進

9 国際協力

10 男女共生社会の形成促進

11 子どもの健全育成 12 情報化社会の発展

13 科学技術の振興

14 経済活動の活性化

15 職業能力の開発、雇用機会の拡充支援

16 消費者の保護 17 その他

この設問では、実際に行っている、または、関心があるNPO・ボランティア活動の分野を聞いている。 (集計表 P180 参照)

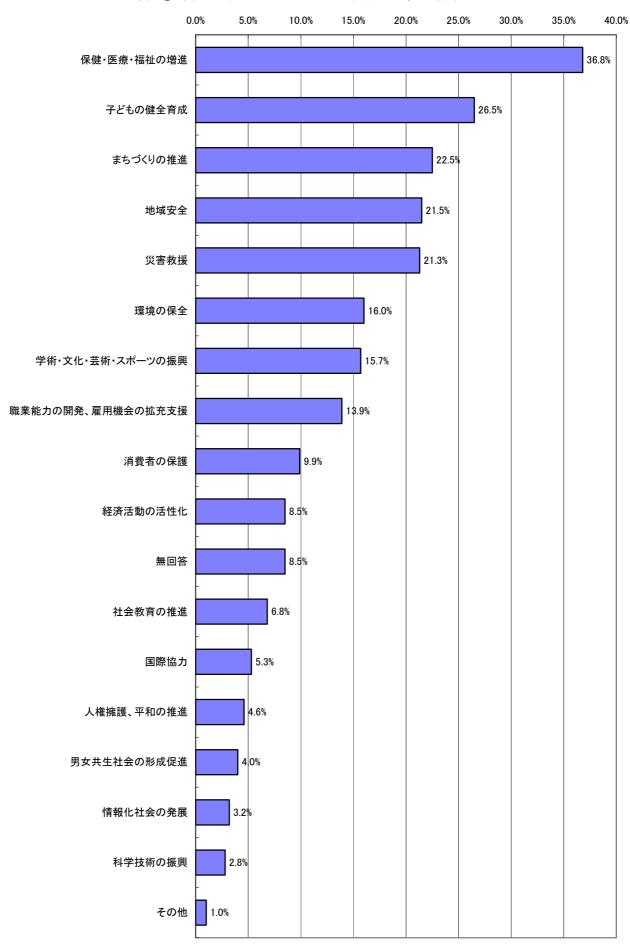
全体集計で回答が多かった市民活動の分野は、「保健・医療・福祉の増進」が 36.8% (39.4%)、「子ど もの健全育成」が26.5%(37.2%)、「まちづくりの推進」が22.5%(23.1%)、「地域安全」が21.5%(25.9%)、 「災害救援」が21.3% (26.2%) であった。(P73 グラフ参照)

男女別集計では、「保健・医療・福祉の増進」で13.5% (13.0%)、「子どもの健全育成」で4.8% (7.4%) 「女性」が「男性」を上回り、「環境の保全」で5.1% (9.9%)、「まちづくりの推進」で4.2% (6.7%) 「男性」が「女性」を上回った。

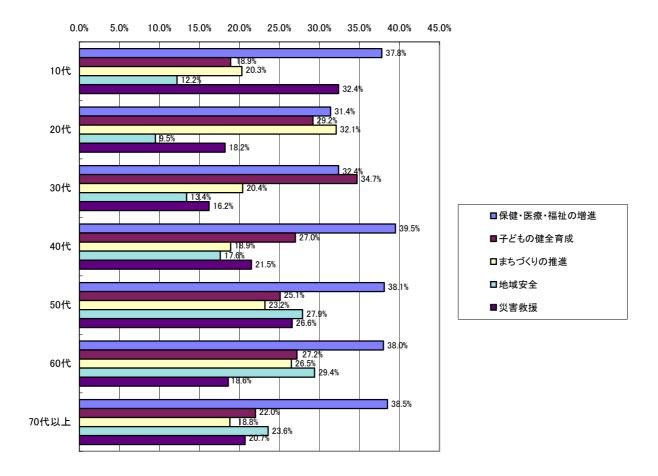
全体集計で上位を占めた5つの項目について、年代別にみると、「保健・医療・福祉の増進」が「20代」 「30 代」で低くなっている。「子どもの健全育成」は、「20 代」「30 代」で高くなっている。「まちづくり の推進」は、「20代」だけが30%を超えている。「地域の安全」は、年代が上がるにつれて高くなる傾向が ある。(P74 上段グラフ参照)

全体集計で上位を占めた5つの項目について、居住地域別にみると、どの地域でも「保健・医療・福祉 の増進 | と「子どもの健全育成」が高い割合を占めた。(P74下段グラフ参照)

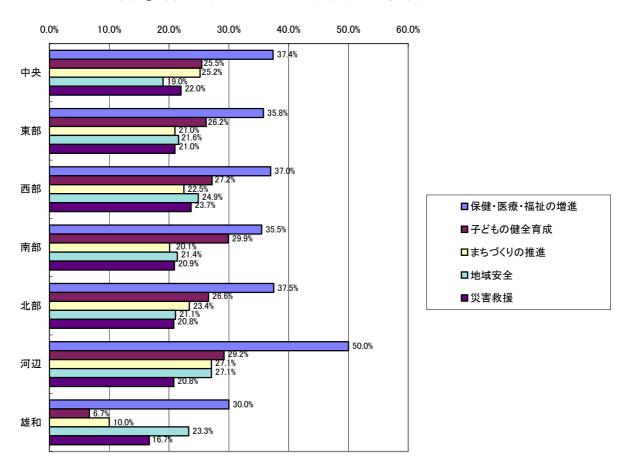
問5⑤ 関心があるNPO・ボランティア活動の分野 全体集計グラフ



問5⑤ 関心があるNPO・ボランティア活動の分野 年代別



問5⑤ 関心があるNPO・ボランティア活動の分野 居住地域別



第4節 都市内地域分権について

1 都市内地域分権の認知度(問6①)

※()内は前回の数値

【秋田市の目指す都市内地域分権】

秋田市の目指す都市内地域分権とは、東・西・南・北・中央・河辺・雄和の市内7地域に設置する(仮称)市民サービスセンターを拠点とし、市民に身近な行政サービスを身近な場所で提供することや、地域の課題は一定程度地域で解決できる体制づくりを行うことです。

問6① (都市内地域分権の認知度)

秋田市は、上記のような都市内地域分権の実現に取り組んでいます。このことをあなたは知っていましたか。次の中から1つ選んでください。

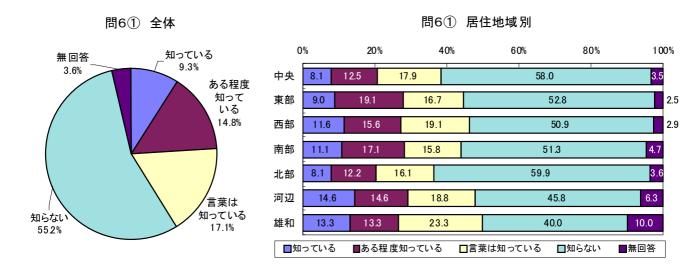
1 知っている 2 ある程度知っている 3 言葉は知っている 4 知らない

この設問では、都市内地域分権の認知度を聞いている。(集計表 P181 参照)

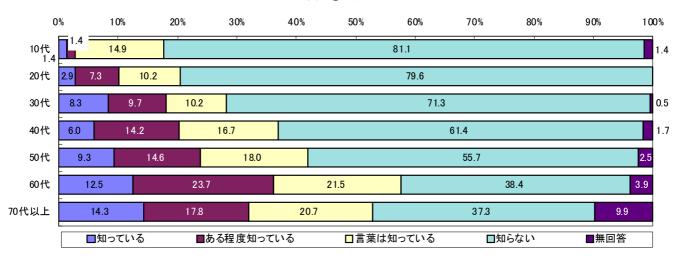
全体集計では、「知っている」が 9.3% (11.0%)、「ある程度知っている」が 14.8% (20.0%)、「言葉は知っている」が 17.1% (16.9%)、「知らない」が 55.2% (49.0%) である。「知っている」「ある程度知っている」「言葉は知っている」の合計が、41.2% (47.9%) である。

年代別集計では、年代が上がるにつれて認知度が高くなる傾向がある。

居住地域別集計では、「中央」「北部」で他地域に比べ認知度が低くなっている。



問6① 年代別



2 どのようにして都市内地域分権を知ったか(問6②)

問6②(どのようにして都市内地域分権を知ったか)

①で $1 \sim 3$ と答えた方にお聞きします。どのようにして都市内地域分権を知りましたか。次の中から3つまで選んでください。

1 市の説明会 2 町内会など地域団体の会合 3 広報あきた

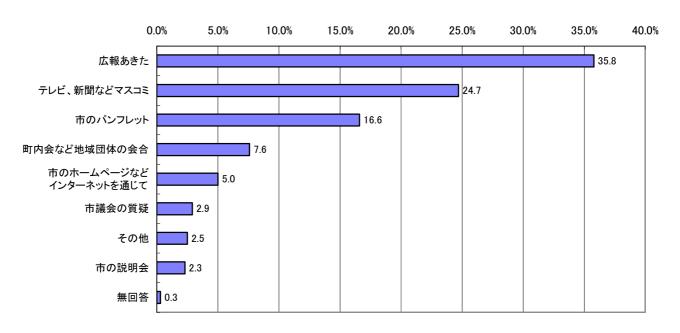
4 市議会の質疑 5 テレビ、新聞などマスコミ 6 市のパンフレット

7 市のホームページなどインターネットを通じて 8 その他

この設問では、どのようにして都市内地域分権を知ったのかを聞いている。(集計表 P181 参照) 全体集計では、「広報あきた」35.8%、「テレビ、新聞などマスコミ」24.7%、「市のパンフレット」16.6% が、高くなっている。

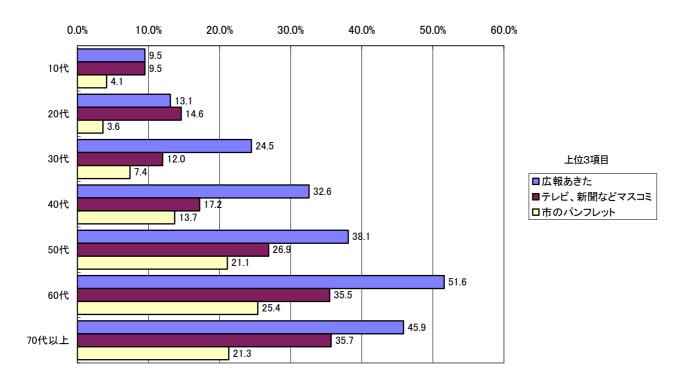
年代別集計では、「10代」「20代」で「テレビ、新聞などマスコミ」が最も高くなったほか、「市のホームページなどインターネットを通じて」が高くなっている。その他の年代では、全体集計と同じ傾向となっている。

居住地域別集計では、顕著な差がなかった。

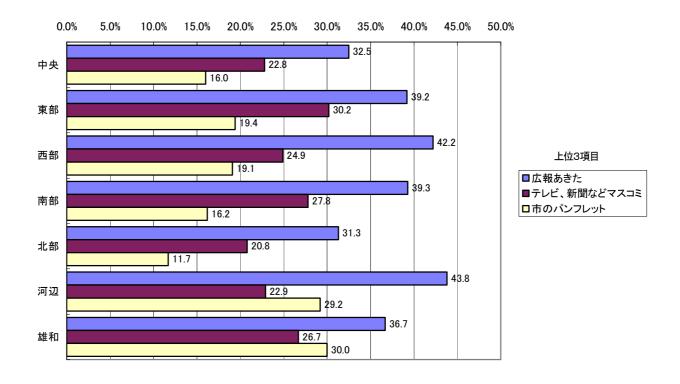


問6② どのようにして都市内地域分権を知ったか 全体

問6② どのようにして都市内地域分権を知ったか 年代別



問6② どのようにして都市内地域分権を知ったか 居住地域別



3 秋田市における都市内地域分権の推進について(問63) ※()内は前回の数値

問6③ (秋田市における都市内地域分権の推進について)

このような秋田市の取り組みをあなたはどう思いますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 推進すべき
- 2 ある程度推進すべき
- 3 どちらともいえない

- 4 あまり推進すべきでない
- 5 推進すべきでない

この設問では、都市内地域分権の推進について市民の意識を聞いている。(集計表 P182参照)

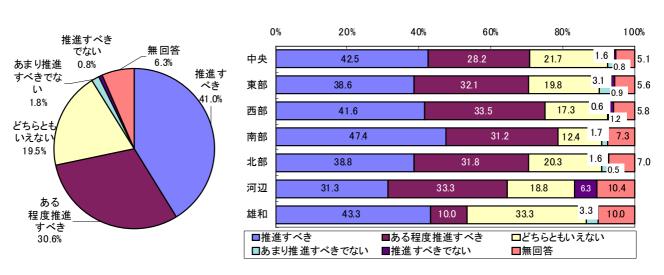
全体集計では、「推進すべき」が 41.0%(47.3%)、「ある程度推進すべき」が 30.6%(31.7%)、「どちらともいえない」が 19.5%(15.5%)、「あまり推進すべきでない」が 1.8%(1.1%)、「推進すべきでない」が 0.8%(1.1%)である。「推進すべき」「ある程度推進すべき」の合計が 1.6%(1.1%)である。

年代別集計では、「推進すべき」の回答が、「10代」48.6%(32.9%)、「60代」47.7%(54.1%)で他の年代よりも高くなっている。

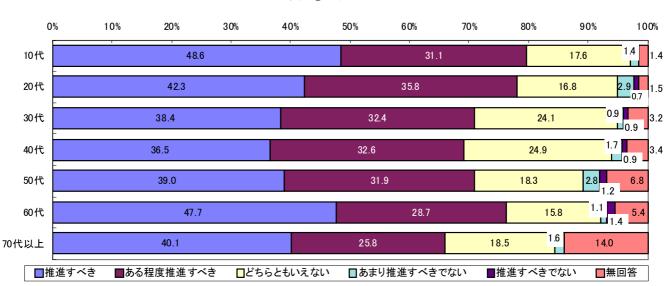
居住地域別集計では、「推進すべき」「ある程度推進すべき」の合計が、「西部」75.1% (80.3%)、「南部」78.6% (80.3%) で高い。

問6③ 全体

問6③ 居住地域別



問6③ 年代別



第5節 行政サービスについて

1 公共施設の利用頻度について(問7①)

公共施設の維持管理費用には、市が負担する部分と利用料などの形で利用者が負担する部分があります。市が負担するということは、その施設を利用する・しないにかかわらず、税金という形ですべての市民が、費用を負担しているということです。

問7①(公共施設の利用頻度について)

秋田市には、様々な公共施設がありますが、あなたは、この1年間に市の公共施設を利用しましたか。次の1~14の各施設について、あなたの利用頻度に近いものに \bigcirc をつけてください。

【選択肢】

1 1度も利用しなかった 2 数回利用した 3 月に1、2回程度利用した

4 週に1回以上利用した

【施設】

1 温泉などの保養施設2 キャンプ場3 体育館4 グラウンド5 テニスコート6 プール7 会議室や和室などの集会施設

8 調理室、工作室などの実習・研修施設 9 ホールなどのステージ施設

10 音楽などの練習室 11 美術館、博物館 12 動物園

13 駐車場、駐輪場 14 市民農園

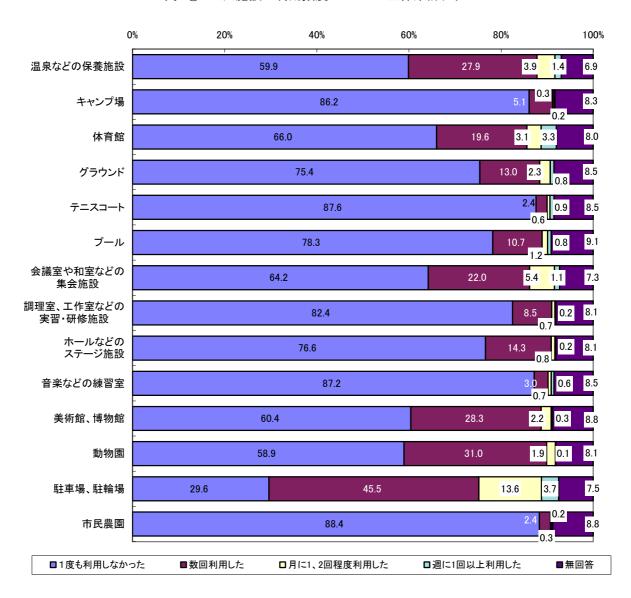
この設問では、市民の行政サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、14 の公共施設の利用 頻度を聞いている。(集計表 P182~189 参照)

全体集計では、施設により回答結果に大きな差が生じている(P80グラフ参照)。

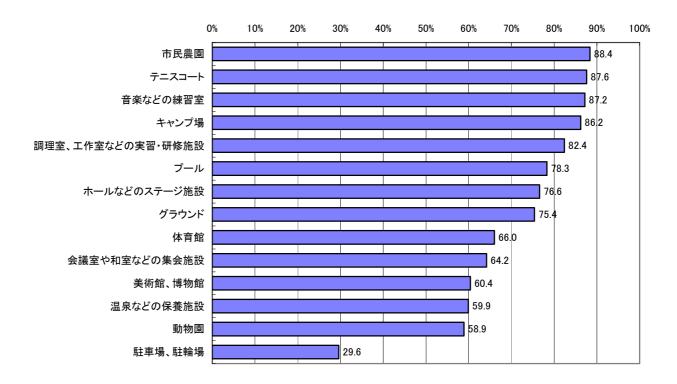
回答結果を「1度も利用しなかった」、「数回利用した」、「月に1、2回程度利用した」および「週に1回以上利用した」の4つに分けて集計した(P81~82 グラフ参照)。

男女別、年代別、居住地域別では、顕著な差はない。

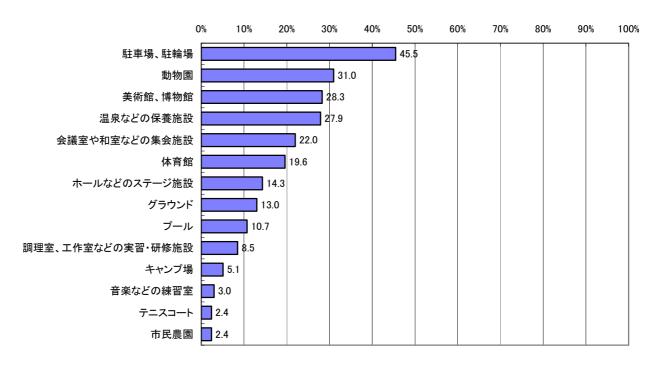
問7① 公共施設の利用頻度について 全体集計グラフ



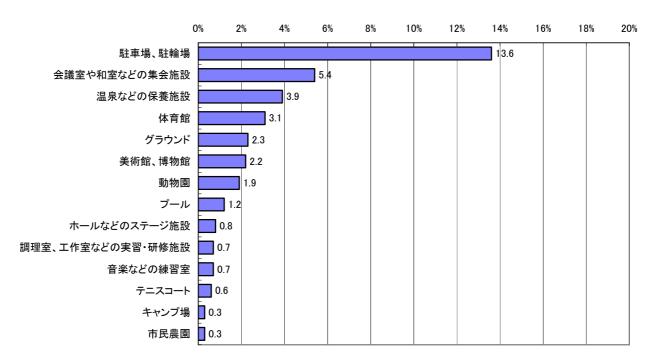
問7① 公共施設の利用頻度について「1度も利用しなかった」のグラフ



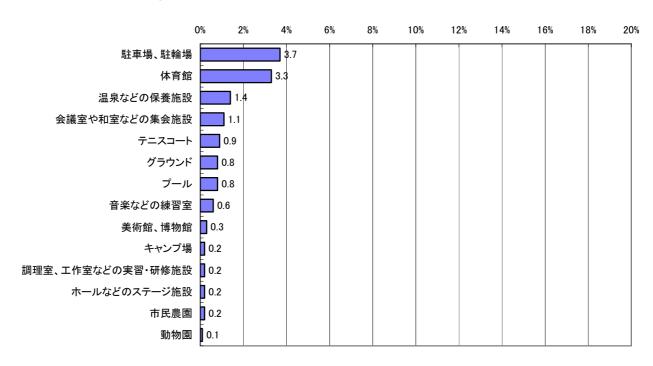
問7① 公共施設の利用頻度について「数回利用した」のグラフ



問7① 公共施設の利用頻度について「月に1、2回程度利用した」のグラフ



問7① 公共施設の利用頻度について「週に1回以上利用した」のグラフ



2 公共施設の利用料について(問72)

問7②(公共施設の利用料について)

秋田市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容により異なるものと思いますが、あなたは次の施設の場合、維持管理費用についてどう考えますか。次の1~15の各施設について、あなたの考えに近いものに〇をつけてください。

【選択肢】

1 市が全額負担 2 市が多く負担 3 市と利用者が均等に負担

4 利用者が多く負担 5 利用者が全額負担

【施設】

1 温泉などの保養施設2 キャンプ場3 体育館4 グラウンド5 テニスコート6 プール7 会議室や和室などの集会施設

8 調理室、工作室などの実習・研修施設 9 ホールなどのステージ施設

10 音楽などの練習室 11 美術館、博物館 12 動物園

13 駐車場、駐輪場 14 市民農園 15 斎場

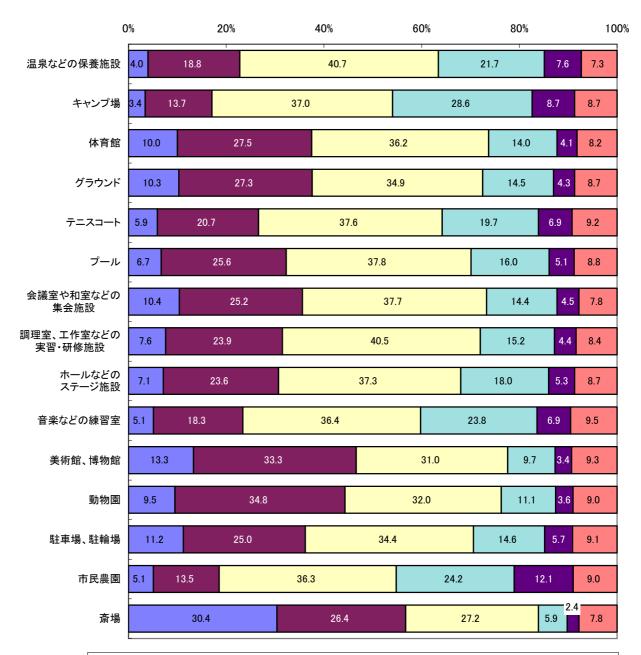
この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、15 の公共施設の維持管理費について負担のありかたを聞いている。(集計表 P189~196 参照)

全体集計では、施設により回答結果に大きな差が生じている(P84グラフ参照)。

回答結果を「市が全額負担」「市が多く負担」の合計、「市と利用者が均等に負担」および「利用者が全額負担」「利用者が多く負担」の合計の3つに分けて集計した(P85~86 グラフ参照)。

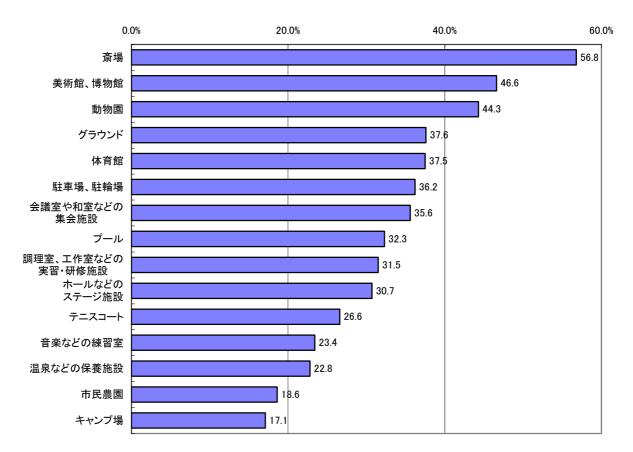
男女別、年代別、居住地域別では、顕著な差はない。

問7② 公共施設の利用料について 全体グラフ

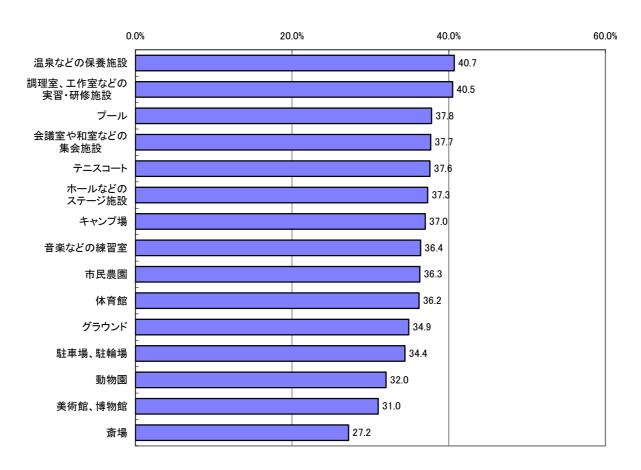


□市が全額負担 ■市が多く負担 □市と利用者が均等に負担 □利用者が多く負担 ■利用者が全額負担 □無回答

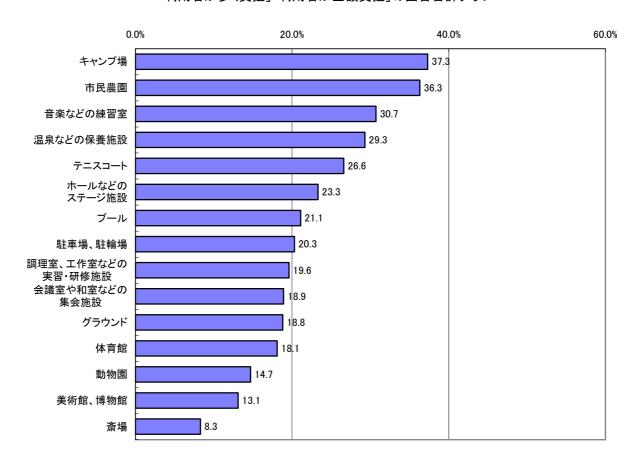
問7② 公共施設の利用料について 「市が全額負担」「市が多く負担」の回答合計グラフ



問7② 公共施設の利用料について「市と利用者が均等に負担」のグラフ



問7② 公共施設の利用料について 「利用者が多く負担」「利用者が全額負担」の回答合計グラフ



問72-1 (温泉などの保養施設)

秋田市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容により異なるものと思いますが、あなたは次の施設(温泉などの保養施設)の場合、維持管理費用についてどう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

- 1 市が全額負担
- 2 市が多く負担
- 3 市と利用者が均等に負担

- 4 利用者が多く負担
- 5 利用者が全額負担

この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、温泉などの保養施設の維持管理費について負担のありかたを聞いている。(集計表 P189 参照)

全体集計では、「市が全額負担」が 4.0% (3.9%)、「市が多く負担」が 18.8% (18.0%)、「市と利用者 が均等に負担」が 40.7% (36.5%)、「利用者が多く負担」が 21.7% (28.3%)、「利用者が全額負担」が 7.6% (10.4%) である。

年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「40代」17.6%(18.7%)、「70代以上」17.2%(21.7%)で低くなっている。

居住地域別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が「西部」17.4% (19.6%) で他地域に 比べ低い。

問72-1 全体

無回答

7.3%

利用者が

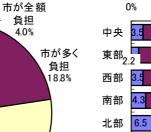
全額負担

7.6%

利用者か

多く負担

21.7%



市と

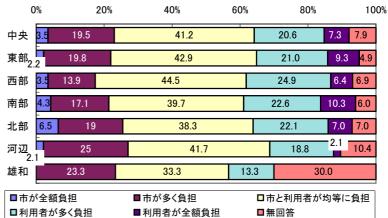
利用者

が均等に

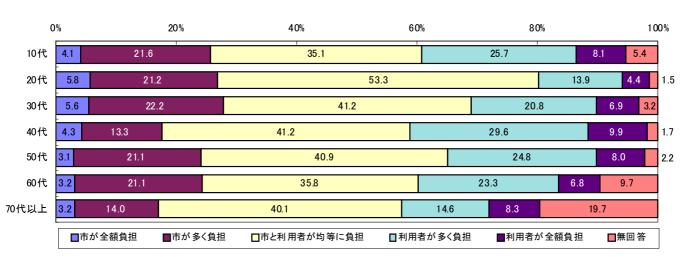
負担

40.7%

問72-1 居住地域別



問72-1 年代別



問72-2 (キャンプ場)

秋田市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容により異なるものと思いますが、あなたは次の施設(キャンプ場)の場合、維持管理費用についてどう考えますか。あなたの考えに近いものに〇をつけてください。

- 1 市が全額負担
- 2 市が多く負担
- 3 市と利用者が均等に負担

- 4 利用者が多く負担
- 5 利用者が全額負担

この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、キャンプ場の維持管理費について負担のありかたを聞いている。(集計表 P190参照)

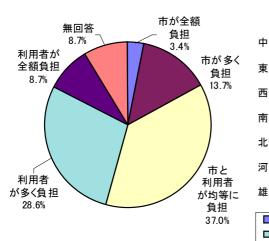
全体集計では、「市が全額負担」が3.4% (3.2%)、「市が多く負担」が13.7% (13.0%)、「市と利用者が均等に負担」が37.0% (30.1%)、「利用者が多く負担」が28.6% (36.7%)、「利用者が全額負担」が8.7% (13.5%)である。

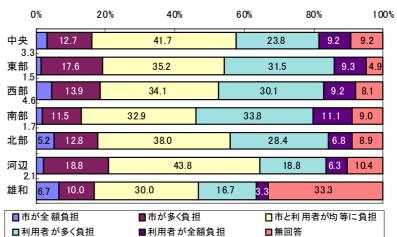
年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「20 代」25.5% (20.1%) と他の年代と 比較して高くなっている。

居住地域別集計では、「市が全額負担」と「市が多く負担」の回答の合計が「河辺」で他の地域と比較して高くなっている。

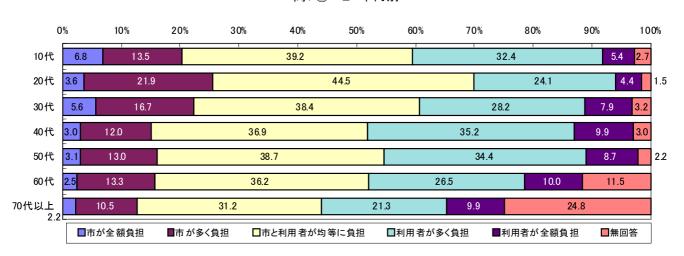
問72-2 全体

問7②-2 居住地域別





問72-2 年代別



問72-3 (体育館)

秋田市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容により異なるものと思いますが、あなたは次の施設(体育館)の場合、維持管理費用についてどう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

- 1 市が全額負担
- 2 市が多く負担
- 3 市と利用者が均等に負担

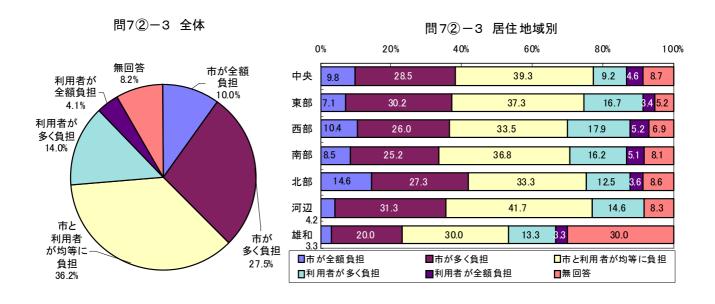
- 4 利用者が多く負担
- 5 利用者が全額負担

この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、体育館の維持管理費について負担のありかたを聞いている。(集計表 P190参照)

全体集計では、「市が全額負担」が 10.0% (12.6%)、「市が多く負担」が、27.5% (26.7%)、「市と利用者が均等に負担」が 36.2% (33.8%)、「利用者が多く負担」が 14.0% (17.7%)、「利用者が全額負担」が 4.1% (5.9%) である。

年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「10代」52.7% (52.4%)、「20代」43.0% (46.7%) で、他の年代に比較して高くなっている。

居住地域別集計では、「利用者が全額負担」「利用者が多く負担」の合計が「中央」13.8% (26.6%)、「河辺」14.6% (17.4%) で低くなっている。



問72-3 年代別 0% 10% 20% 30% 40% 60% 70% 80% 90% 100% 50% 10代 17.6 6.8 2.7 35.1 36.5 2.9 1.5 20代 13.1 29.9 41.6 10.9 30代 12.5 26.9 38.0 14.4 5.1 3.2 8.2 15.9 5.2 40代 29.2 39.1 2.6 8.7 17.6 3.7 2.5 50代 26.6 40.9 7.5 31.9 33.3 12.9 3.6 10.8 60代 70代以上 9.9 12.7 21.0 28.7 4.8 22.9 ■市が全額負担 ■市が多く負担 □市と利用者が均等に負担 ■利用者が多く負担 ■利用者が全額負担 ■無回答

問7②-4(グラウンド)

秋田市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容により異なるものと思いますが、あなたは次の施設(グラウンド)の場合、維持管理費用についてどう考えますか。あなたの考えに近いものに〇をつけてください。

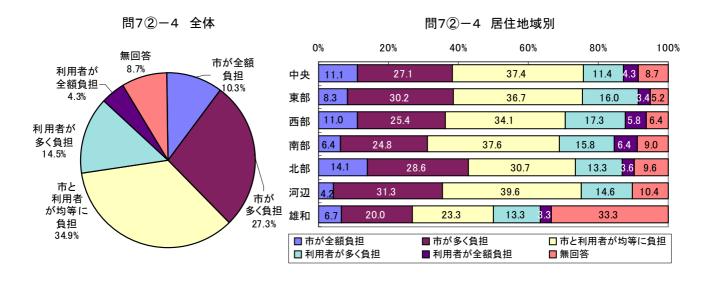
- 1 市が全額負担 2 市が多く負担 3 市と利用者が均等に負担
- 4 利用者が多く負担 5 利用者が全額負担

この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、グラウンドの維持管理費について負担のありかたを聞いている。(集計表 P191 参照)

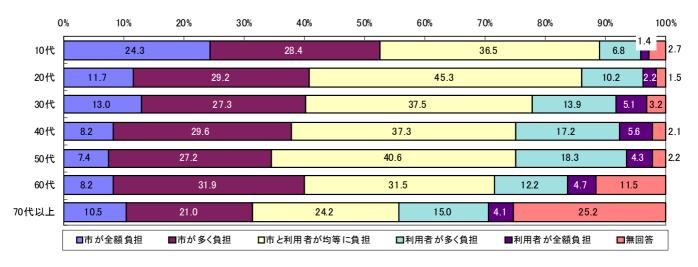
全体集計では、「市が全額負担」が 10.3% (12.3%)、「市が多く負担」が 27.3% (26.3%)、「市と利用者が均等に負担」が 34.9% (32.7%)、「利用者が多く負担」が 14.5% (19.1%)、「利用者が全額負担」が 4.3% (6.2%) である。

年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「10 代」52.7% (49.0%) と他の年代に 比較して高くなっている。

居住地域別集計では、「利用者が全額負担」「利用者が多く負担」の合計が、「西部」23.1% (24.3%)、 「南部」22.2% (27.7%) で他の地域よりも高くなっている。



問72-4 年代別



問72-5 (テニスコート)

秋田市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容により異なるものと思いますが、あなたは次の施設(テニスコート)の場合、維持管理費用についてどう考えますか。あなたの考えに近いものに〇をつけてください。

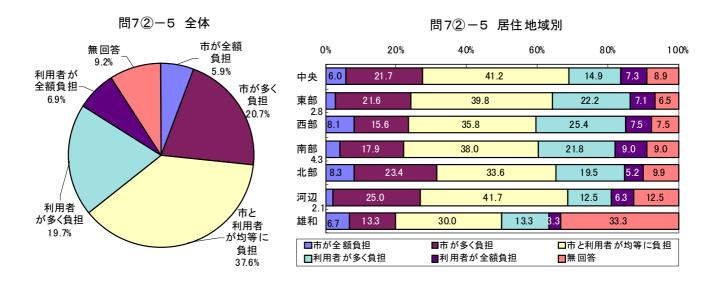
- 1 市が全額負担 2 市が多く負担 3 市と利用者が均等に負担
- 4 利用者が多く負担 5 利用者が全額負担

この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、テニスコートの維持管理費について負担のありかたを聞いている。(集計表 P191 参照)

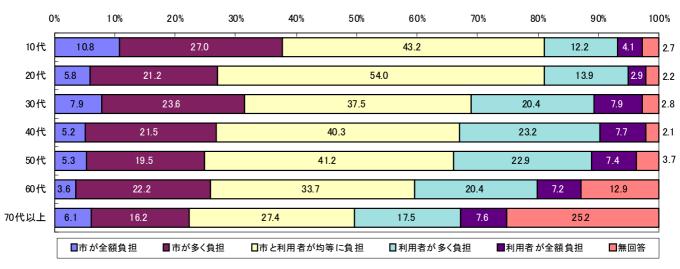
全体集計では、「市が全額負担」が、5.9% (7.1%)、「市が多く負担」が、20.7% (19.9%)、「市と利用者が均等に負担」が37.6% (32.5%)、「利用者が多く負担」が19.7% (26.7%)、「利用者が全額負担」が6.9% (10.3%) である。

年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「10代」37.8% (39.6%)、「30代」31.5% (26.8%) で他の年代に比較して高くなっている。

居住地域別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「北部」31.7%(29.4%)で他の地域に比較して高くなっている。



問72-5 年代別



問72-6 (プール)

秋田市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容により異なるものと思いますが、あなたは次の施設(プール)の場合、維持管理費用についてどう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

- 1 市が全額負担
- 2 市が多く負担
- 3 市と利用者が均等に負担

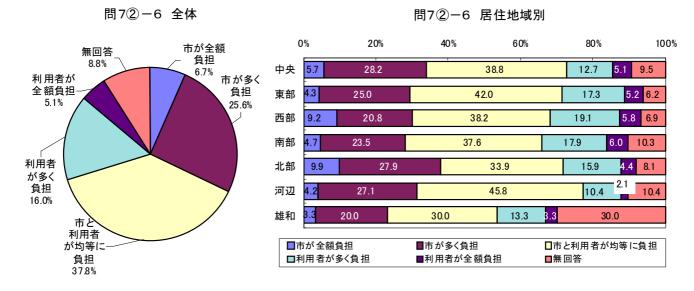
- 4 利用者が多く負担
- 5 利用者が全額負担

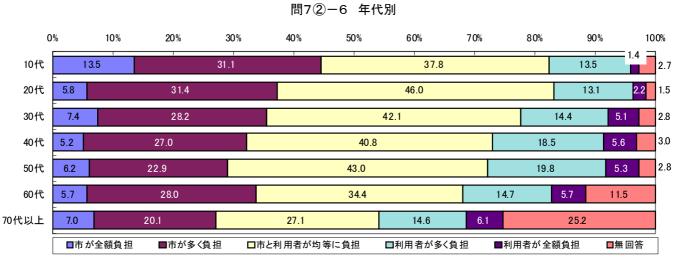
この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、プールの維持管理費について負担のありかたを聞いている。(集計表 P192 参照)

全体集計では、「市が全額負担」が 6.7% (7.9%)、「市が多く負担」が、25.6% (24.7%)、「市と利用者が均等に負担」が 37.8% (34.1%)、「利用者が多く負担」が 16.0% (22.0%)、「利用者が全額負担」が 5.1% (7.5%) である。

年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「10 代」44.6% (38.9%) で他の年代に 比較して高くなっている。

居住地域別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「中央」33.9% (38.9%)、「北部」 37.8% (34.3%) で他の地域に比較して高くなっている。





問72-7 (会議室や和室などの集会施設)

秋田市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容により異なるものと思いますが、あなたは次の施設(会議室や和室などの集会施設)の場合、維持管理費用についてどう考えますか。あなたの考えに近いものに〇をつけてください。

- 1 市が全額負担 2 市が多く負担 3 市と利用者が均等に負担
- 4 利用者が多く負担 5 利用者が全額負担

この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、会議室や和室などの 集会施設の維持管理費について負担のありかたを聞いている。(集計表 P192 参照)

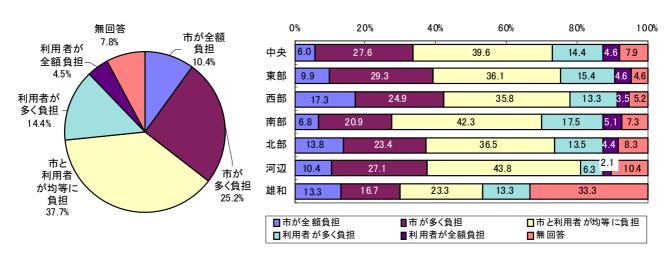
全体集計では、「市が全額負担」が10.4% (11.8%)、「市が多く負担」が25.2% (24.4%)、「市と利用者が均等に負担」が37.7% (36.1%)、「利用者が多く負担」が14.4% (18.4%)、「利用者が全額負担」が4.5% (5.9%) である。

年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「10代」45.4%(45.6%)、「60代」39.1%(34.5%)で他の年代に比較して高くなっている。

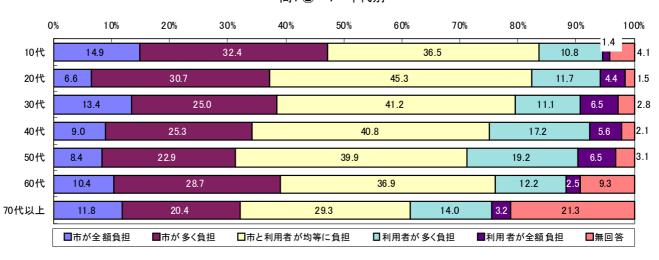
居住地域別集計では、「利用者が全額負担」「利用者が多く負担」の合計が、「河辺」8.4% (15.6%) で他の地域に比較して低くなっている。

問72-7 全体

問72-7 居住地域別



問72-7 年代別



問72-8 (調理室、工作室などの実習・研修施設)

秋田市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容により異なるものと思いますが、あなたは次の施設(調理室、工作室などの実習・研修施設)の場合、維持管理費用についてどう考えますか。 あなたの考えに近いものに○をつけてください。

- 1 市が全額負担
- 2 市が多く負担
- 3 市と利用者が均等に負担

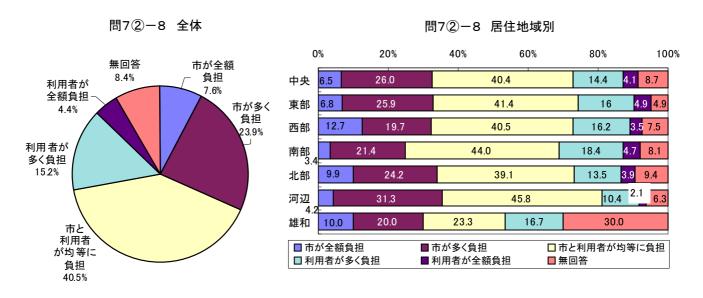
- 4 利用者が多く負担
- 5 利用者が全額負担

この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、調理室、工作室などの実習・研修施設の維持管理費について負担のありかたを聞いている。(集計表 P193 参照)

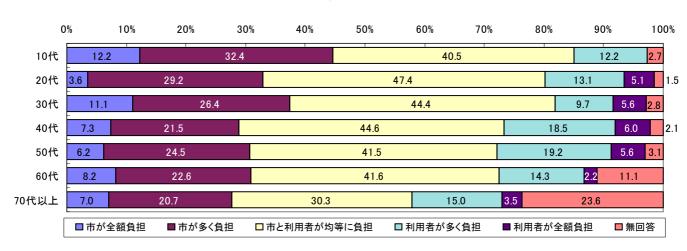
全体集計では、「市が全額負担」が 7.6% (8.6%)、「市が多く負担」が 23..9% (23.9%)、「市と利用者 が均等に負担」が 40.5% (37.5%)、「利用者が多く負担」が 15.2% (20.0%)、「利用者が全額負担」が 4.4% (6.2%) である。

年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「10代」44.6% (41.6%)、「30代」37.5% (34.1%) で他の年代に比較して高くなっている。

居住地域別集計では、「利用者が全額負担」「利用者が多く負担」の合計が、「河辺」12.5% (17.5%) で他の地域に比較して低い。



問72-8 年代別



問72-9 (ホールなどのステージ施設)

秋田市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容により異なるものと思いますが、あ なたは次の施設(ホールなどのステージ施設)の場合、維持管理費用についてどう考えますか。あなたの 考えに近いものに○をつけてください。

- 1 市が全額負担
- 2 市が多く負担
- 3 市と利用者が均等に負担

- 4 利用者が多く負担
- 5 利用者が全額負担

この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、ホールなどのステー ジ施設の維持管理費について負担のありかたを聞いている。(集計表 P193 参照)

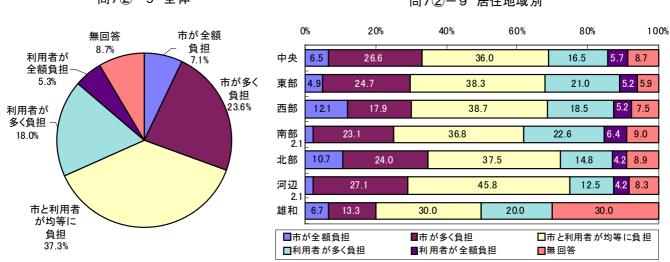
全体集計では、「市が全額負担」が7.1% (8.9%)、「市が多く負担」が23.6% (24.8%)、「市と利用者 が均等に負担」が 37.3% (32.6%)、「利用者が多く負担」が 18.0% (21.4%)、「利用者が全額負担」が 5.3% (8.3%) である。

年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「10代」37.9%(45.7%)、「30代」34.1% (35.9%) で他の年代に比較して高く、また、年代が上がるにつれて低くなっている。

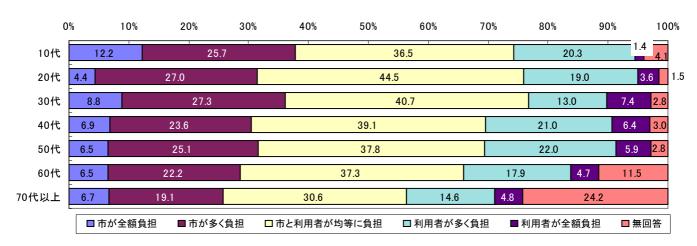
居住地域別集計では、「利用者が全額負担」「利用者が多く負担」の合計が、「河辺」16.7% (22.0%) で他の地域に比較して低い。

問72-9 全体

問72-9 居住地域別



問72-9 年代別



問7(2)-10 (音楽などの練習室)

秋田市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容により異なるものと思いますが、あなたは次の施設(音楽などの練習室)の場合、維持管理費用についてどう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

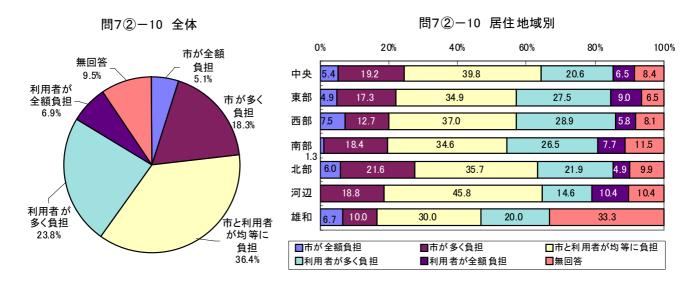
- 1 市が全額負担 2 市が多く負担 3 市と利用者が均等に負担
- 4 利用者が多く負担 5 利用者が全額負担

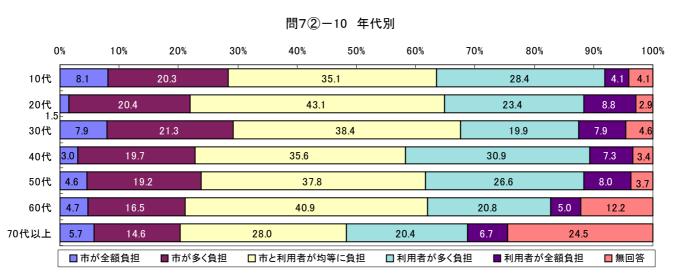
この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、音楽などの練習室の維持管理費について負担のありかたを聞いている。(集計表 P194 参照)

全体集計では、「市が全額負担」が 5.1% (6.0%)、「市が多く負担」が 18.3% (17.6%)、「市と利用者 が均等に負担」が 36.4% (33.6%)、「利用者が多く負担」が 23.8% (28.7%)、「利用者が全額負担」が 6.9% (10.3%) である。

年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「10代」28.4% (32.9%)、「30代」28.2% (24.8%) で他の年代に比較して高い。

居住地域別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「北部」27.6% (25.2%) で他の地域に比較して高い。





問72-11 (美術館、博物館)

秋田市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容により異なるものと思いますが、あなたは次の施設(美術館、博物館)の場合、維持管理費用についてどう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

- 1 市が全額負担
- 2 市が多く負担
- 3 市と利用者が均等に負担

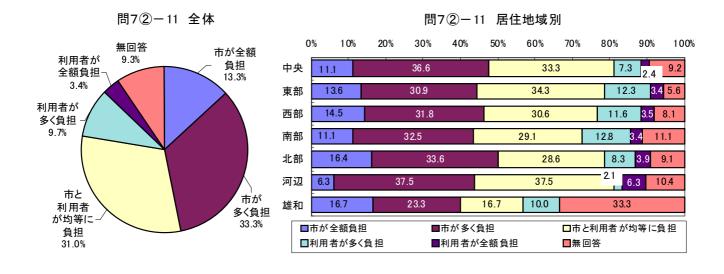
- 4 利用者が多く負担
- 5 利用者が全額負担

この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、美術館、博物館の維持管理費について負担のありかたを聞いている。(集計表 P194参照)

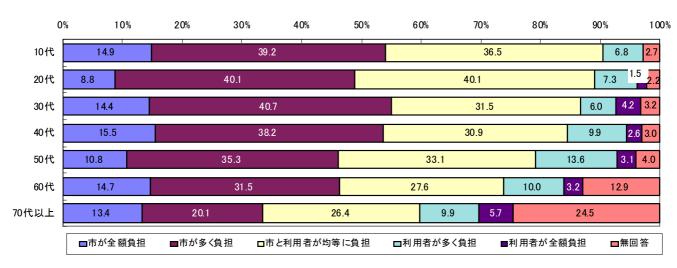
全体集計では、「市が全額負担」が13.3% (19.3%)、「市が多く負担」が33.3% (33.9%)、「市と利用者が均等に負担」が31.0% (26.4%)、「利用者が多く負担」が9.7% (11.1%)、「利用者が全額負担」が3.4% (5.6%) である。

年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「10代」54.1% (51.1%)、「30代」55.1% (56.4%)、「40代」53.7% (56.3%) で他の年代に比較して高くなっている。

居住地域別集計では、「市が全額負担」が、「河辺」6.3% (22.0%) と他の地域に比べ低くなっている。



問72-11 年代別



問72-12 (動物園)

秋田市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容により異なるものと思いますが、あなたは次の施設(動物園)の場合、維持管理費用についてどう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

- 1 市が全額負担
- 2 市が多く負担
- 3 市と利用者が均等に負担

- 4 利用者が多く負担
- 5 利用者が全額負担

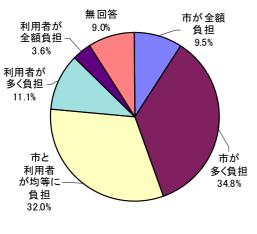
この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、動物園の維持管理費について負担のありかたを聞いている。(集計表 P195 参照)

全体集計では、「市が全額負担」が 9.5% (14.9%)、「市が多く負担」が 34.8% (34.3%)、「市と利用者 が均等に負担」が 32.0% (29.5%)、「利用者が多く負担」が 11.1% (11.6%)、「利用者が全額負担」が 3.6% (5.9%) である。

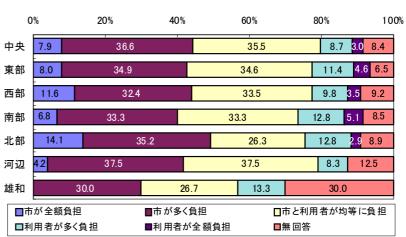
年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「70代以上」31.3% (45.0%) でもっと も低くなっている。

居住地域別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「北部」49.3% (49.0%) で他の地域に比べ高くなっている。

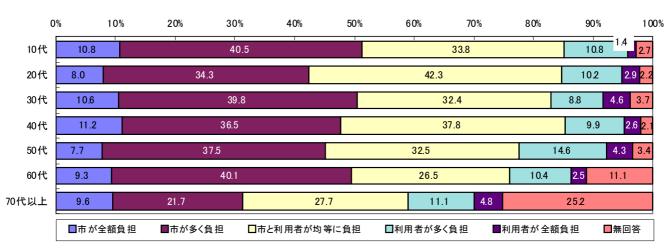
問72-12 全体



問72-12 居住地域別



問72-12 年代別



問72-13 (駐車場、駐輪場)

秋田市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容により異なるものと思いますが、あなたは次の施設(駐車場、駐輪場)の場合、維持管理費用についてどう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

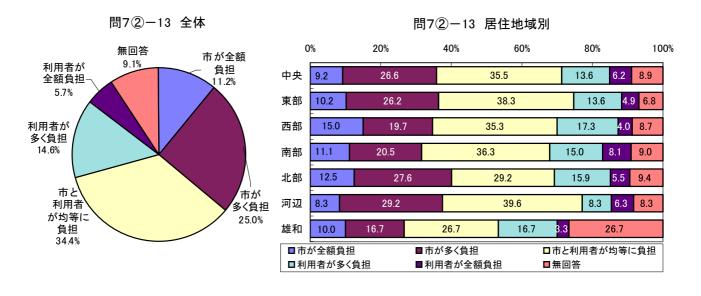
- 1 市が全額負担 2 市が多く負担 3 市と利用者が均等に負担
- 4 利用者が多く負担 5 利用者が全額負担

この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、駐車場、駐輪場の維持管理費について負担のありかたを聞いている。(集計表 P195 参照)

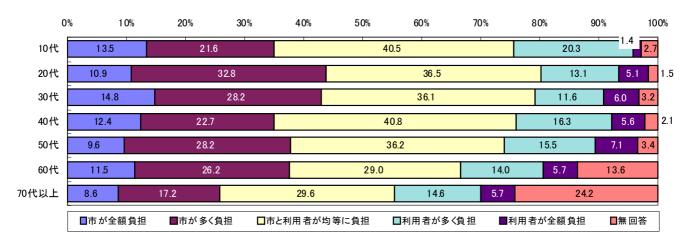
全体集計では、「市が全額負担」が11.2% (13.9%)、「市が多く負担」が25.0% (23.0%)、「市と利用者が均等に負担」が34.4% (30.4%)、「利用者が多く負担」が14.6% (17.6%)、「利用者が全額負担」が5.7% (11.6%) である。

年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「20代」43.7% (49.0%)、「30代」43.0% (41.4%) で他の年代に比較して高くなっている。

居住地域別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「北部」40.1% (38.0%)、「河辺」 37.5% (24.8%) で他の地域に比べ高くなっている。



問72-13 年代別



問72-14 (市民農園)

秋田市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容により異なるものと思いますが、あなたは次の施設(市民農園)の場合、維持管理費用についてどう考えますか。あなたの考えに近いものに ○をつけてください。

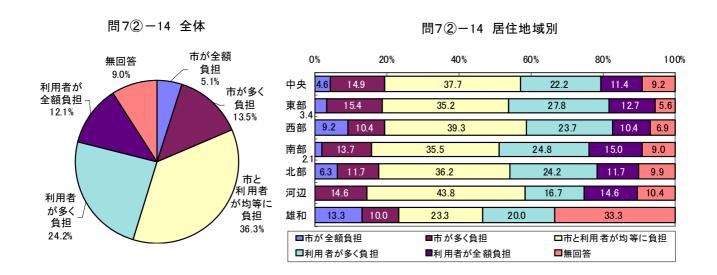
- 1 市が全額負担 2 市が多く負担 3 市と利用者が均等に負担
- 4 利用者が多く負担 5 利用者が全額負担

この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、市民農園の維持管理費について負担のありかたを聞いている。(集計表 P196 参照)

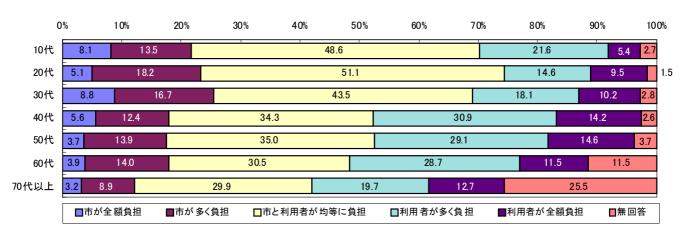
全体集計では、「市が全額負担」が5.1% (4.6%)、「市が多く負担」が13.5% (12.1%)、「市と利用者が均等に負担」が36.3% (29.6%)、「利用者が多く負担」が24.2% (29.7%)、「利用者が全額負担」が12.1% (20.4%)である。

年代別集計では、「利用者が全額負担」「利用者が多く負担」の合計が、「40 代」45.1% (55.0%)、「50 代」43.7% (54.9%) で他の年代に比較して高い。

居住地域別集計では、「利用者が全額負担」「利用者が多く負担」の合計が、「東部」40.5% (50.7%)、「南部」39.8% (50.1%) で他の地域に比べ高くなっている。



問72-14 年代別



問72-15 (斎場)

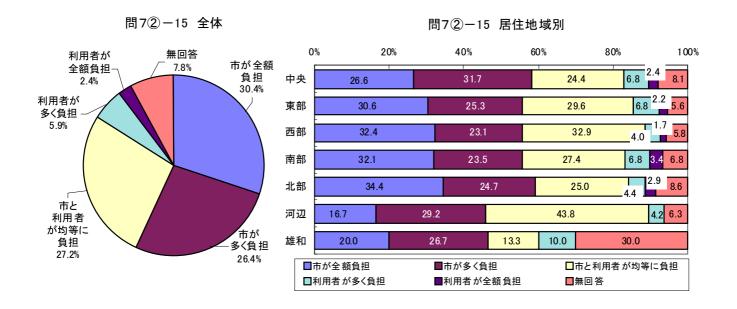
秋田市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容により異なるものと思いますが、あなたは次の施設(斎場)の場合、維持管理費用についてどう考えますか。あなたの考えに近いものに〇をつけてください。

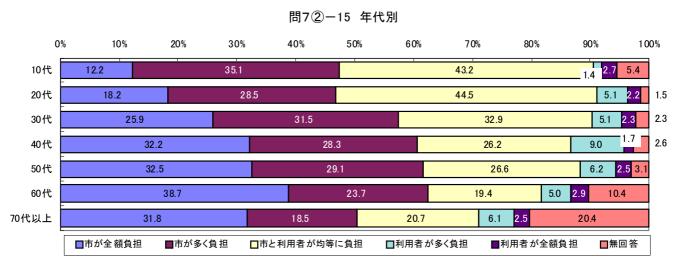
- 1 市が全額負担 2 市が多く負担 3 市と利用者が均等に負担
- 4 利用者が多く負担 5 利用者が全額負担

この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、斎場の維持管理費について負担のありかたを聞いている。(集計表 P196参照)

全体集計では、「市が全額負担」が 30.4% (34.8%)、「市が多く負担」が 26.4% (24.0%)、「市と利用者が均等に負担」が 27.2% (24.5%)、「利用者が多く負担」が 5.9% (8.9%)、「利用者が全額負担」が 2.4% (4.6%) である。

年代別集計では、「市が全額負担」が、「60代」までは年代が上がるにつれて高くなる傾向がある。 居住地域別集計では、「市が全額負担」が「河辺」16.7% (31.2%)、「雄和」20.0% (33.3%) で他の地域に比較して低くなっている。





第6節 安全安心な暮らしについて

より充実した方がよい分野(問8①)

問8①(より充実した方がよい分野)

あなたが、秋田市で安全安心な生活を送るうえで、より充実した方がよいと思う分野はどれですか。次 の中から5つまで選んでください。

- 1 災害時における他自治体や県など関係機関との連携強化
- 2 災害時における隣近所による相互避難協力など、地域防災力の強化
- 3 鳥インフルエンザなどに対応する健康危機管理体制の整備
- 4 効率的な道路除排雪
- 5 地域が主体的に取り組む除排雪対策支援
- 6 地域による防犯活動への支援
- 7 子どもの安全対策
- 8 交通安全対策の強化
- 9 消費者問題対策
- 10 食品衛生監視など食の安全確保 11 市立病院など地域保健・医療体制の強化
- 12 乳幼児や生活習慣病等の検診・予防接種など疾病予防
- 13 消防・救急・救命体制
- 14 生活保護など社会保障制度の確保

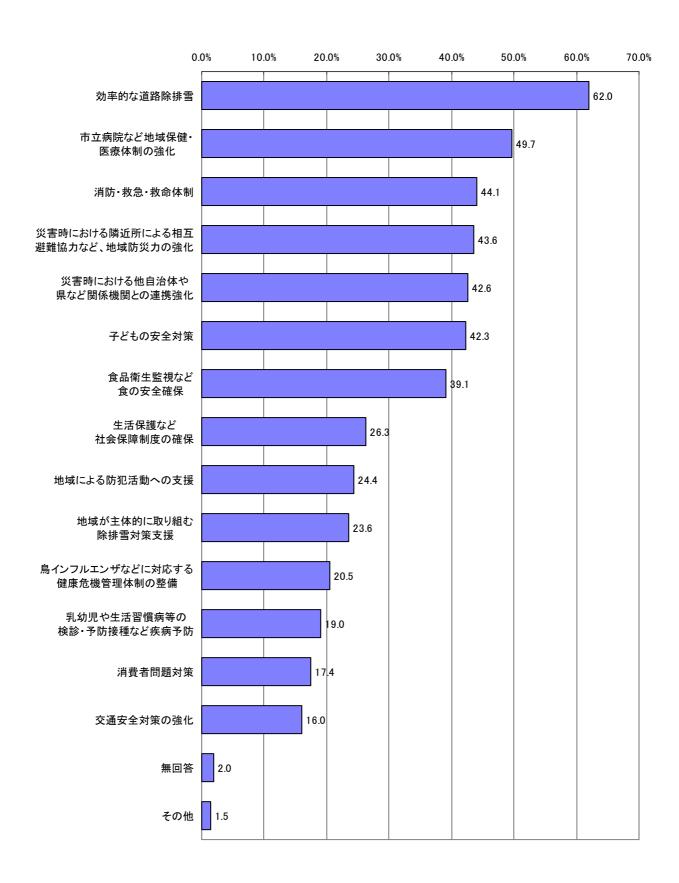
15 その他

この設問では、安全安心な生活を送るうえで、より充実した方がよい分野を5つ聞いている。(集計表 P 197 参照)

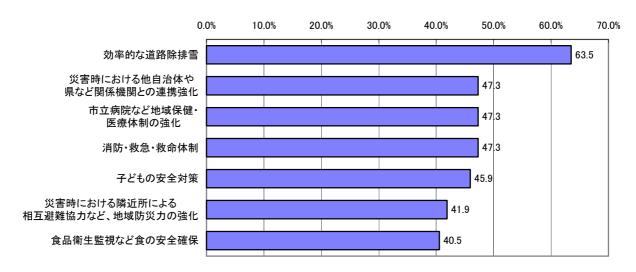
全体集計では、最も多かったのは「効率的な道路除排雪」62.0%であった。以下、「市立病院など地域 保健・医療体制の強化」49.7%、「消防・救急・救命体制」44.1%、「災害時災害時における隣近所による 相互避難協力など、地域防災力の強化 | 43.6%、「災害時における他自治体や県など関係機関との連携強化 | 42.6%、「子どもの安全対策」42.3%と続いている。(P103 グラフ参照)

なお、年代別、居住地域別の集計結果については、P104からP108のグラフで示している。 (※表記の条件として、30%以上の回答があったものを記している。)

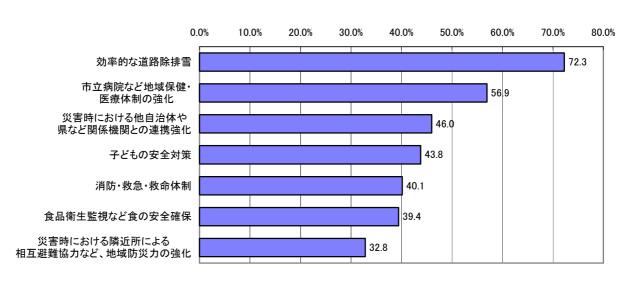
問8① 安全な暮らしについて より充実したほうがよい分野



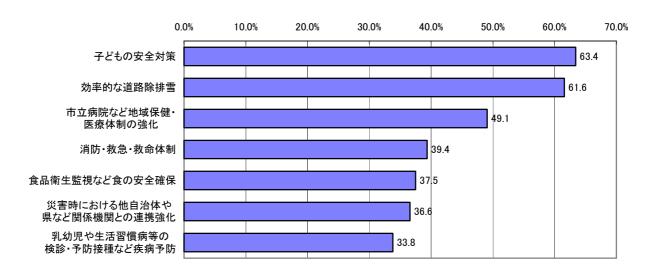
問8① 安全な暮らしについて より充実したほうがよい分野「10代」



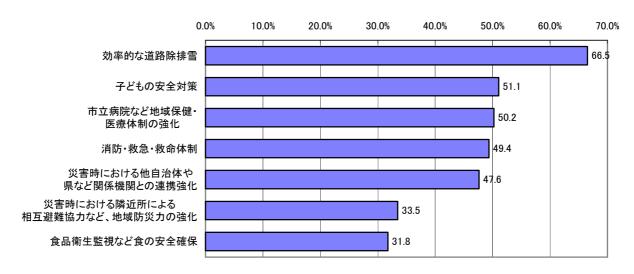
問8① 安全な暮らしについて より充実したほうがよい分野「20代」



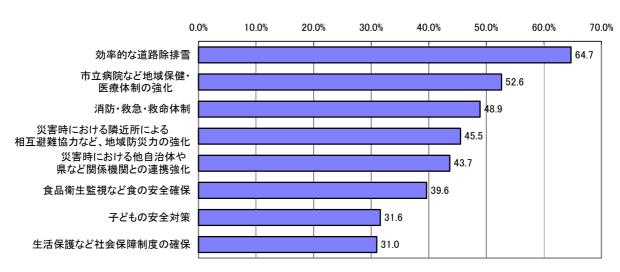
問8① 安全な暮らしについて より充実したほうがよい分野「30代」



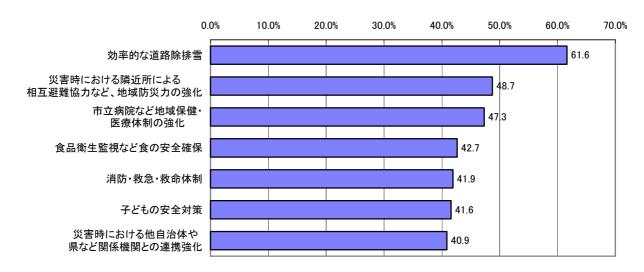
問8① 安全な暮らしについて より充実したほうがよい分野「40代」



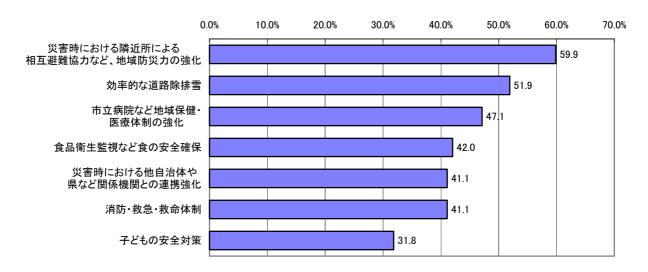
問8① 安全な暮らしについて より充実したほうがよい分野「50代」



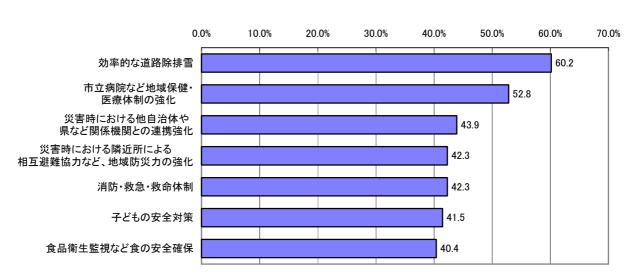
問8① 安全な暮らしについて より充実したほうがよい分野「60代」



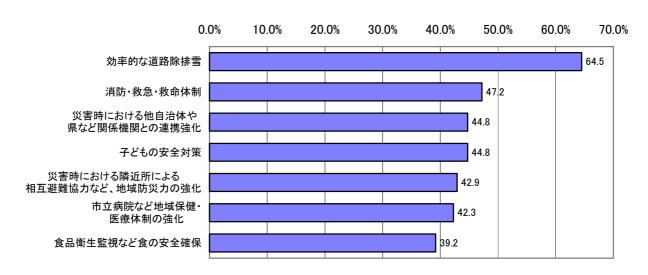
問8① 安全な暮らしについて より充実したほうがよい分野「70代以上」



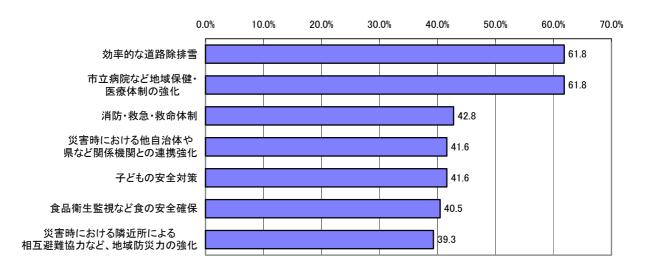
問8① 安全な暮らしについて より充実したほうがよい分野「中央」



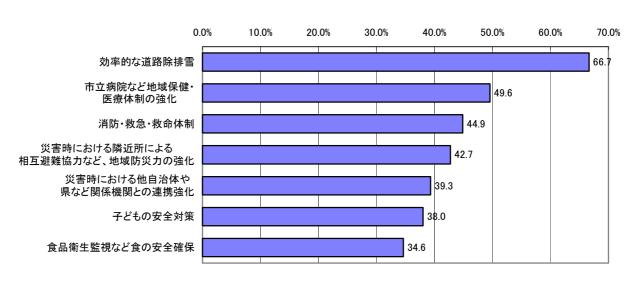
問8① 安全な暮らしについて より充実したほうがよい分野「東部」



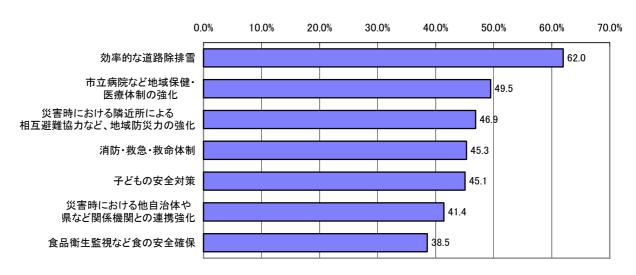
問8① 安全な暮らしについて より充実したほうがよい分野 「西部」



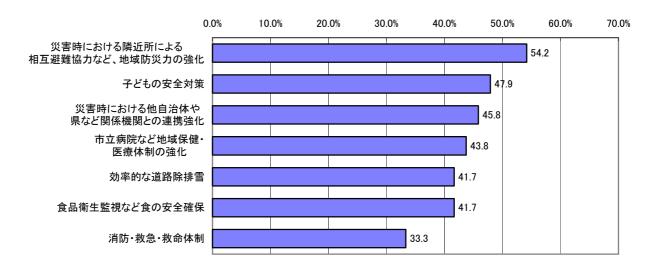
問8① 安全な暮らしについて より充実したほうがよい分野「南部」



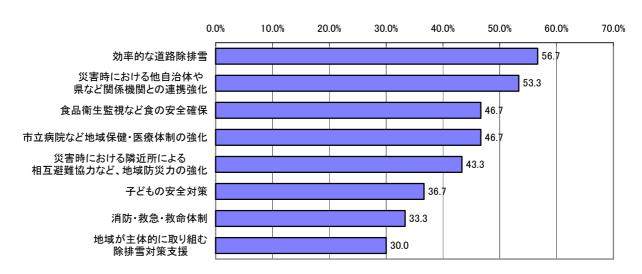
問8① 安全な暮らしについて より充実したほうがよい分野 「北部」



問8① 安全な暮らしについて より充実したほうがよい分野 「河辺」



問8① 安全な暮らしについて より充実したほうがよい分野「雄和」



2 地域が積極的に行動すべきと思う分野(問8②)

問8②(地域が積極的に行動すべきと思う分野)

あなたをはじめとする家族や地域の方々が、安全安心な生活を送るために、あなた自らが役割を担う、 あるいは地域が積極的に行動すべきと思う取り組みはどれですか。必要と思うものを、次の中から3つ選 んでください。

1 地域のお年寄りの避難支援 2 自主防災組織や消防団への参加

3 避難情報の相互連絡 4 高齢者世帯の除雪

5 地域の除排雪活動 6 小規模堆雪場の確保

7 通学路の見守り活動 8 交差点等での交通安全活動

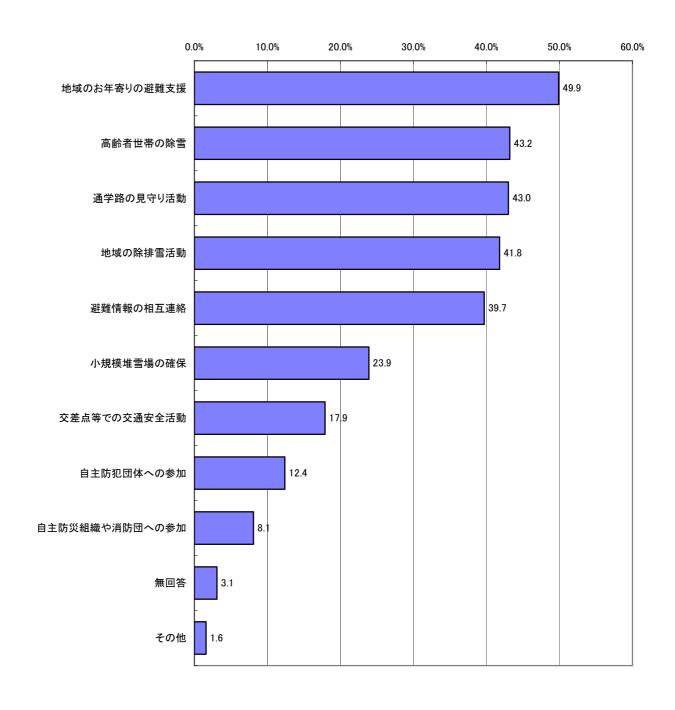
9 自主防犯団体への参加 10 その他

この設問では、安全安心な生活を送るために、市民自らが役割を担う、あるいは地域が積極的に行動すべきと思う取り組みを3つ聞いている。(集計表 P198参照)

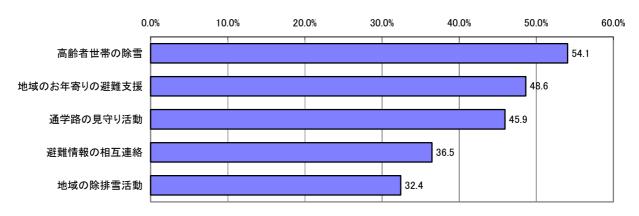
全体集計では、最も多かったのは「地域のお年寄りの避難支援」49.9%であった。以下、「高齢者世帯の除雪」43.2%、「通学路の見守り活動」43.0%、「地域の除排雪活動」41.8%、「避難情報の相互連絡」39.7%、「小規模堆雪場の確保」23.9%と続いている。(P110 グラフ参照)

なお、年代別、居住地域別の集計結果については、P111からP114のグラフで示している。 (※表記の条件として、30%以上の回答があったものを記している。)

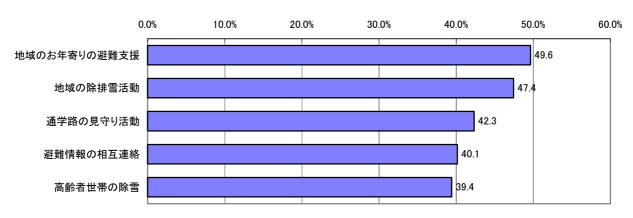
問8② 安全な暮らしについて 積極的に行動すべきと思う分野 全体集計グラフ



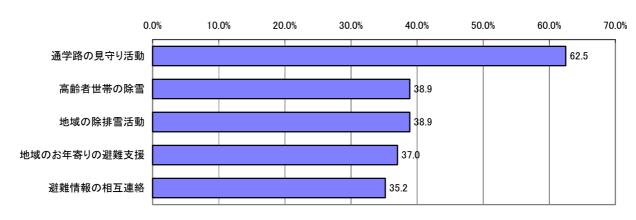
問8② 安全な暮らしについて 積極的に行動すべき取り組み「10代」



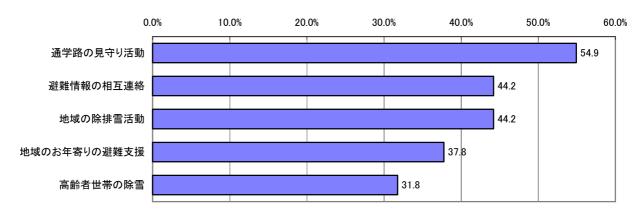
問8② 安全な暮らしについて 積極的に行動すべきと思う分野「20代」



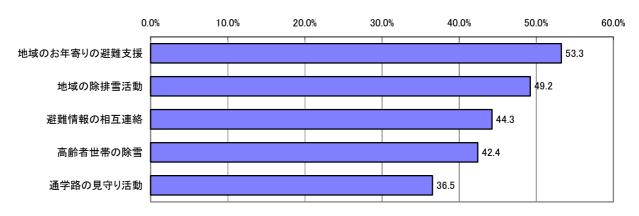
問8② 安全な暮らしについて 積極的に行動すべきと思う分野「30代」



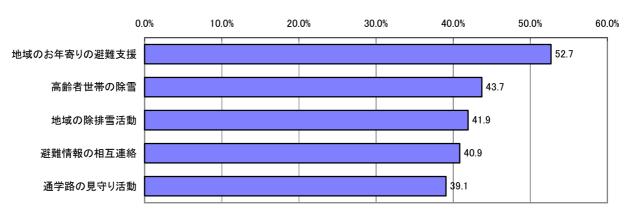
問8② 安全な暮らしについて 積極的に行動すべきと思う分野「40代」



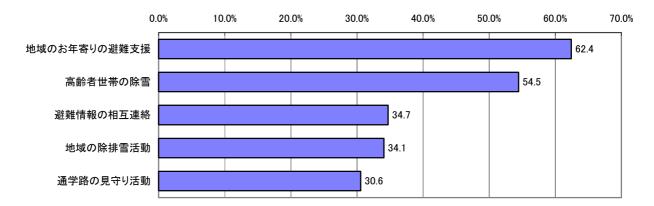
問8② 安全な暮らしについて 積極的に行動すべきと思う分野「50代」



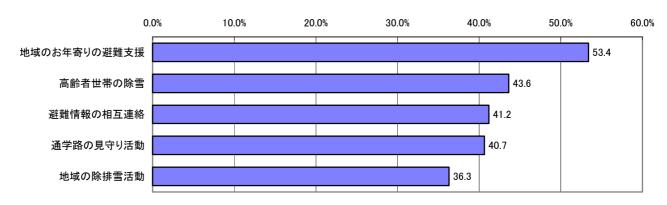
問8② 安全な暮らしについて 積極的に行動すべきと思う分野「60代」



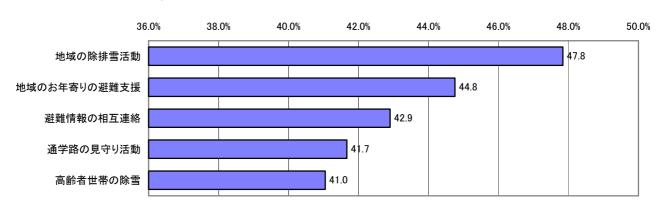
問8② 安全な暮らしについて 積極的に行動すべきと思う分野「70代以上」



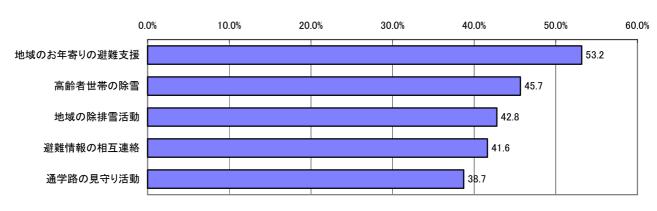
問8② 安全な暮らしについて 積極的に行動すべきと思う分野「中央」



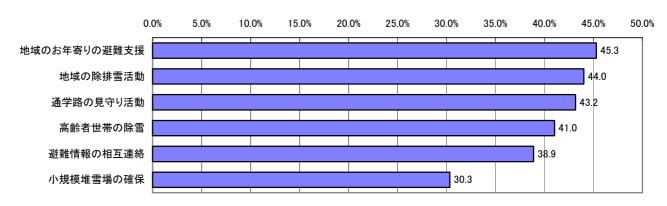
問8② 安全な暮らしについて 積極的に行動すべきと思う分野「東部」



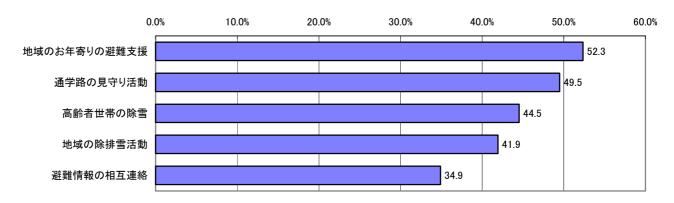
問8② 安全な暮らしについて 積極的に行動すべきと思う分野「西部」



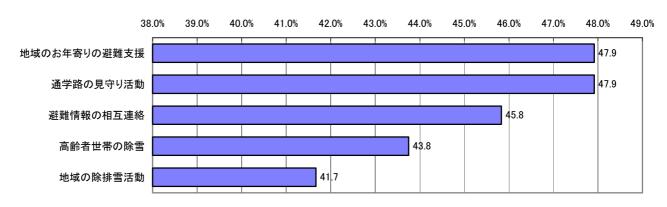
問8② 安全な暮らしについて 積極的に行動すべきと思う分野「南部」



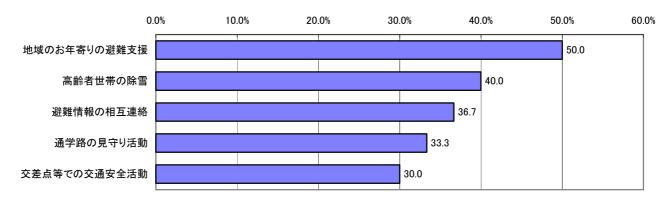
問8② 安全な暮らしについて 積極的に行動すべきと思う分野「北部」



問8② 安全な暮らしについて 積極的に行動すべきと思う分野「河辺」



問8② 安全な暮らしについて 積極的に行動すべきと思う分野「雄和」



第7節 食料に関する意識について

1 食品を購入する際の意識(問9①)

問9① (食品を購入する際の意識)

食品偽装問題など「食の安全・安心」が懸念されるなかで、あなたは、食品を購入する際、日ごろ以下 の点を意識していますか。1~6の各項目についてどちらかに○をつけてください。

【選択肢】

1 意識している

2 意識していない

【項目】

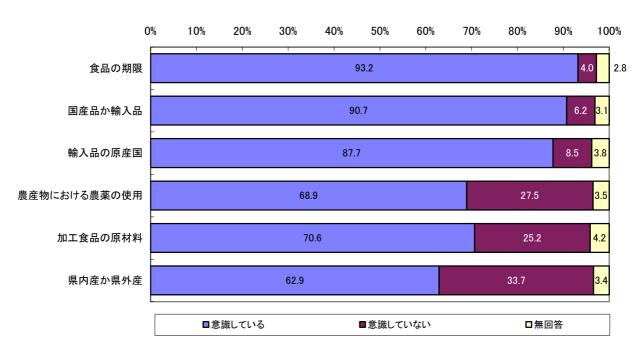
- 1 食品の期限(賞味・消費期限) 2 国産品か輸入品 3 輸入品の原産国

- 4 農産物 (野菜・果物など) における農薬の使用
- 5 加工食品の原材料(遺伝子組み換え食品・食品添加物の有無) 6 県内産か県外産

この設問では、食料に関する意識を把握するため、6の項目について、意識しているかどうかを聞いて いる。(集計表 P198~201 参照)

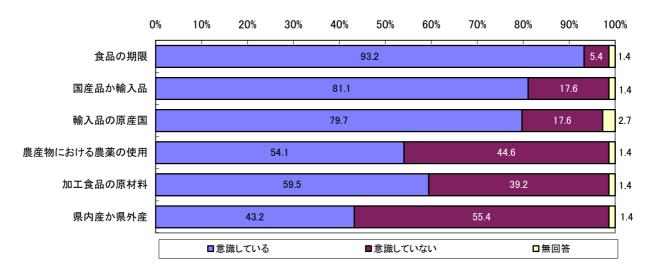
全体集計では、項目により回答結果に差が生じている。

男女別集計では、「女性」の方が全ての項目で「男性」よりも「意識している」割合が高かった。 年代別集計、居住地域別集計では、顕著な差はない。

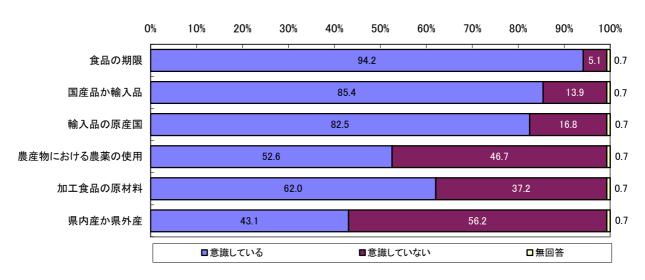


問9① 食品を購入する際の意識 全体

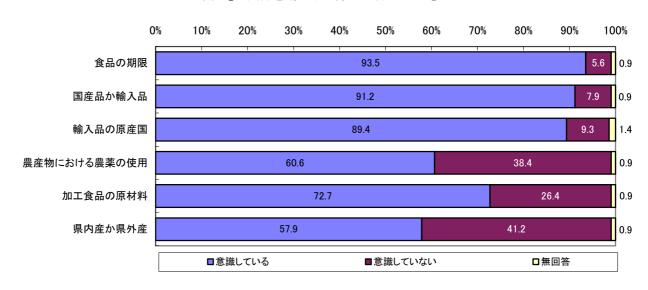
問9① 食品を購入する際の意識「10代」



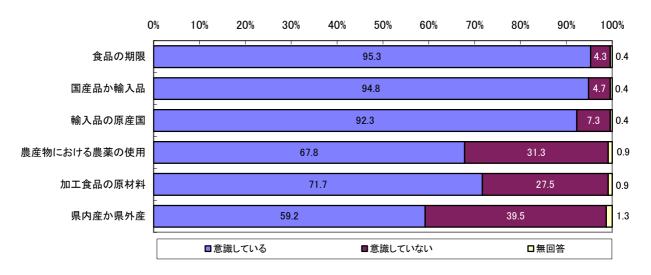
問9① 食品を購入する際の意識「20代」



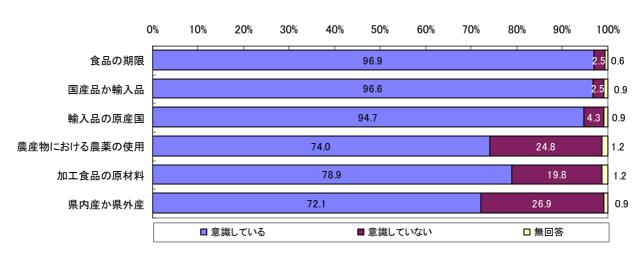
問9① 食品を購入する際の意識「30代」



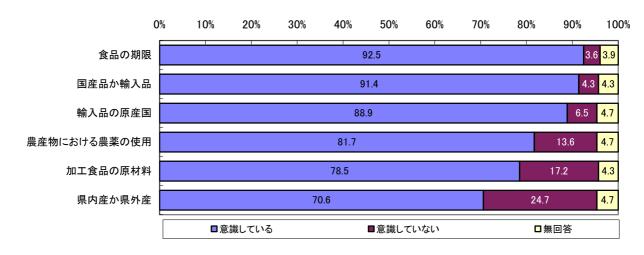
問9① 食品を購入する際の意識「40代」



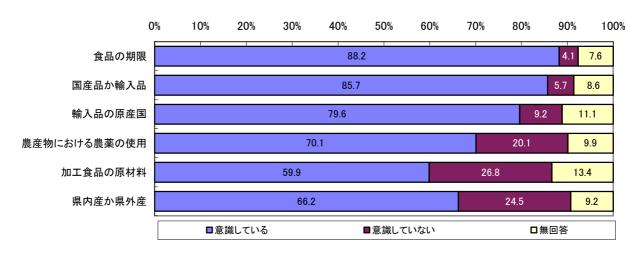
問9① 食品を購入する際の意識「50代」



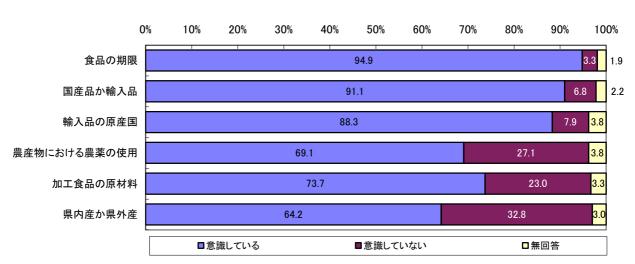
問9① 食品を購入する際の意識「60代」



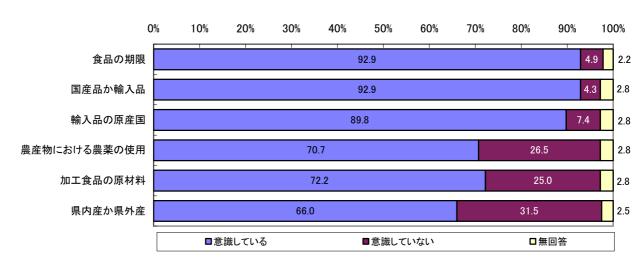
問9① 食品を購入する際の意識 「70代以上」



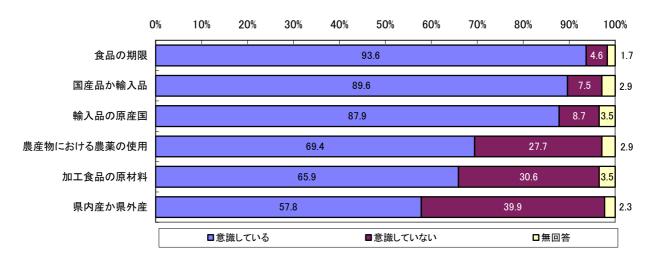
問9① 食品を購入する際の意識「中央」



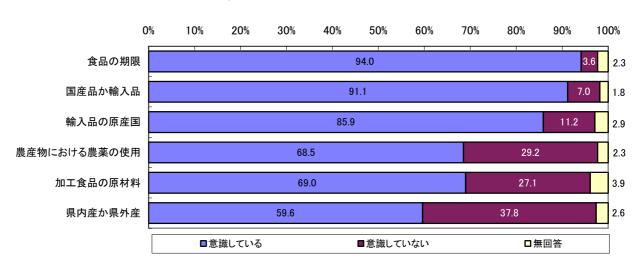
問9① 食品を購入する際の意識「東部」



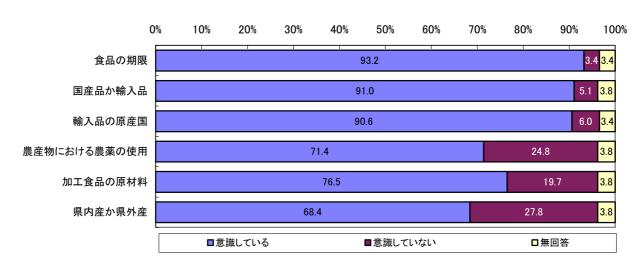
問9(1) 食品を購入する際の意識「西部」



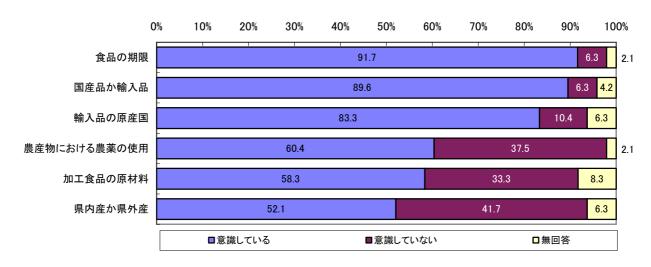
問9① 食品を購入する際の意識「北部」



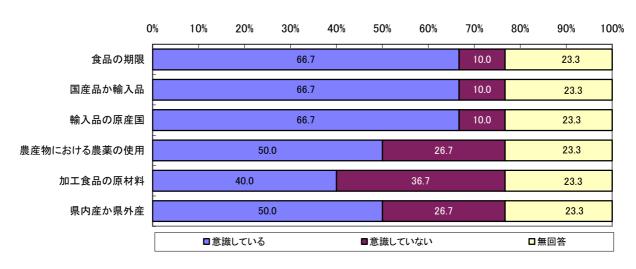
問9① 食品を購入する際の意識「南部」



問9① 食品を購入する際の意識「河辺」



問9① 食品を購入する際の意識「雄和」



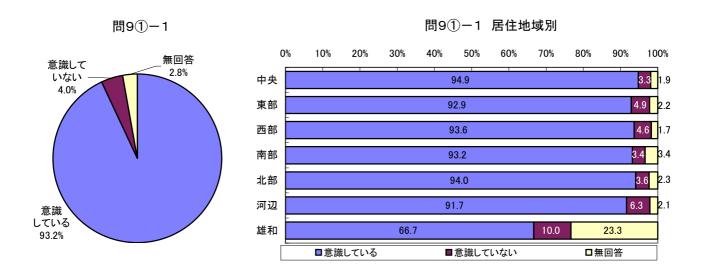
問9①-1 (食品の期限 (賞味・消費期限))

食品偽装問題など「食の安全・安心」が懸念されるなかで、あなたは、食品を購入する際、日ごろ以下 の点を意識していますか。次の項目(食品の期限(賞味・消費期限))についてどちらかに○をつけてく ださい。

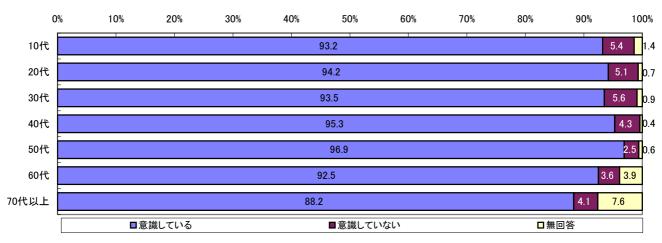
1 意識している 2 意識していない

この設問では、食料に関する意識を把握するため、食品の期限(賞味・消費期限)を意識しているかどうかを聞いている。(集計表 P198 参照)

全体集計では、「意識している」が93.2%、「意識していない」が4.0%である。 年代別集計では、「10代」から「60代」までは、「意識している」が9割を超えている。 居住地域別集計では、「意識している」が、「雄和」66.7%と他の地域に比べ低くなっている。



問9①-1 年代別



問9①-2 (国産品か輸入品)

食品偽装問題など「食の安全・安心」が懸念されるなかで、あなたは、食品を購入する際、日ごろ以下 の点を意識していますか。次の項目(国産品か輸入品)についてどちらかに○をつけてください。

1 意識している

2 意識していない

この設問では、食料に関する意識を把握するため、国産品か輸入品かを意識しているかどうかを聞いている。(集計表 P199 参照)

全体集計では、「意識している」が90.7%、「意識していない」が6.2%である。

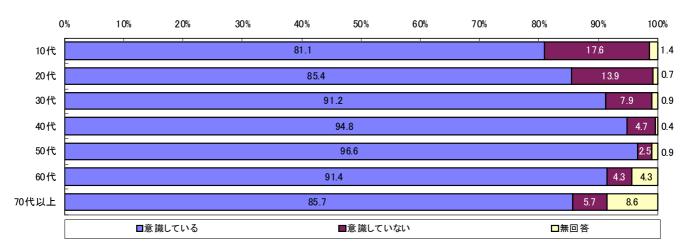
男女別集計では、「意識している」が「女性」93.3%、「男性」87.4%で、女性の方が割合が高い。

年代別集計では、「10 代」から「50 代」までは、年代が上がるにつれて、「意識している」が高くなる傾向にある。

居住地域別集計では、「中央」「東部」「南部」「北部」で90%以上が「意識している」を選択している。

問9①-2 問9①-2 居住地域別 無回答 意識して 100% 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 3.1% いない 6.8 2.2 6.2% 中央 91.1 4.3 2.8 東部 92.9 89.6 西部 7.5 2.9 91.0 5.1 南部 91.1 北部 1.8 意識 している 河辺 4.2 89.6 90.7% 雄和 66.7 10.0 23.3 ■意識していない ■意識している □無回答

問9①-2 年代別



問91-3 (輸入品の原産国)

食品偽装問題など「食の安全・安心」が懸念されるなかで、あなたは、食品を購入する際、日ごろ以下 の点を意識していますか。次の項目(輸入品の原産国)についてどちらかに○をつけてください。

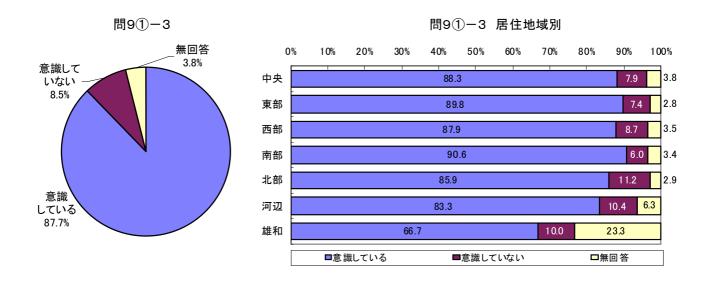
1 意識している

2 意識していない

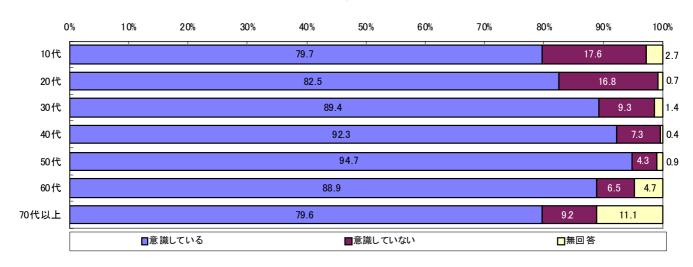
この設問では、食料に関する意識を把握するため、輸入品の原産国を意識しているかどうかを聞いている。(集計表 P199 参照)

全体集計では、「意識している」が87.7%、「意識していない」が8.5%である。 男女別集計では、「意識している」が、「女性」90.5%、「男性」84.1%と女性の方が割合が高い。 年代別集計では、「意識していない」が、「10代」17.6%、「20代」16.8%で、他の年代に比べて高くなっている。

居住地域別集計では、顕著な差はない。



問9①-3 年代別



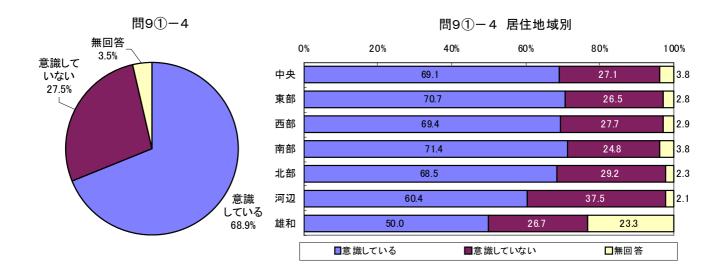
問9①-4(農産物(野菜・果物など)における農薬の使用)

食品偽装問題など「食の安全・安心」が懸念されるなかで、あなたは、食品を購入する際、日ごろ以下 の点を意識していますか。次の項目(農産物(野菜・果物など)における農薬の使用)についてどちらか に○をつけてください。

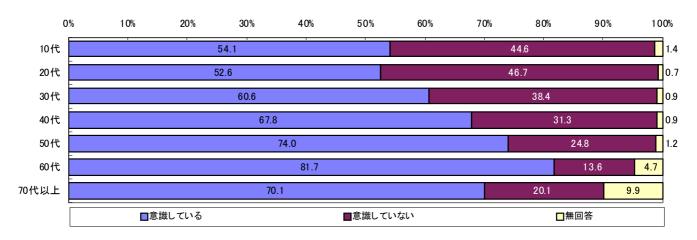
1 意識している 2 意識していない

この設問では、食料に関する意識を把握するため、農産物(野菜・果物など)における農薬の使用を意識しているかどうかを聞いている。(集計表 P200参照)

全体集計では、「意識している」が 68.9%、「意識していない」が 27.5%である。 男女別集計では、「意識している」が、「女性」 72.0%、「男性」 65.0%と女性の方が割合が高い。 年代別集計では、「意識していない」が、「10代」 44.6%、「20代」 46.7%で他の年代に比べ高い。 居住地域別集計では、「意識していない」が、「河辺」 37.5%と他の地域に比較して高い。



問9①-4 年代別



問9①-5 (加工食品の原材料 (遺伝子組み換え食品・食品添加物の有無))

食品偽装問題など「食の安全・安心」が懸念されるなかで、あなたは、食品を購入する際、日ごろ以下 の点を意識していますか。次の項目(加工食品の原材料(遺伝子組み換え食品・食品添加物の有無))に ついてどちらかに○をつけてください。

1 意識している 2 意識していない

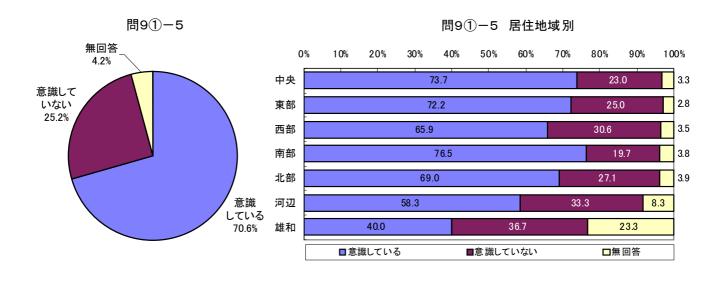
この設問では、食料に関する意識を把握するため、加工食品の原材料(遺伝子組み換え食品・食品添加物の有無)を意識しているかどうかを聞いている。(集計表 P200参照)

全体集計では、「意識している」が70.6%、「意識していない」が25.2%である。

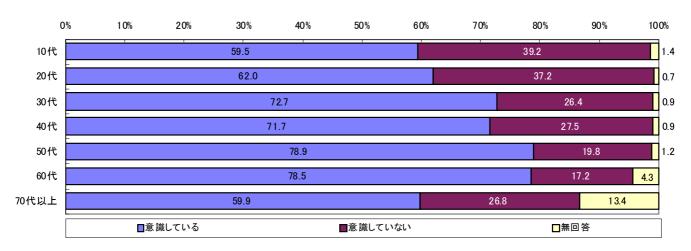
男女別集計では、「意識している」が、「女性」76.0%、「男性」62.9%と「女性」の方が意識している割合が高い。

年代別集計では、「意識している」が、「50代」78.9%、「60代」78.5%で他の年代よりも高くなっている。

居住地域別集計では、「意識していない」が、「西部」30.6%、「河辺」33.3%、「雄和」36.7%で、他の地域に比較して高くなっている。



問9①-5 年代別



問91-6 (県内産か県外産)

食品偽装問題など「食の安全・安心」が懸念されるなかで、あなたは、食品を購入する際、日ごろ以下 の点を意識していますか。次の項目(県内産か県外産)についてどちらかに○をつけてください。

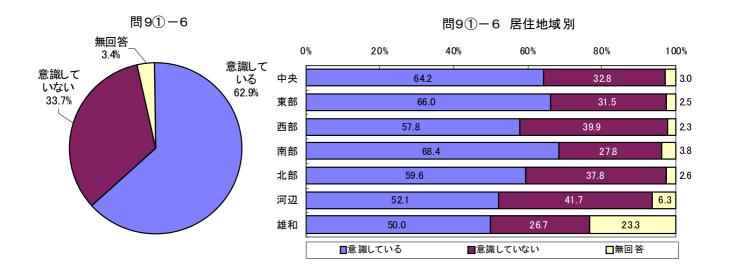
1 意識している

2 意識していない

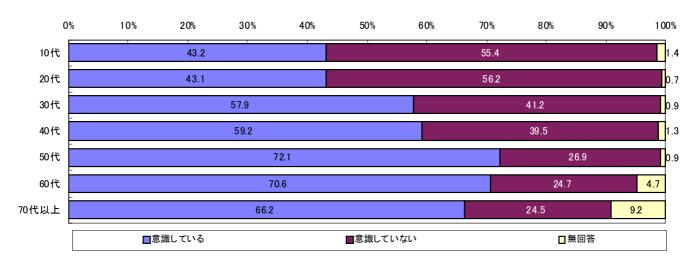
この設問では、食料に関する意識を把握するため、県内産か県外産かを意識しているかどうかを聞いている。(集計表 P201 参照)

全体集計では、「意識している」が62.9%、「意識していない」が33.7%である。 男女別集計では、「意識している」が、「女性」66.7%、「男性」57.4%と女性の方が割合が高い。 年代別集計では、「意識している」が、「50代」72.1%、「60代」70.6%で、他の年代よりも高くなっている。

居住地域別集計では、「意識している」が、「南部」68.4%と他の地域に比較して高い。



問9①-6 年代別



2 地産地消に期待すること(問9②)

問9②(地産地消に期待すること)

秋田市では、地域で生産された農産物を地域で消費する「地産地消」をさらに進めようとしていますが、 あなたはどういったことを期待しますか。次の中から3つ選んでください。

1 学校給食での地元農産物の利用

2 スーパー等での直売コーナー設置

3 直売所の設置 4 食育の推進 5 地元農産物加工所への支援

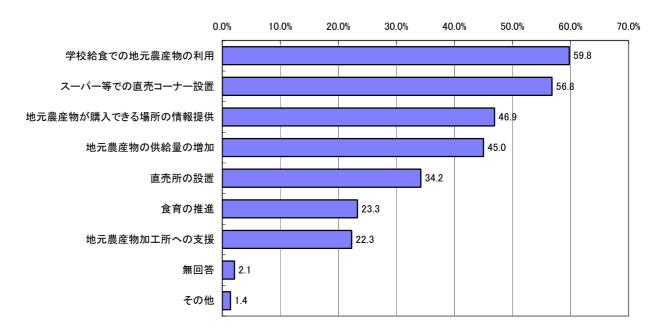
6 地元農産物が購入できる場所の情報提供 7 地元農産物の供給量の増加

8 その他

この設問では、地産地消へ期待することを3つ聞いている。(集計表 P201参照)

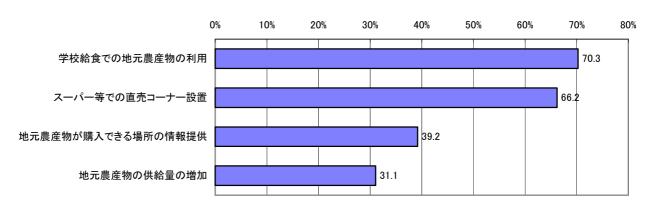
全体集計では、最も高かったのは「学校給食での地元農産物の利用」59.8%であった。以下、「スーパ 一等での直売コーナー設置 | 56.8%、「地元農産物が購入できる場所の情報提供 | 46.9%、「地元農産物の 供給量の増加」45.0%、「直売所の設置」34.2%、「食育の推進」23.3%、「地元農産物加工所への支援」22.3% と続いている。(下記グラフ参照)

なお、年代別、居住地域別の集計結果については、P128からP132のグラフで示している。 (※表記の条件として、30%以上の回答があったものを記している。)

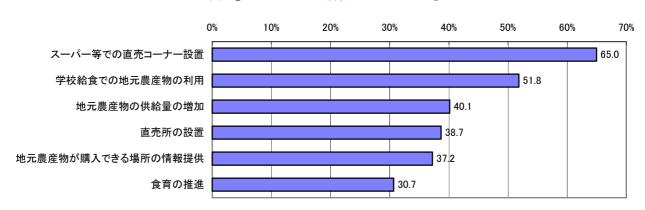


問9② 地産地消に期待すること

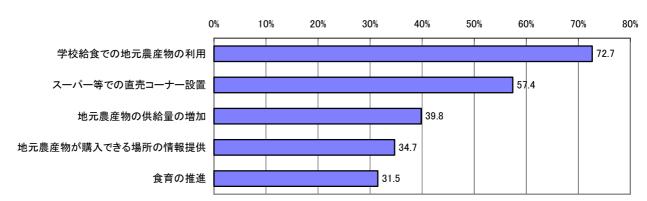
問9② 地産地消に期待すること「10代」



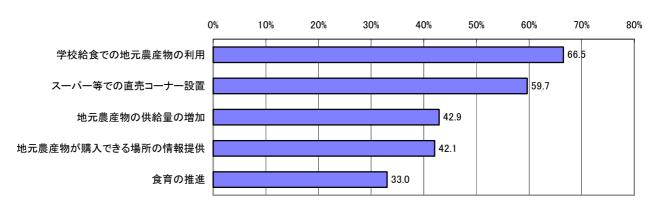
問9② 地産地消に期待すること「20代」



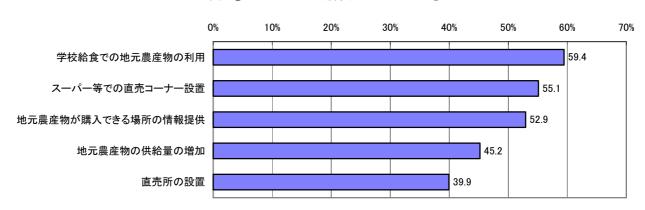
問9② 地産地消に期待すること「30代」



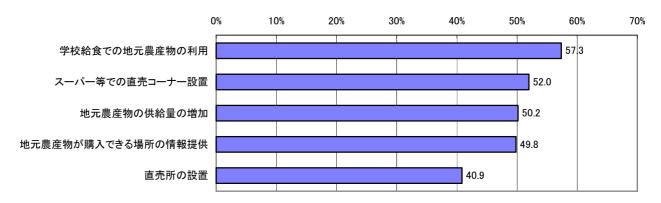
問9② 地産地消に期待すること「40代」



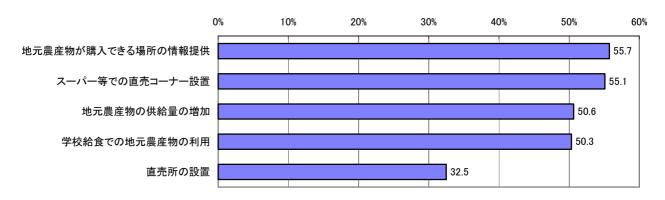
問9② 地産地消に期待すること「50代」



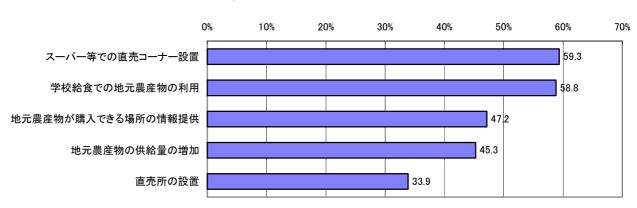
問9② 地産地消に期待すること「60代」



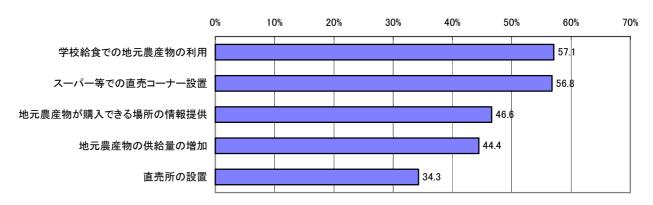
問9② 地産地消に期待すること「70代以上」



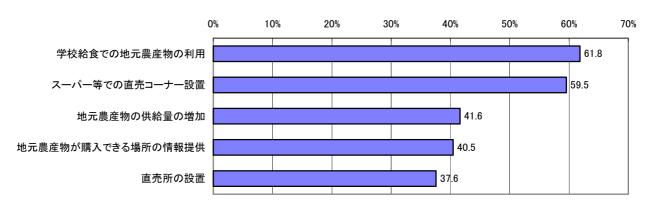
問9② 地産地消に期待すること「中央」



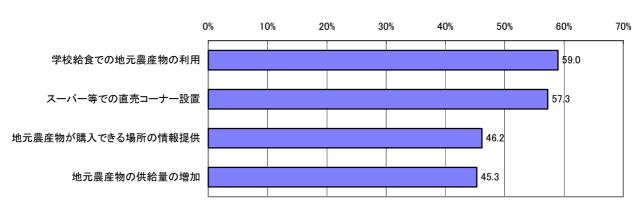
問9② 地産地消に期待すること「東部」



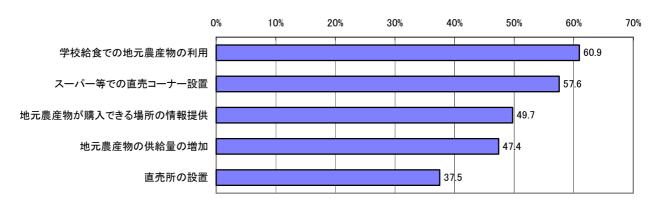
問9② 地産地消に期待すること「西部」



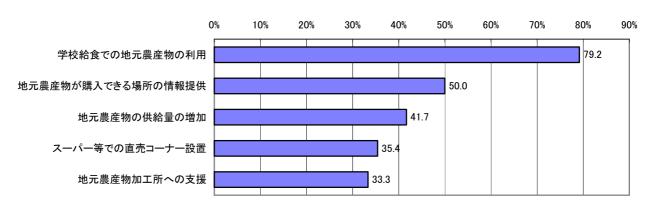
問9② 地産地消に期待すること「南部」



問9② 地産地消に期待すること「北部」



問9② 地産地消に期待すること「河辺」



問9② 地産地消に期待すること「雄和」

